

平成23年度

市民まちづくりアンケート

【集計結果】

まちづくりにあなたのご意見を

平成23年8月

帯広市

(政策推進部企画課)

目次

アンケートの概要	1
アンケート回答者の属性	2
あなたの性別は？ あなたの年齢は？	2
あなたの職業は？ あなたの居住年数は？	3
お住まいの地区	4
住みごころ	5
帯広市の住みごころは？	5
定住意識	7
これからも帯広市に住み続けたい？	7
住み続けたい理由は？	9
移りたい地域は？	10
移りたい理由は？	11
まちづくりに対する市民実感	12
市民実感度順位	14
市民実感度	16
ユニバーサルデザインのまちづくり	66
参考資料 市民まちづくりアンケート票	72
市民まちづくりアンケート A票	73
市民まちづくりアンケート B票	87

1

アンケートの概要

目的

このアンケートは、帯広市の住みごちやまちづくりについて、市民の皆様が「どのような実感をお持ちなのか」などについて調査しました。

アンケート結果は、第六期総合計画を効果的・効率的にすすめるための政策・施策評価や市の仕事を効率的に行うための重要な情報として活用します。

アンケートの内容

アンケートは、大きく次の3区分について実施しました。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・(問1～9)
- (2) 市民実感について・・・(問10～34)
- (3) ユニバーサルデザインのまちづくりについて・・・(問35～40)

市民実感の設問(問10～34)については、アンケートを2組(AとB)に分けて実施しました。

対象地域 帯広市内

対象者 満20歳以上の帯広市民

標本数 3,000人

標本抽出方法 無作為抽出

調査方法 郵便による発送・返送

調査時期 平成23年5月2日(月)～5月27日(金)
(6月20日(月)受付分まで集計)

回収結果 【平成23年度 市民まちづくりアンケート】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H23年度	3,000	3,000	1,374	45.8

【経年比較 市民意向調査】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H22年度	3,000	3,000	1,349	45.0
H21年度	3,000	3,000	1,194	39.8
H20年度	3,000	2,996	1,126	37.6
H19年度	3,000	2,957	1,144	38.7
H18年度	3,000	2,988	1,226	41.0

アンケートの精度

本調査の回収数は1,374件で、信頼度95%、標本誤差を5%とした場合の統計学上の必要サンプル数383人を上回っており、本調査から得られた分析結果は帯広市全体としての意見を推定するために十分な精度を得ているといえます。

【必要サンプル数の算出式】

$$n = N \div \{[(e \div 1.96)^2 \times (N - 1) \times 4] + 1\}$$

N = 母集団の数(調査対象者数)(=138,638人:平成23年3月31日現在の20歳以上人口)

e = 標本誤差(=0.05)

n = 必要サンプル数

(1.96は上記の信頼係数と標本誤差を設定した場合に用いる統計上の定数)

計算の結果、n=383.101・・・となり、必要サンプル数は383となります。

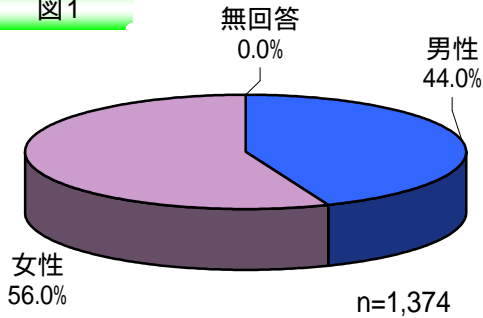
2

アンケート回答者の属性

〔 小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。 〕
 回答数を(n =)で表示しています。

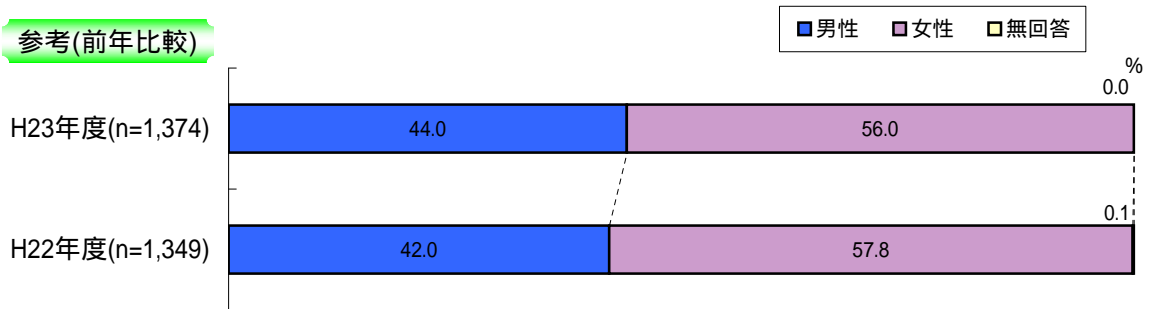
問1 あなたの性別は？

図1



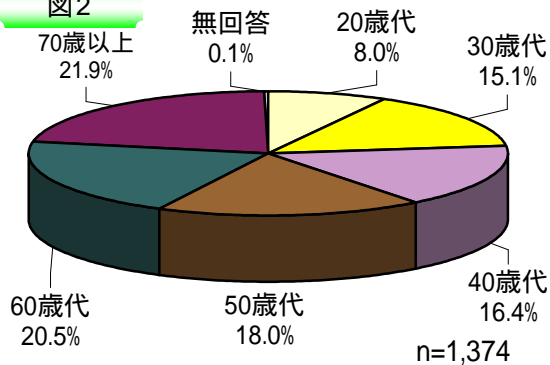
性別では、
 [男性]44.0% (604人)、
 [女性]56.0% (770人)となっており、
 回答者の約6割が[女性]となっています。
 (図1)

参考(前年比較)



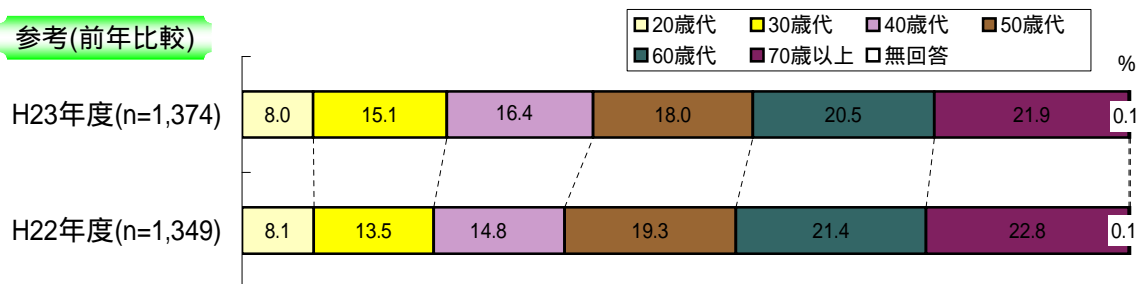
問2 あなたの年齢は？

図2



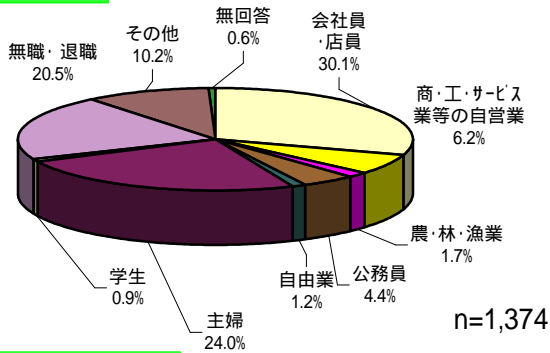
年齢別では、
 [20歳代]8.0% (110人)、
 [30歳代]15.1% (207人)、
 [40歳代]16.4% (226人)、
 [50歳代]18.0% (247人)、
 [60歳代]20.5% (281人)、
 [70歳以上]21.9% (301人)、
 [無回答]0.1% (2人)となっており、
 総じて年代が上がるにつれて割合が
 高くなっています。(図2)

参考(前年比較)



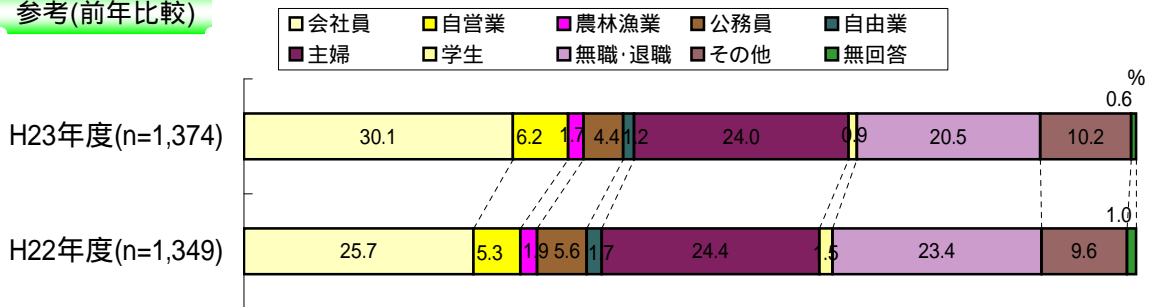
問3 あなたの職業は？

図3



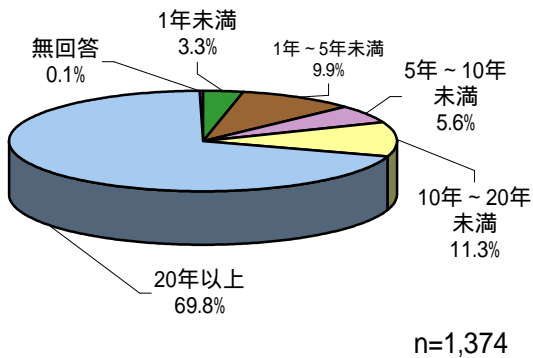
職業別では、
 [会社員・店員]30.1% (414人)、
 [商・工・サービス業自営業]6.2% (85人)、
 [農・林・漁業]1.7% (24人)、
 [公務員]4.4% (61人)、
 [自由業]1.2% (17人)、
 [主婦]24.0% (330人)、
 [学生]0.9% (13人)、
 [無職・退職]20.5% (282人)、
 [その他]10.2% (140人)、
 [無回答]0.6% (8人)となっており、
 [会社員・店員]、[主婦]、[無職・退職]の
 順で多くなっています。(図3)

参考(前年比較)



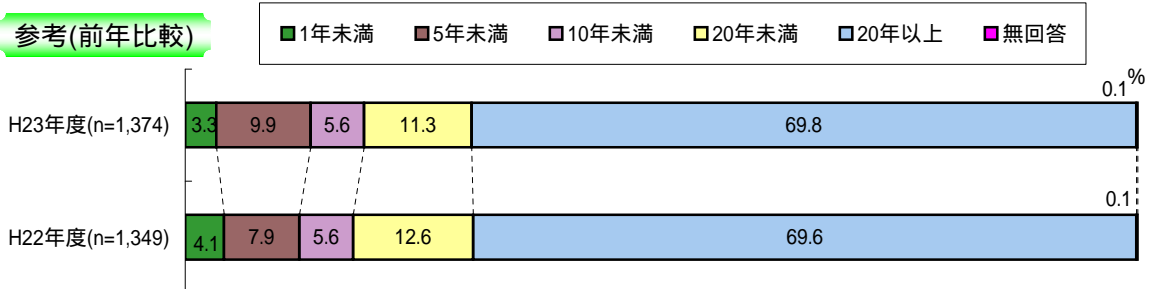
問4 あなたの居住年数は？

図4

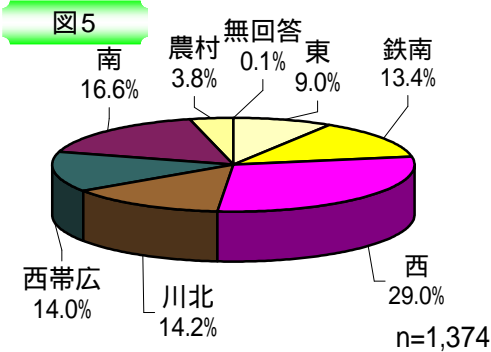


居住年数別では、
 [1年未満]3.3% (45人)、
 [1年～5年未満]9.9% (136人)、
 [5年～10年未満]5.6% (77人)、
 [10年～20年未満]11.3% (155人)、
 [20年以上]69.8% (959人)、
 [無回答]0.1% (2人)となっており、
 [20年以上]は、全体の約7割を
 占めています。(図4)

参考(前年比較)

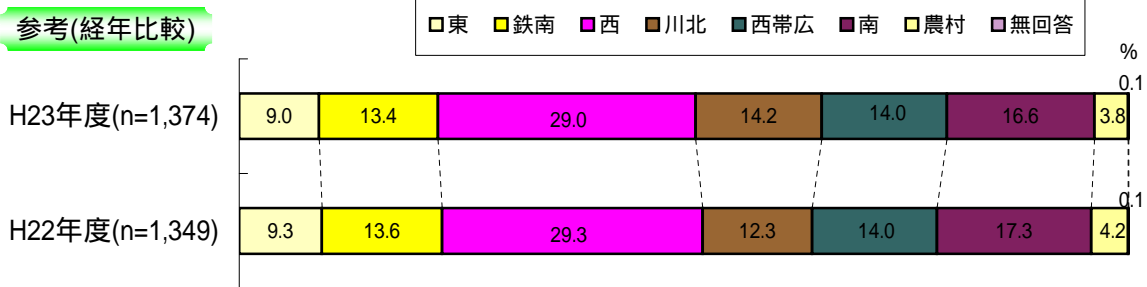


お住まいの地区

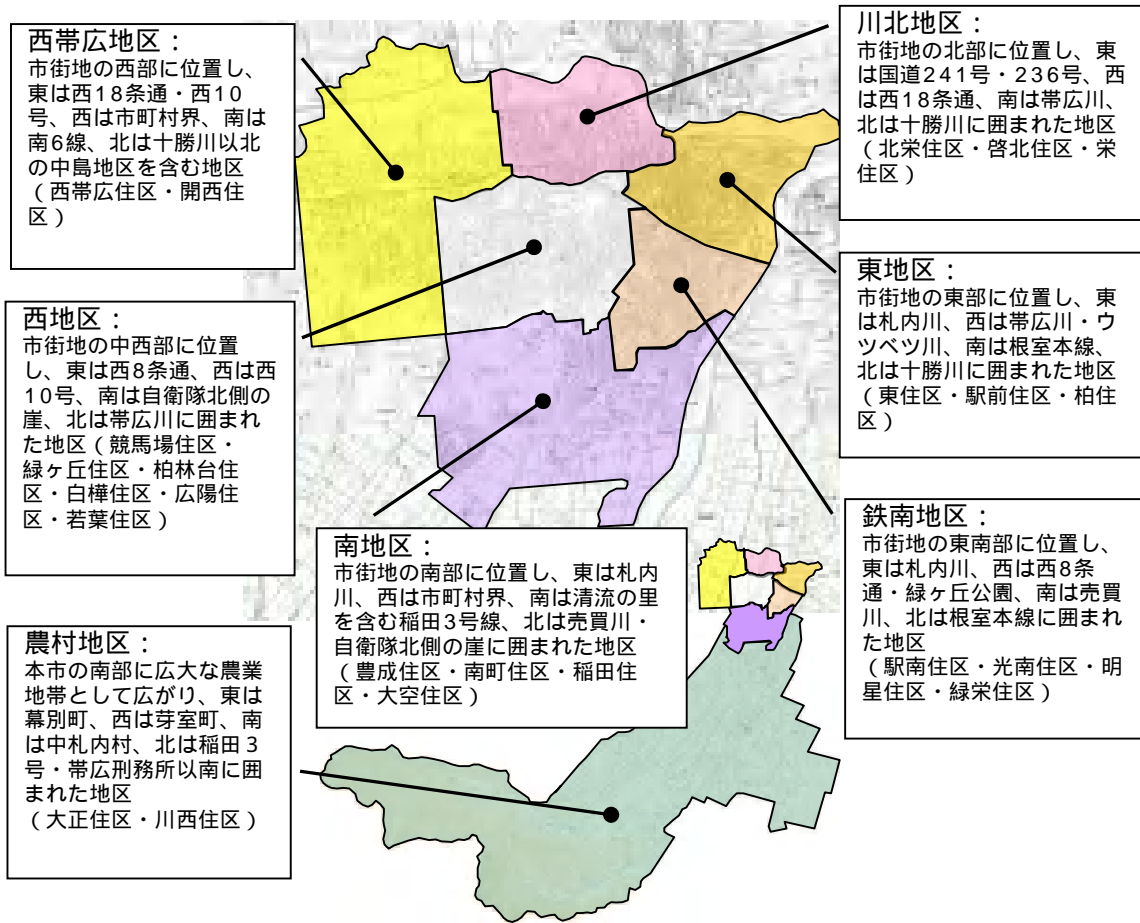


地区別では、
 [東]9.0% (123人)、
 [鉄南]13.4% (184人)、
 [西]29.0% (398人)、
 [川北]14.2% (195人)、
 [西帯広]14.0% (193人)、
 [南]16.6% (228人)、
 [農村]3.8% (52人)
 [無回答]0.1% (1人)、となっている。
 (図5)

参考(経年比較)

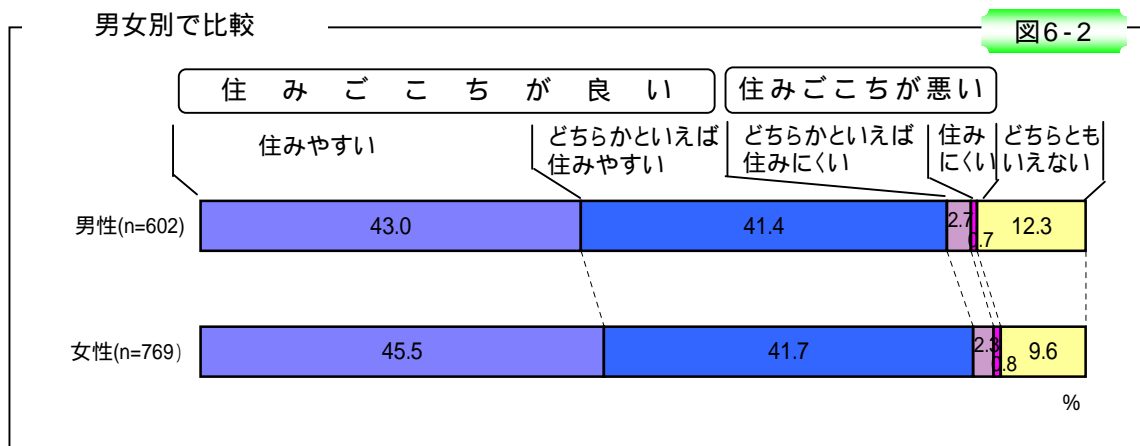
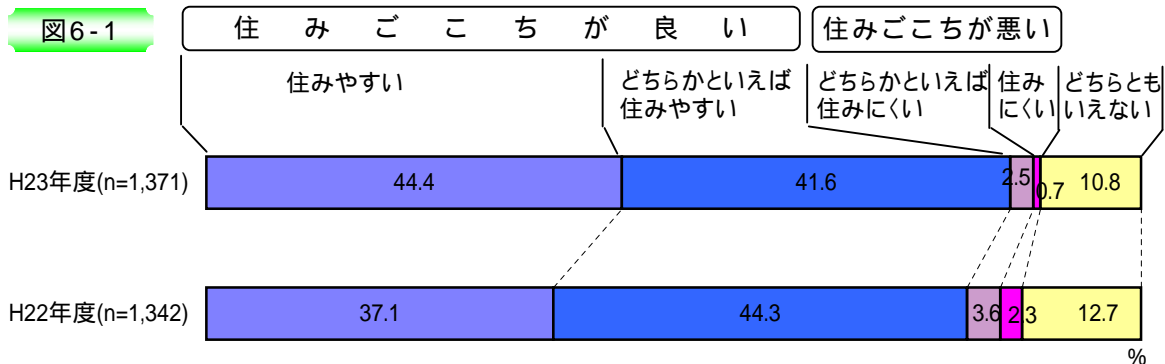


帯広市では下図のとおり7つの地区を設定しています。



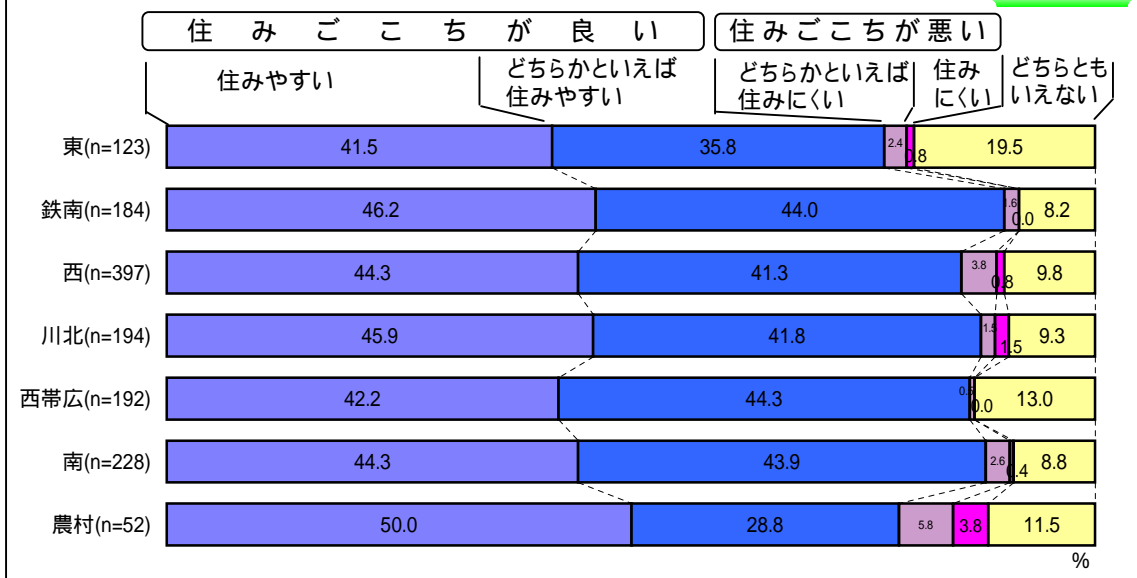
問5 帯広市の住みごこちは？

- 「住みやすい」とした割合は、昨年度と比較すると7.3%増加し、「どちらかといえば住みやすい」が2.7%減少し、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた、「住みごこちが良い」とした割合は、86.0%（1,179人）となっており、昨年度と比較すると4.6%増加しています。
また、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた、「住みごこちが悪い」とした割合は、3.2%（44人）となっており、昨年度と比較すると2.7%減少しています。（図6-1）
- 男女別で「住みごこちが良い」とした割合は、[男性]84.4%、[女性]87.2%であり、女性の方が「住みごこちが良い」とした割合が高くなっています。（図6-2）
- 地区別で「住みごこちが良い」とした割合は、[鉄南地区]で最も高く（90.2%）、[東地区]で最も低く（77.3%）となっています。（図6-3）
- 年代別で「住みごこちが良い」とした割合は、[50歳代]と[60歳代]で最も高く（87.8%）、[20歳代]で最も低く（77.3%）となっています。（図6-4）
- 居住年数別で「住みごこちが良い」とした割合は、[20年以上]で最も高く（87.9%）、[1年未満]で最も低く（66.7%）となっています。（図6-5）



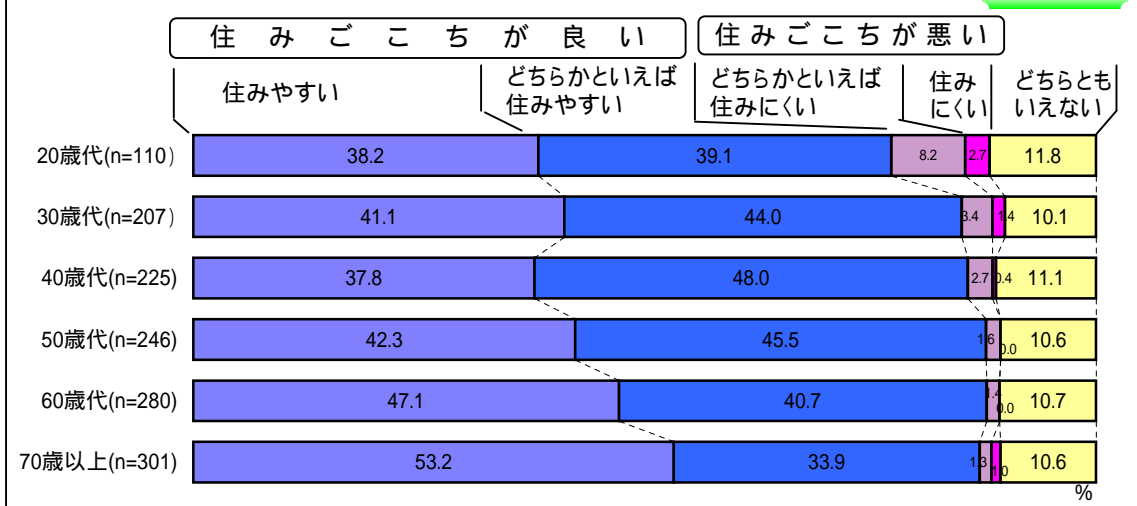
地区別で比較

図6-3



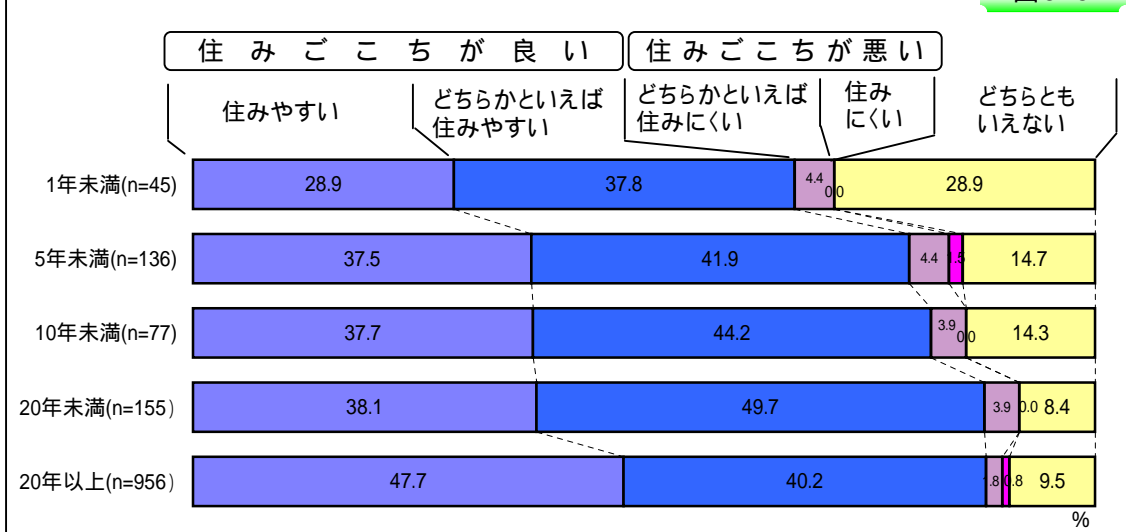
年代別で比較

図6-4



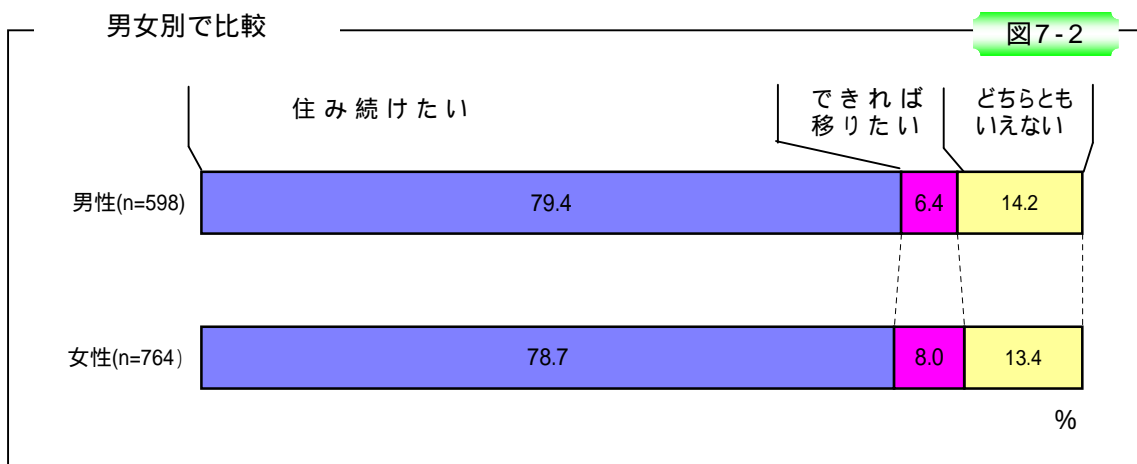
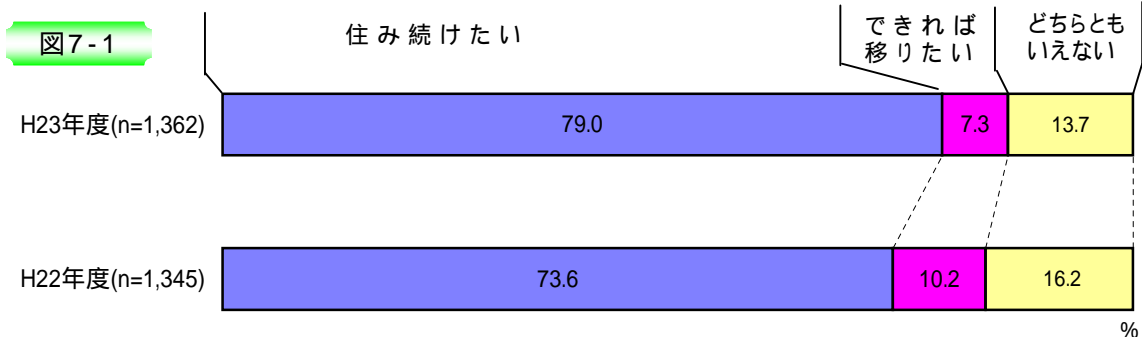
居住年数別で比較

図6-5



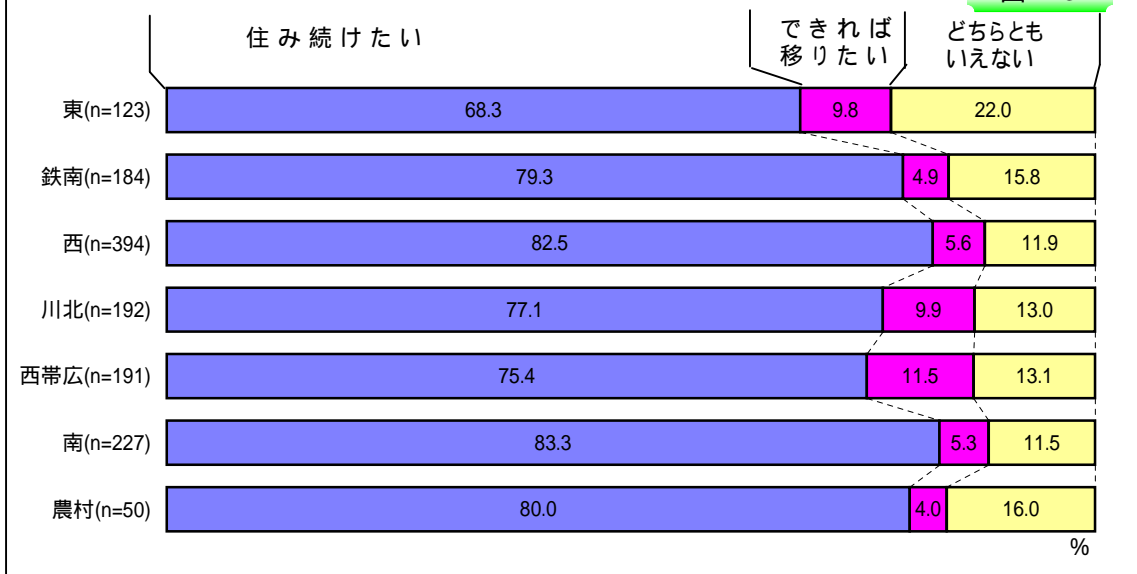
問6 これからも帯広市に住み続けたい？

- ④ 「住み続けたい」とした割合は、昨年度と比較すると5.4%増加し、79.0%（1,076人）、「できれば移りたい」とした割合は7.3%（99人）となっています。（図7-1）
- ④ 男女別で「住み続けたい」とした割合は、[男性]79.4%、[女性]78.7%であり、男性の方が「住み続けたい」とした割合が高くなっています。（図7-2）
- ④ 地区別で「住み続けたい」とした割合は、[南地区]で最も高い83.3%であり、[東地区]で最も低い68.3%となっています。（図7-3）
- ④ 年代別で「住み続けたい」とした割合は、年代が上がるにつれて高くなっています。一方「できれば移りたい」とした割合は、概ね年代が下がるにつれて高くなっています。（図7-4）
- ④ 居住年数別で「住み続けたい」とした割合は、[20年以上]において85.7%と最も高く、逆に「できれば移りたい」とした割合は、4.2%と最も低くなっています。（図7-5）



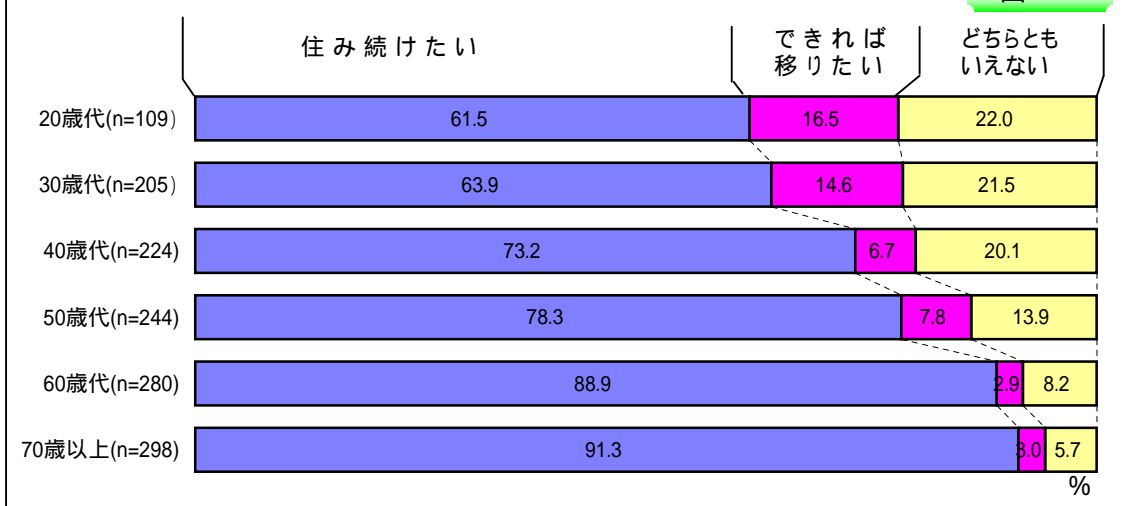
地区別で比較

図7-3



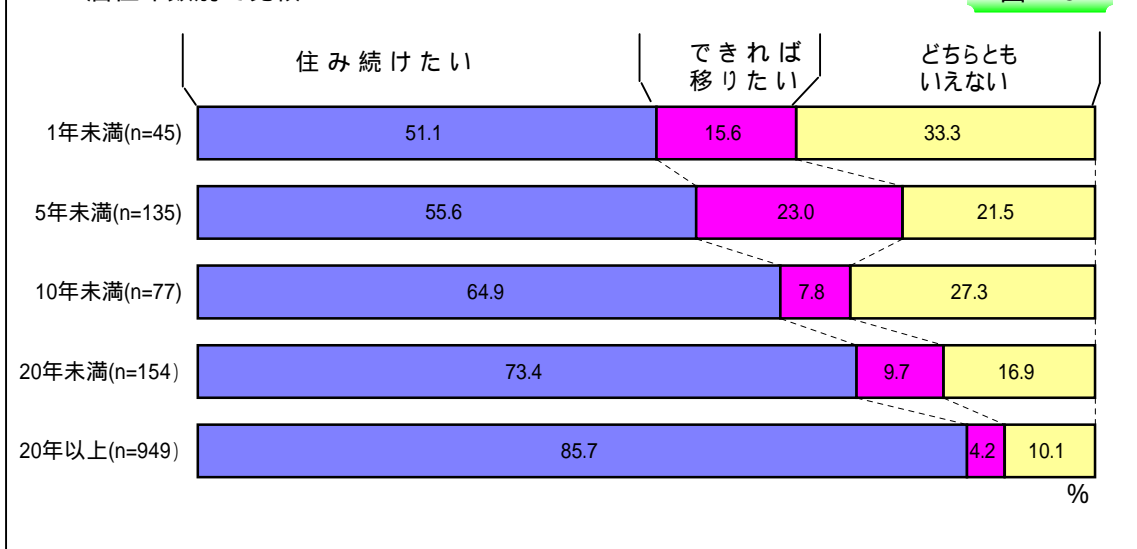
年代別で比較

図7-4



居住年数別で比較

図7-5

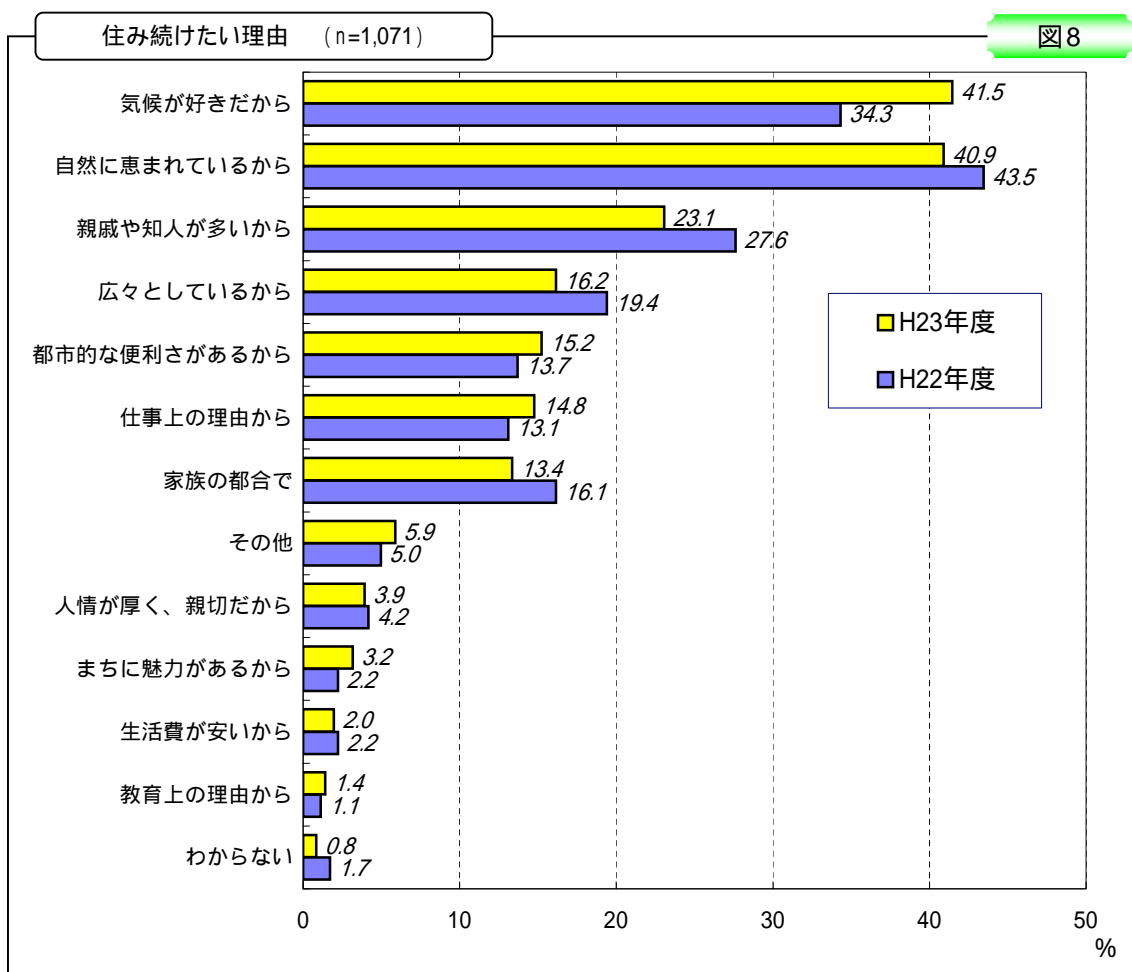
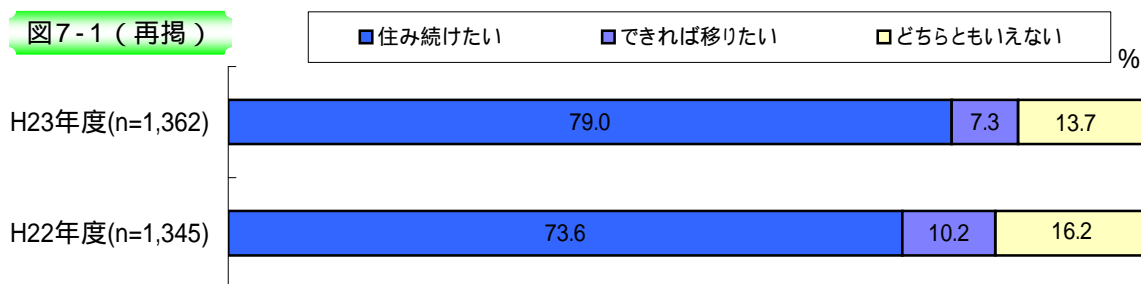


問7 住み続けたい理由は？

「住み続けたい」と回答した人に、その理由を13の選択肢から2つまで回答してもらいました。

「住み続けたい理由」としては、[気候が好きだから<444人回答>]が最も多く41.5%、2番目は[自然に恵まれているから<438人回答>]で40.9%、3番目は「親戚や知人が多いから<247人回答>」で23.1%となっています。（図8）

図7-1（再掲）

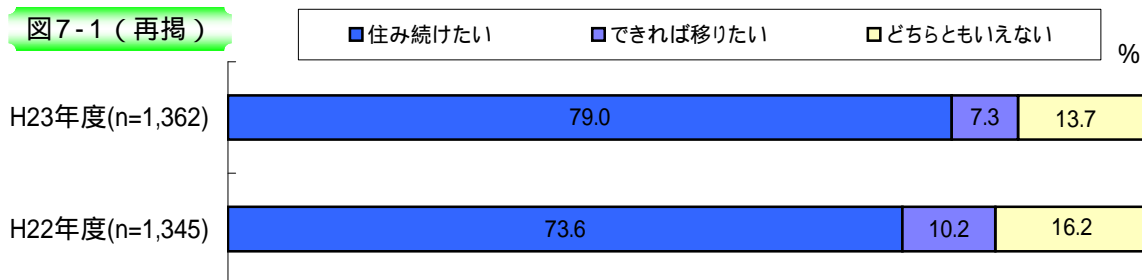


問8 移りたい地域は？

「できれば移りたい」と回答した人に、移りたい地域を9つの選択肢から1つ、回答してもらいました。

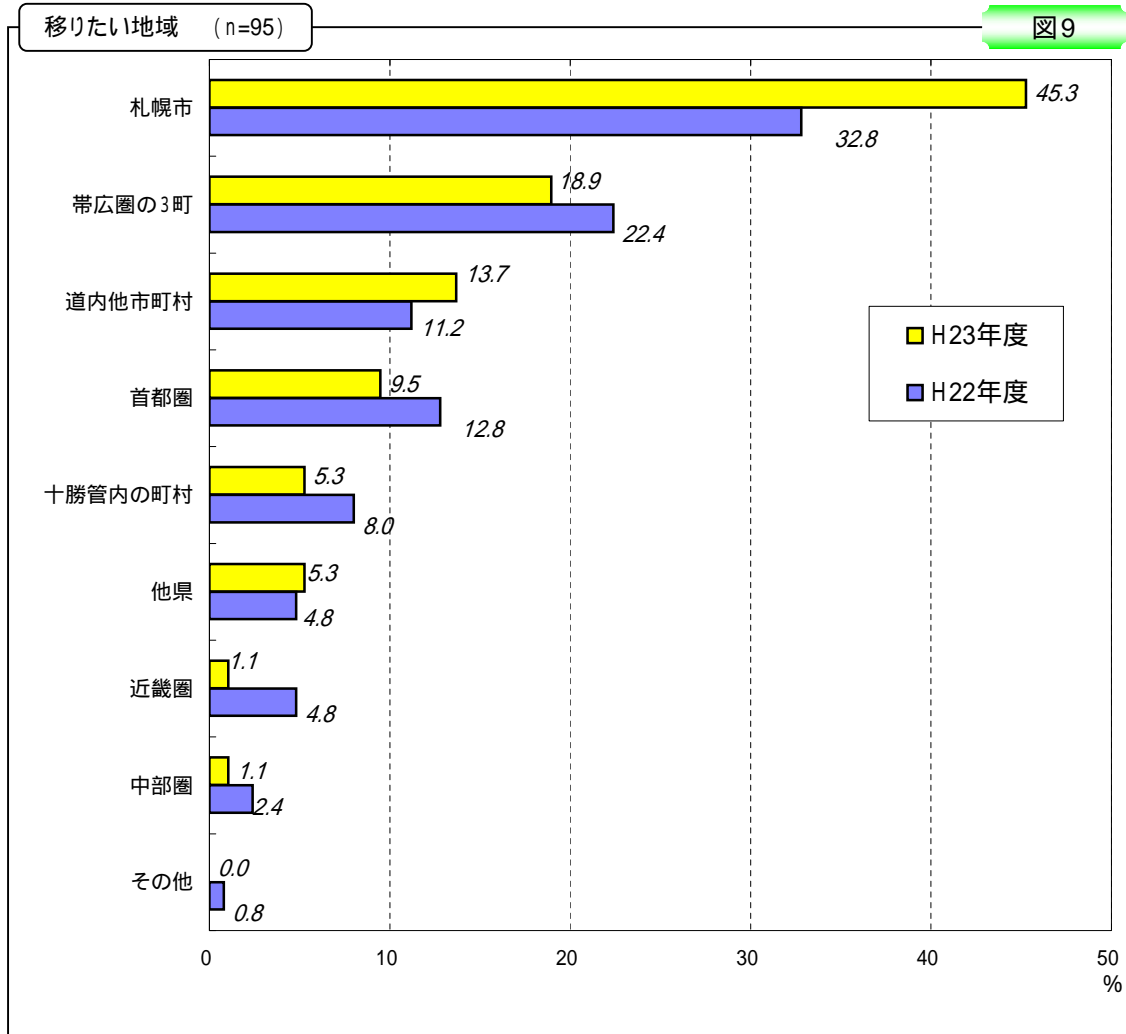
「移りたい地域」としては、[札幌市]が最も多く45.3%（43人）となっている。また、2番目に多い地域は、[帯広圏の3町]で18.9%（18人）、3番目は「道内他市町村」で13.7%（13人）となっています。（図9）

図7-1（再掲）



移りたい地域 (n=95)

図9

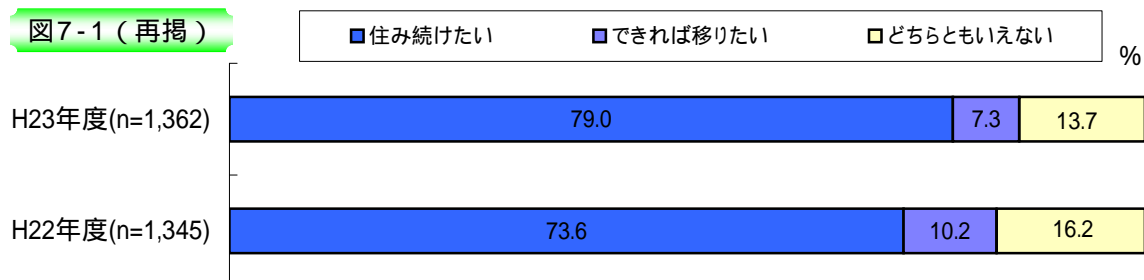


問9 移りたい理由は？

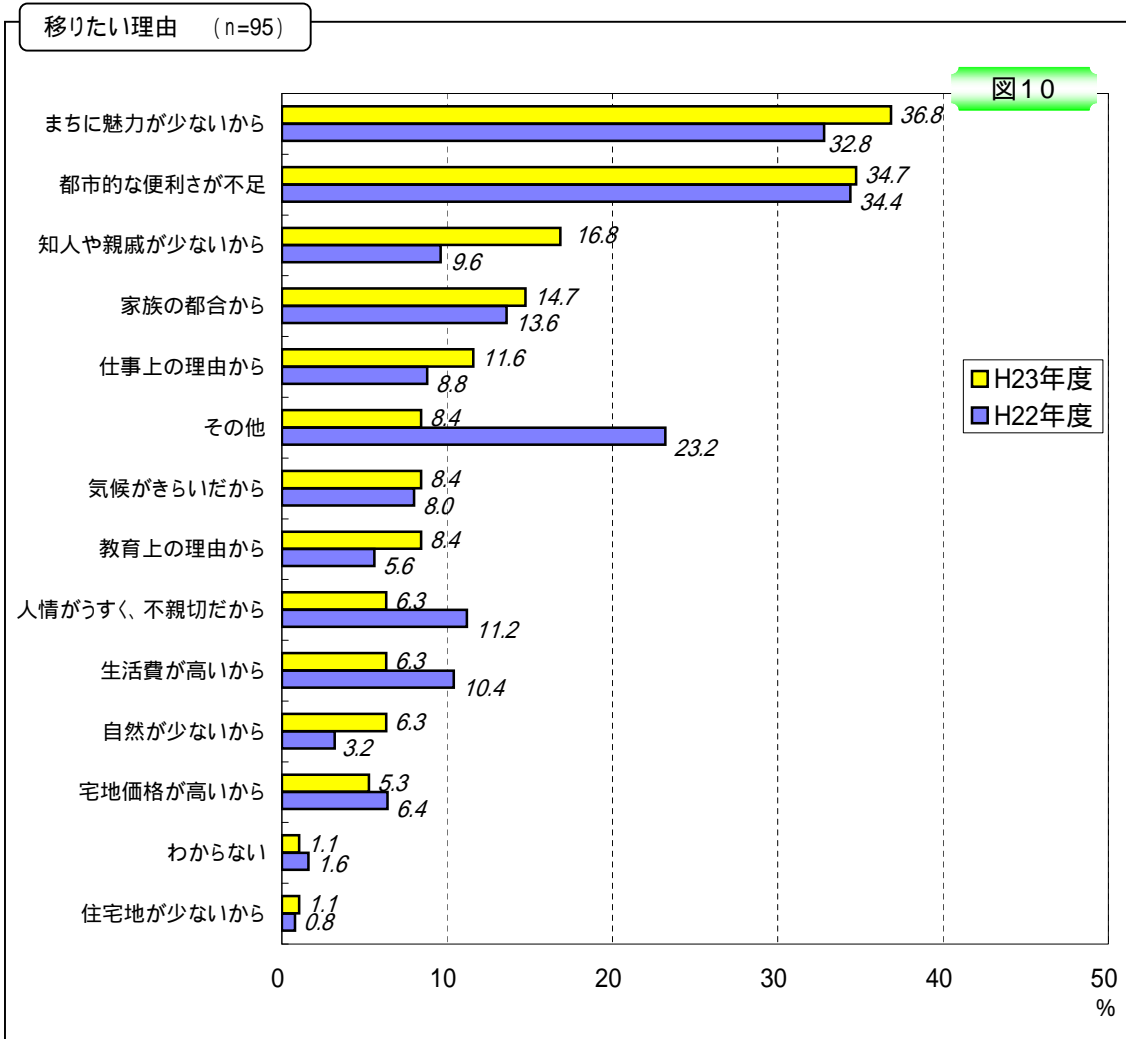
「できれば移りたい」と回答した人に、移りたい理由を14の選択肢から2つまで回答してもらいました。

「移りたい理由」としては、[まちに魅力が少ないから]が36.8%（35人）が最も多く、次に[都市的な便利さが不足しているから]が、34.7%（33人）となっています。（図10）

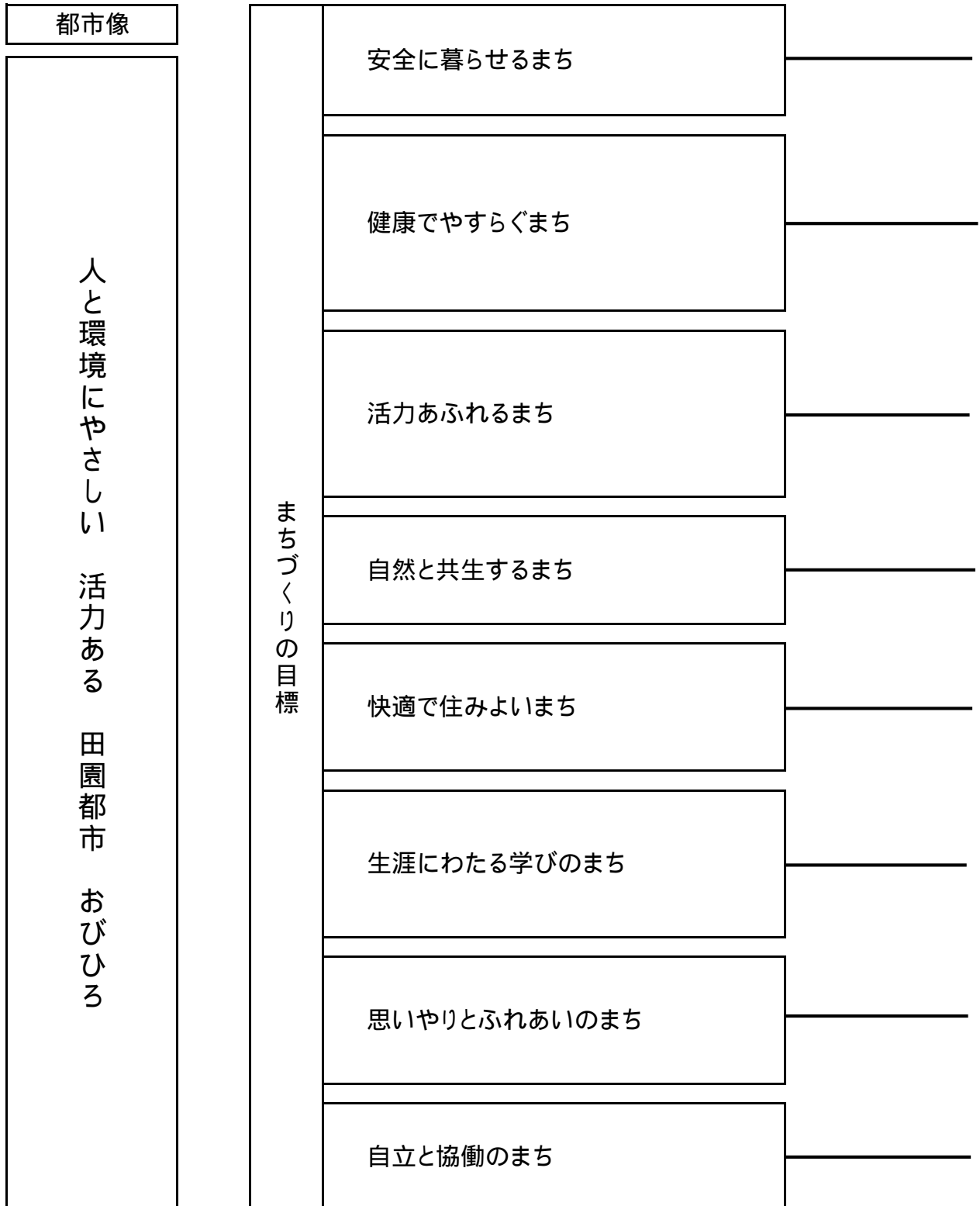
図7-1（再掲）



移りたい理由 (n=95)



第六期帯広市総合計画の政策・施策の体系



- ・総合計画の50項目の施策ごとに、市民の実感を聞く質問（市民実感度調査項目）を設定しています。
- ・質問の数が多いため、AとBの2つに分けてアンケートを実施しました。

政策1-1 災害に強い安全なまちづくり	施策1-1-1 地域防災の推進	問10-A
	施策1-1-2 消防・救急の充実	問10-B
政策1-2 安心して生活できるまちづくり	施策1-2-1 防犯の推進	問11-A
	施策1-2-2 交通安全の推進	問11-B
	施策1-2-3 消費生活の向上	問12-A
政策2-1 健康に暮らせるまちづくり	施策2-1-1 保健予防の推進	問12-B
	施策2-1-2 医療体制の充実	問13-A
政策2-2 やすらぎのあるまちづくり	施策2-2-1 地域福祉の推進	問13-B
	施策2-2-2 高齢者福祉の推進	問14-A
	施策2-2-3 障害者福祉の推進	問14-B
	施策2-2-4 社会保障の推進	問15-A
政策2-3 子どもたちが健やかに育つまちづくり	施策2-3-1 子育て支援の充実	問15-B
	施策2-3-2 青少年の健全育成	問16-A
政策3-1 力強い産業が育つまちづくり	施策3-1-1 農林業の振興	問16-B
	施策3-1-2 工業の振興	問17-A
	施策3-1-3 商業の振興	問17-B
	施策3-1-4 中小企業の基盤強化	問18-A
	施策3-1-5 産業間連携の促進	問18-B
	施策3-1-6 雇用環境の充実	問19-A
政策3-2 にぎわいのあるまちづくり	施策3-2-1 中心市街地の活性化	問19-B
	施策3-2-2 観光の振興	問20-A
政策4-1 地球環境を守るまちづくり	施策4-1-1 地球環境の保全	問20-B
	施策4-1-2 廃棄物の資源化	問21-A
政策4-2 うるおいのあるまちづくり	施策4-2-1 公園・緑地の整備	問21-B
	施策4-2-2 水道水の安定供給	問22-A
	施策4-2-3 下水道の整備	問22-B
政策5-1 快適で住みごちのよいまちづくり	施策5-1-1 住環境の充実	問23-A
	施策5-1-2 魅力ある景観の形成	問23-B
	施策5-1-3 墓地・火葬場の整備	問24-A
政策5-2 交流を支えるまちづくり	施策5-2-1 道路網の整備	問24-B
	施策5-2-2 総合的な交通体系	問25-A
	施策5-2-3 地域情報化の推進	問25-B
政策6-1 次代を担う人を育むまちづくり	施策6-1-1 学校教育の推進	問26-A
	施策6-1-2 教育環境の充実	問26-B
	施策6-1-3 高等学校教育の推進	問27-A
	施策6-1-4 高等教育の充実	問27-B
政策6-2 とともに学び地域のきずなを育むまちづくり	施策6-2-1 学習活動の推進	問28-A
	施策6-2-2 芸術・文化の振興	問28-B
	施策6-2-3 スポーツの振興	問29-A
政策7-1 互いに尊重し思いやりのあるまちづくり	施策7-1-1 人権尊重と平和な社会	問29-B
	施策7-1-2 男女共同参画社会	問30-A
	施策7-1-3 ユニバーサルデザイン	問30-B
	施策7-1-4 アイヌの人たちの誇り	問31-A
政策7-2 ふれあいのあるまちづくり	施策7-2-1 地域コミュニティ	問31-B
	施策7-2-2 国内・国際交流の推進	問32-A
政策8-1 市民とともにすすめる自治体経営	施策8-1-1 市民協働のまちづくり	問32-B
	施策8-1-2 自治体経営の推進	問33-A
	施策8-1-3 広域行政の推進	問33-B
政策8-2 質の高い行政の推進	施策8-2-1 行政サービスの充実	問34-A
	施策8-2-2 行政事務の適正な執行	問34-B

「市民実感度」とは…

「市民まちづくりアンケート」では、総合計画の50項目の施策ごとに、市民の実感を聞く質問(これを市民実感度調査項目といいます)を設定しています。
この質問に対する回答を加重平均した値を「市民実感度」といいます。

順位	問番号	市民実感度調査項目
1	22 A	おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる
2	16 B	安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある
3	10 B	消火活動や救急活動が迅速に行われている
4	24 A	墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている
5	23 B	都市部や農村部において、帯広・十勝らしい景観が形成されている
6	12 B	各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる
7	21 B	公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる
8	21 A	ごみの減量やリサイクルなど、廃棄物の資源化や適正な処理が行われている
9	22 B	生活廃水や雨水が適切に処理されている
10	13 A	ケガや病気のときに安心して医療を受けられる
11	23 A	快適で住みやすい居住空間が確保されている
12	29 A	スポーツを楽しむことができる環境が整っている
13	26 B	子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている
14	12 A	悪質な訪問販売や契約トラブルなどに遭うことなく、安全に消費生活を送れる
15	15 B	安心して子どもを産み育てることができる
16	25 A	空港、バス、高速道路など、交通の利便性が確保されている
17	13 B	地域の支え合いにより、安心して暮らせる
18	25 B	高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている
19	34 B	市民に信頼される行政事務が行われている
20	11 A	日常生活において、犯罪に遭うことなく安心して暮らせる
21	27 A	高等学校において充実した教育が行われている
22	29 B	平和で差別や虐待がなく、市民一人ひとりが互いに人権を尊重している
23	20 B	自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている
24	28 B	芸術や文化に親しむことができる環境が整っている
25	34 A	市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている
26	14 A	高齢者が地域で生き生きと暮らせる
27	28 A	生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている
28	32 A	国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている
29	14 B	障害のある人が地域で生き生きと暮らせる
30	30 A	男女が互いに尊重し合い、個性や能力を發揮できる
31	16 A	青少年が健全に育つ環境が整っている
32	26 A	小学校・中学校において充実した教育が行われている
33	32 B	市民と行政の協働によるまちづくりがすすめられている
34	20 A	自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている」と思う市民の割合
35	31 B	町内会やNPO・ボランティアなどによる地域活動が活発に行われている
36	33 B	十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている
37	17 A	ものづくり産業に活気がある
38	31 A	アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、アイヌの人たちの誇りが尊重されている
39	24 B	幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる
40	11 B	日常生活において、交通事故に遭うことなく安心して暮らせる
41	15 A	社会保障制度の周知や適切な運用が行われている
42	30 B	誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによるまちづくりが行われている
43	10 A	地震や水害など、災害への備えが整っている
44	18 B	企業が大学などと連携し、新たな製品開発が行われている
45	19 A	意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる
46	33 A	健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている
47	18 A	地元の企業に活気がある
48	27 B	大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている
49	17 B	商店や商店街に活気がある
50	19 B	中心市街地に、魅力とにぎわいがある

(市民実感度の算出方法)

「そう思う」は4、「ややそう思う」は3、「あまりそう思わない」は2、「そう思わない」は1と重み付けを行い、各回答数を乗じて合計したものを、有効回答数で除したものです。

このため、数値は1.000から4.000の間で表わされます。

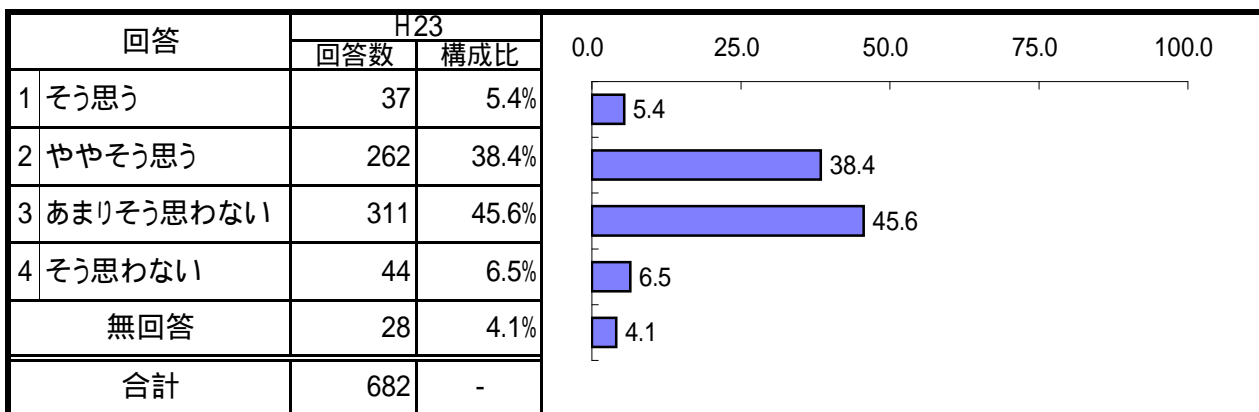
例)問22-A:「おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる」の場合

$$\cdot (4 \times 409(\text{人}) + 3 \times 193(\text{人}) + 2 \times 52(\text{人}) + 1 \times 22(\text{人})) \div 676(\text{人}) = 3.463$$

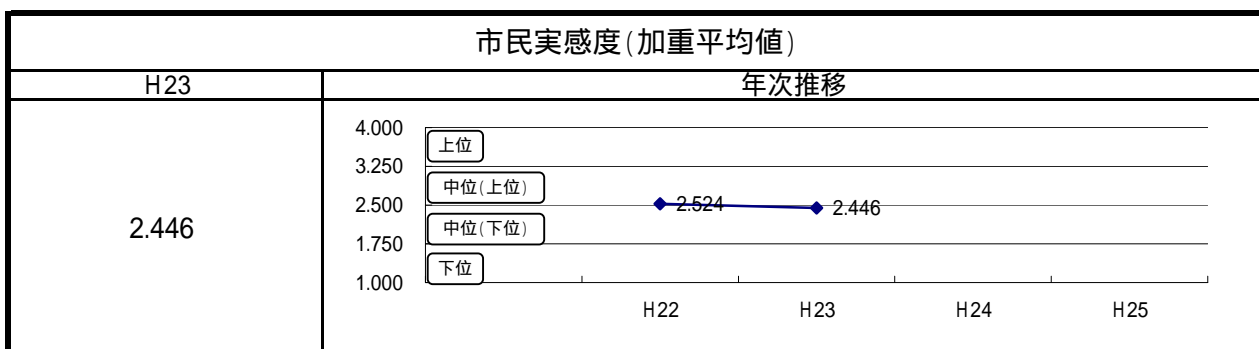
そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない	有効回答数	市民実感度 (加重平均値)
409	193	52	22	676	3.463
330	286	47	17	680	3.366
269	340	50	13	672	3.287
213	389	39	16	657	3.216
216	373	74	20	683	3.149
214	365	87	18	684	3.133
227	334	91	32	684	3.105
216	339	90	30	675	3.098
206	358	96	23	683	3.094
209	308	133	25	675	3.039
167	368	100	39	674	2.984
179	314	151	26	670	2.964
133	370	129	33	665	2.907
116	384	146	22	668	2.889
148	325	138	45	656	2.878
154	318	146	55	673	2.848
123	361	174	27	685	2.847
126	339	143	48	656	2.828
79	453	90	53	675	2.827
115	327	203	24	669	2.797
95	361	165	32	653	2.795
88	382	162	41	673	2.768
87	375	170	37	669	2.765
94	366	176	39	675	2.763
81	369	164	55	669	2.712
97	320	216	39	672	2.707
85	338	195	46	664	2.696
96	315	205	49	665	2.689
74	348	199	48	669	2.670
58	344	218	41	661	2.634
78	310	230	50	668	2.623
88	291	225	58	662	2.618
73	319	224	57	673	2.606
112	250	243	67	672	2.606
76	311	237	54	678	2.603
70	306	251	45	672	2.597
83	284	238	64	669	2.577
81	275	243	58	657	2.577
127	231	217	103	678	2.563
99	230	287	70	686	2.522
80	247	254	89	670	2.475
37	292	279	53	661	2.474
37	262	311	44	654	2.446
53	245	275	91	664	2.392
35	210	308	111	664	2.255
37	214	294	120	665	2.253
36	183	330	119	668	2.204
35	204	287	141	667	2.199
32	179	320	152	683	2.133
22	113	311	236	682	1.884

問10-A 地震や水害など、災害への備えが整っている

- 「あまりそう思わない」が45.6% (311人)、つづいて「ややそう思う」が38.4% (262人) となっています。
- 市民実感度は、2.446となっており、中位(下位)に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人355人のうち、351人がその理由を回答しており、理由として「行政の取り組みや周知が十分でないから」が最も多く、36.2% (127人) となっています。



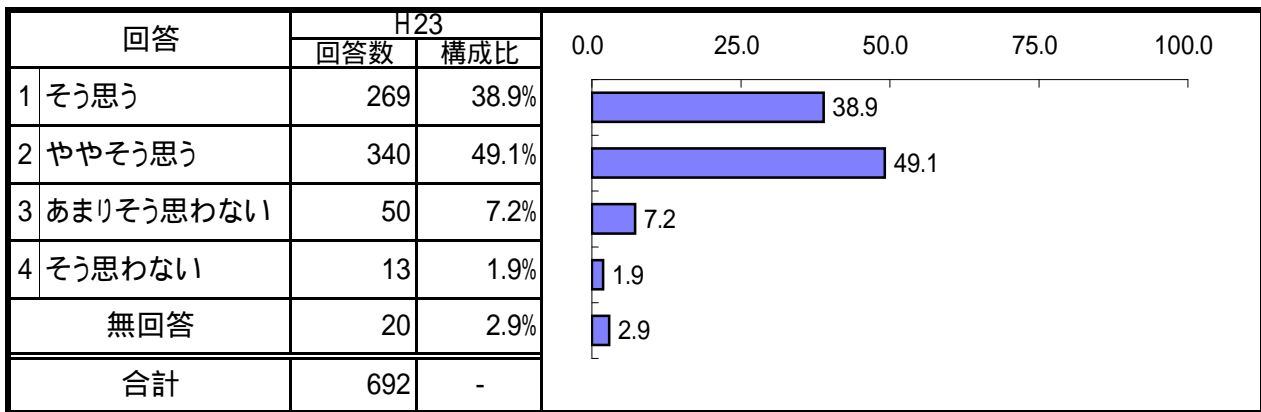
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 防災に関する意識が低いから	49	14.0%
b 行政の取り組みや周知が十分でないから	127	36.2%
c 食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから	76	21.7%
d 災害時に地域で助け合う仕組みが整っていないから	41	11.7%
e 自宅や避難場所の耐震性が不安だから	43	12.3%
f その他	15	4.3%
有効回答数	351	-



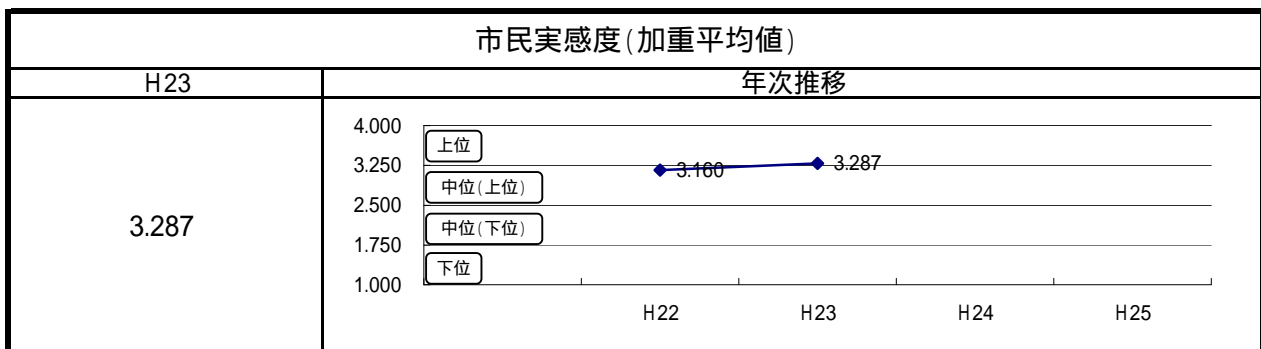


問10-B 消火活動や救急活動が迅速に行われている

- ☞ 「ややそう思う」が49.1%（340人）、つづいて「そう思う」が38.9%（269人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、3.287となっており、上位に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人63人のうち、61人がその理由を回答しており、理由として「救急車による搬送や病院の受け入れがスムーズでないから」が最も多く37.7%（23人）となっています。

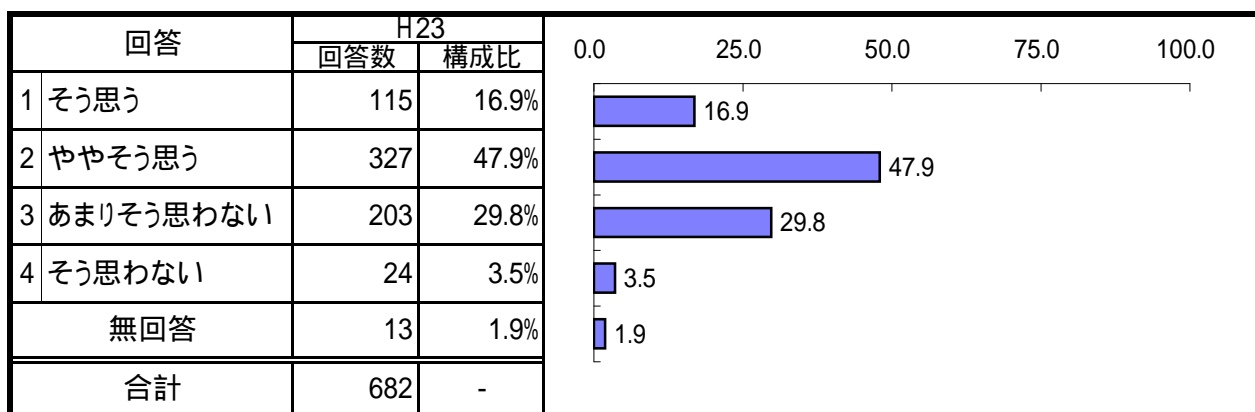


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 消火や防火の取り組みが十分でないから	8	13.1%
b 救急車や消防車の到着時間が遅いから	5	8.2%
c 救急車による搬送や病院の受け入れがスムーズでないから	23	37.7%
d 応急手当ができる市民が少ないから	13	21.3%
e その他	12	19.7%
有効回答数	61	-

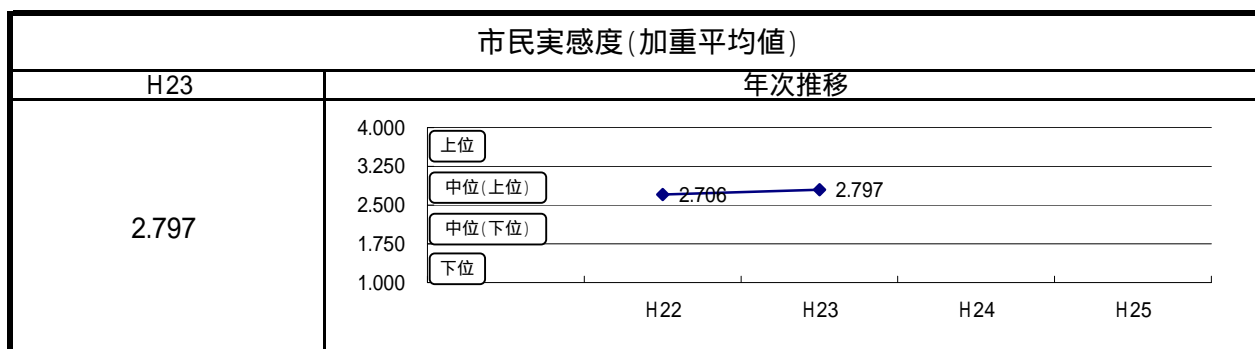


問11-A 日常生活において、 犯罪にあうことなく安心して暮らせる

- 「ややそう思う」が47.9%（327人）、つづいて「あまりそう思わない」が29.8%（203人）となっています。
- 市民実感度は、2.797となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人227人のうち、226人がその理由を回答しており、理由として「不審者や空き巣などが発生しているから」が最も多く、42.5%（96人）となっています。

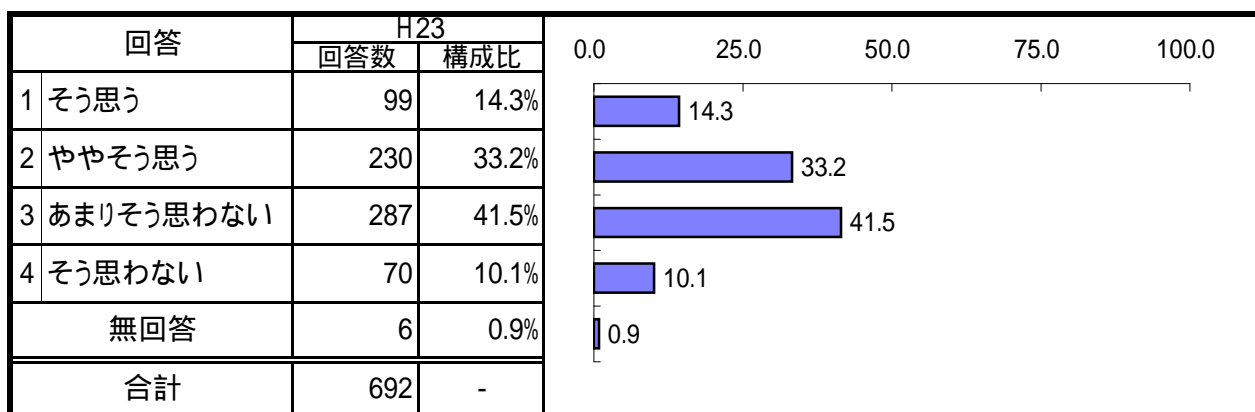


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 防犯に関する意識が低いから	18	8.0%
b 暗がりや人目につきにくい場所があるから	95	42.0%
c 不審者や空き巣などが発生しているから	96	42.5%
d その他	17	7.5%
有効回答数	226	-

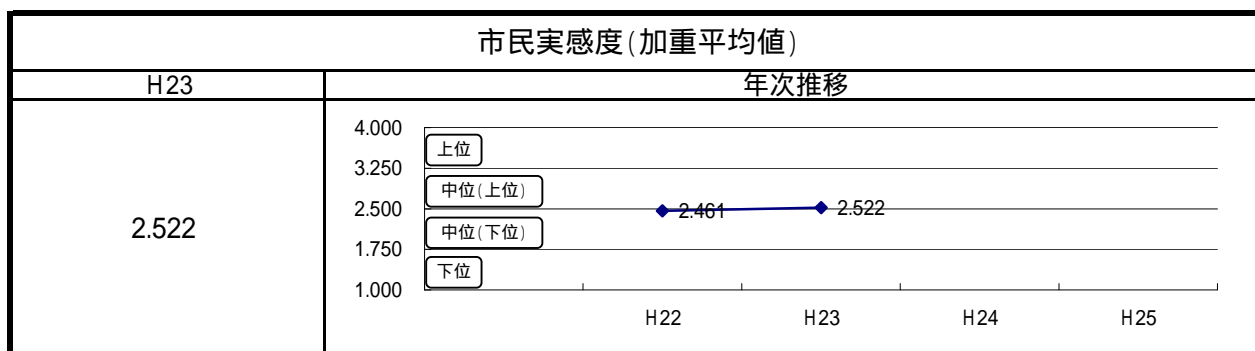


問11-B 日常生活において、 交通事故にあうことなく安心して暮らせる

- 「あまりそう思わない」が41.5%（287人）、つづいて「ややそう思う」が33.2%（230人）となっています。
- 市民実感度は、2.522となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人357人のうち、354人がその理由を回答しており、理由として「ドライバーの運転マナーが悪いから」が最も多く、52.8%（187人）となっています。

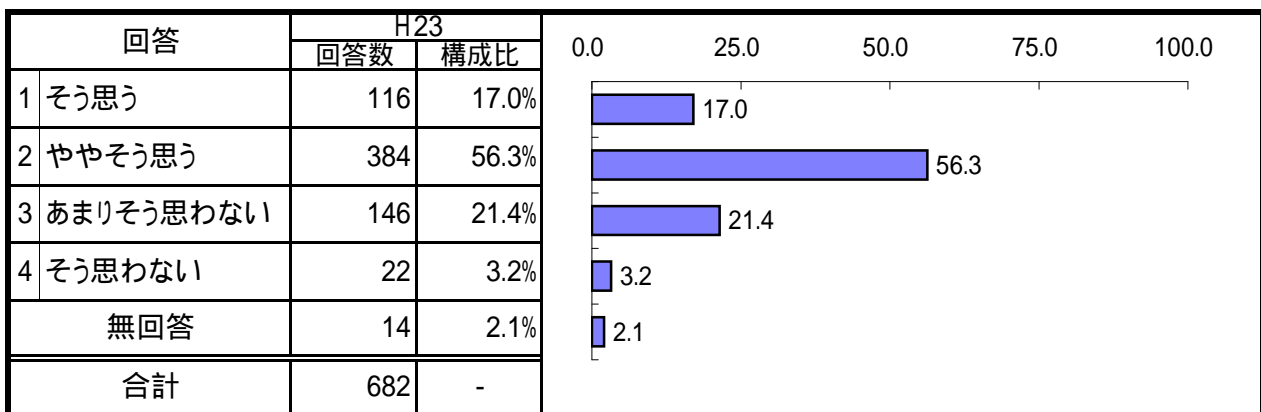


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 交通ルールを守らない歩行者がいるから	55	15.5%
b ドライバーの運転マナーが悪いから	187	52.8%
c 危ない道路や交差点があるから	80	22.6%
d その他	32	9.0%
有効回答数	354	-

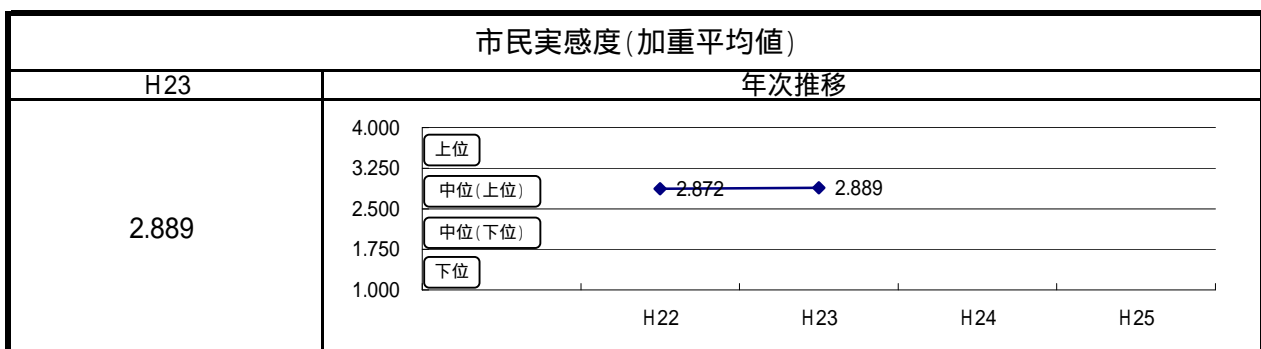


問12-A 悪質な訪問販売や契約トラブルなどにあうことなく、安全に消費生活を送れる

- 「ややそう思う」が56.3%（384人）、つづいて「あまりそう思わない」が21.4%（146人）となっています。
- 市民実感度は、2.889となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人168人のうち、162人がその理由を回答しており、理由として「悪質な訪問販売などがあるから」が最も多く、51.2%（83人）となっています。

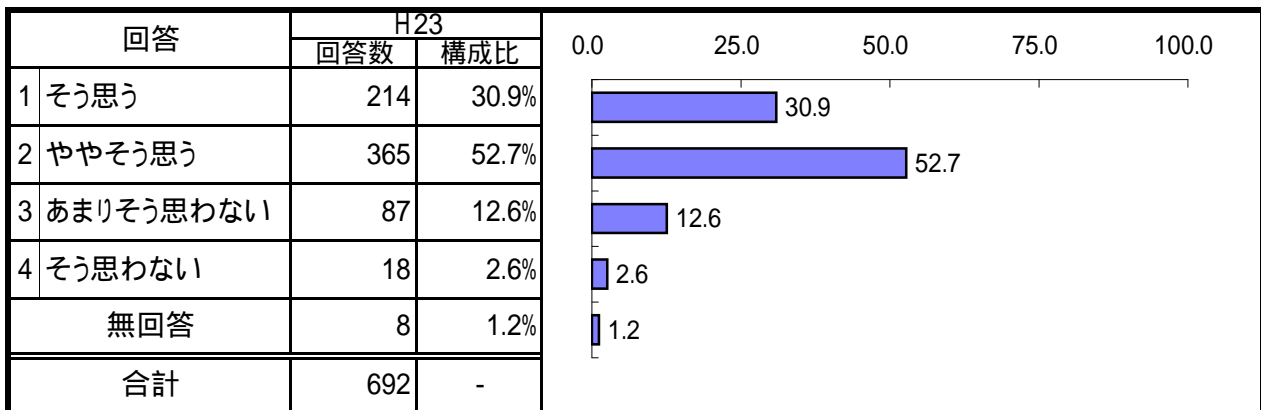


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 消費生活に関する情報提供が十分でないから	54	33.3%
b 消費トラブルなどを相談できるところがないから	17	10.5%
c 悪質な訪問販売などがあるから	83	51.2%
d その他	8	4.9%
有効回答数	162	-

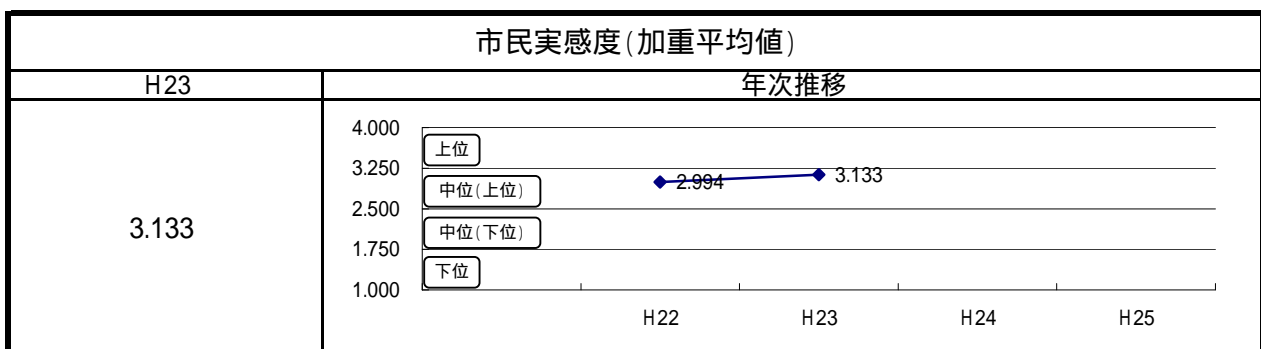


問12-B 各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる

- 「ややそう思う」が52.7%（365人）、つづいて「そう思う」が30.9%（214人）となっています。
- 市民実感度は、3.133となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人105人のうち、104人がその理由を回答しており、理由として「各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから」が最も多く、40.4%（42人）となっています。



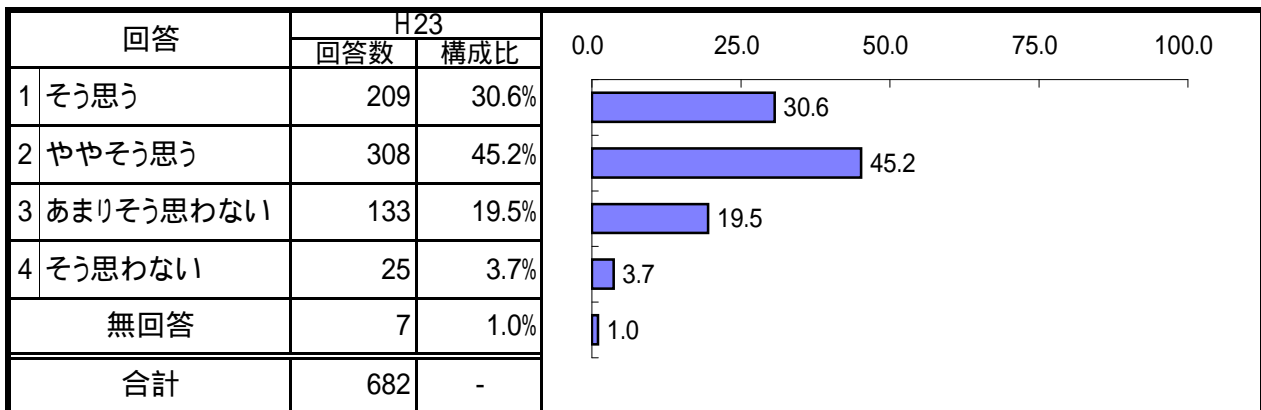
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 健康づくりに関する意識が低いから	11	10.6%
b 各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから	42	40.4%
c 予防接種が受けやすい環境が整っていないから	9	8.7%
d 気軽に健康相談できる場所がないから	30	28.8%
e その他	12	11.5%
有効回答数	104	-



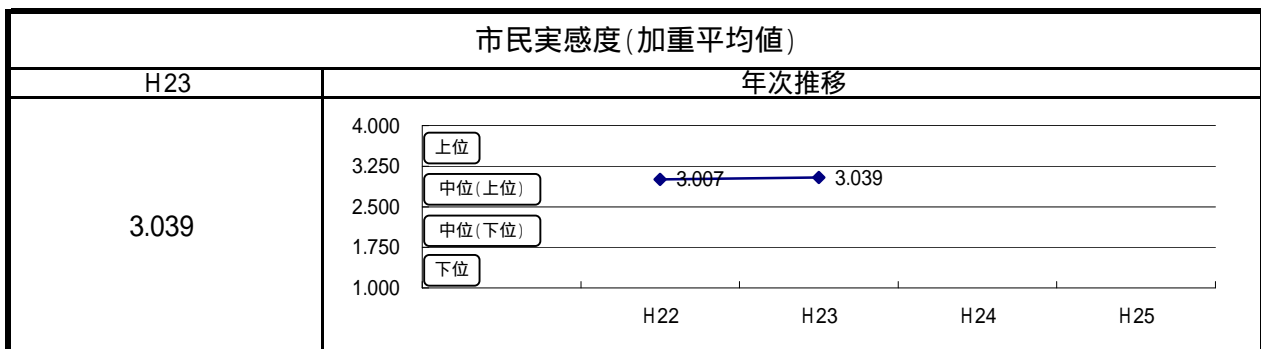


問13-A ケガや病気のとくに安心して医療を受けられる

- 「ややそう思う」が45.2%（308人）、つづいて「そう思う」が30.6%（209人）となっています。
- 市民実感度は、3.039となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人158人のうち、156人がその理由を回答しており、理由として「高度な医療を受けることができないから」と「緊急時の医療機関の情報が十分でないから」が最も多く、いずれも35.3%（55人）となっています。

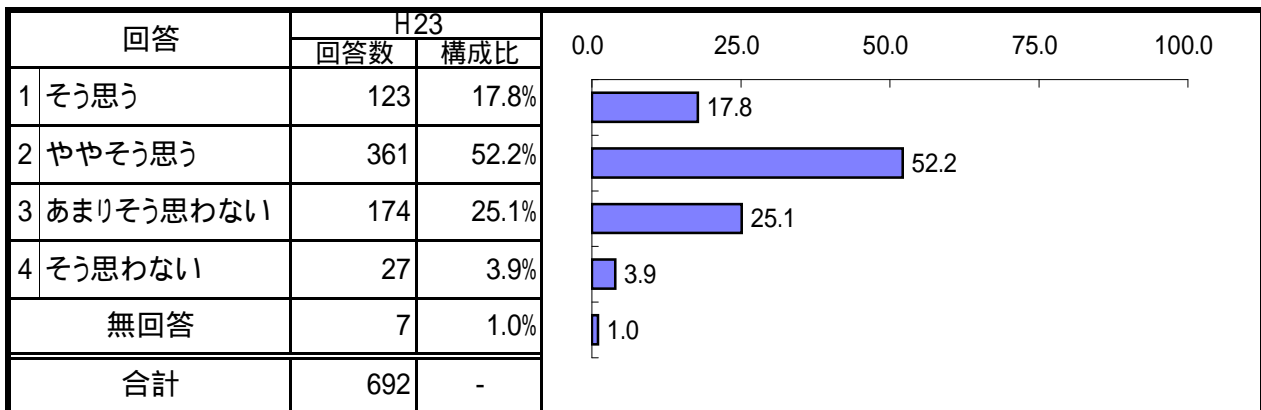


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 近くに病院や診療所がないから	2	1.3%
b 診療科目が不足しているから	21	13.5%
c 高度な医療を受けることができないから	55	35.3%
d 緊急時の医療機関の情報が十分でないから	55	35.3%
e その他	23	14.7%
有効回答数	156	-

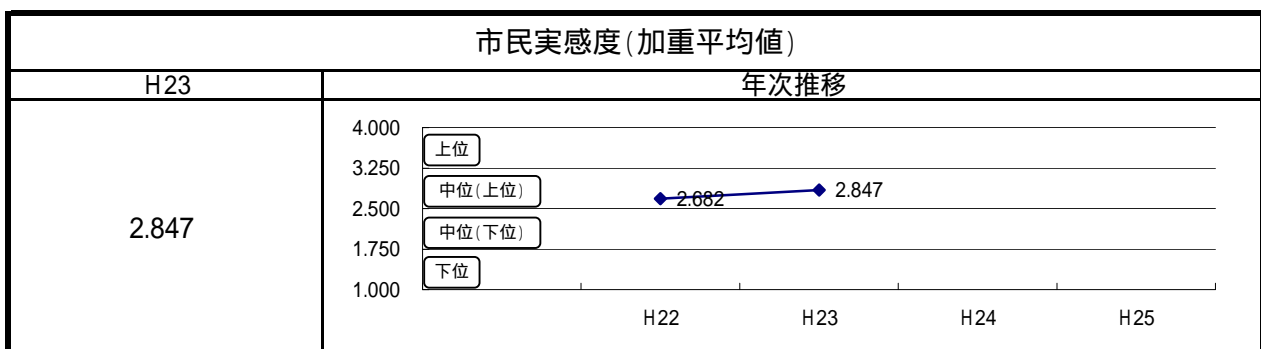


問13-B 地域の支え合いにより、安心して暮らせる

- 「ややそう思う」が52.2%（361人）、つづいて「あまりそう思わない」が25.1%（174人）となっています。
- 市民実感度は、2.847となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人201人のうち、199人がその理由を回答しており、理由として「地域住民の互いに支え合う意識が低いから」が最も多く、55.8%（111人）となっています。

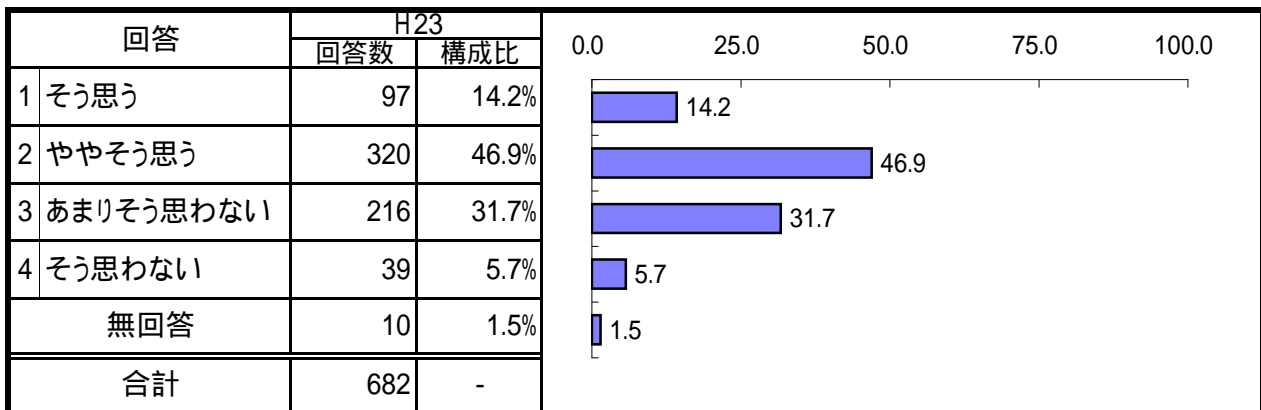


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 地域住民の互いに支え合う意識が低いから	111	55.8%
b 不安や心配事を地域で相談できるところがないから	41	20.6%
c 福祉ボランティアの活動が活発でないから	23	11.6%
d その他	24	12.1%
有効回答数	199	-

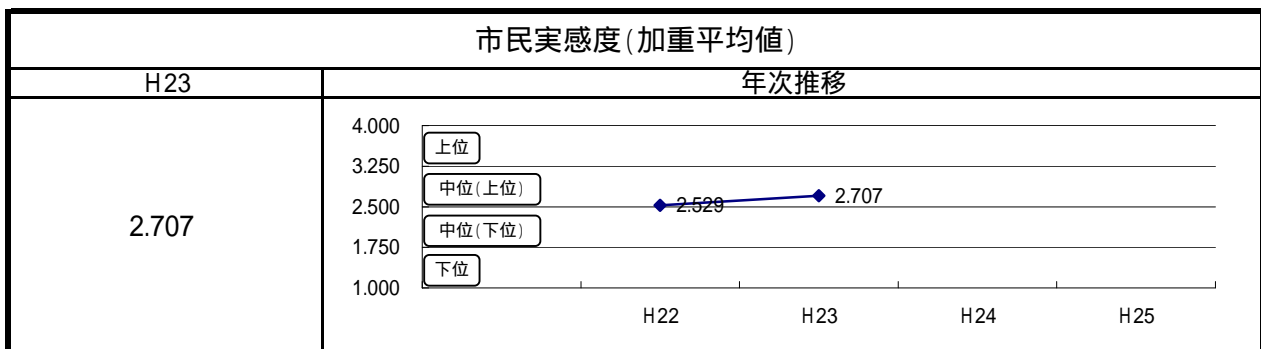


問14-A 高齢者が地域で生き生きと暮らせる

- 「ややそう思う」が46.9%（320人）、つづいて「あまりそう思わない」が31.7%（216人）となっています。
- 市民実感度は、2.707となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人255人のうち、251人がその理由を回答しており、理由として「老人ホームなどの施設が不足しているから」が最も多く、42.6%（107人）となっています。

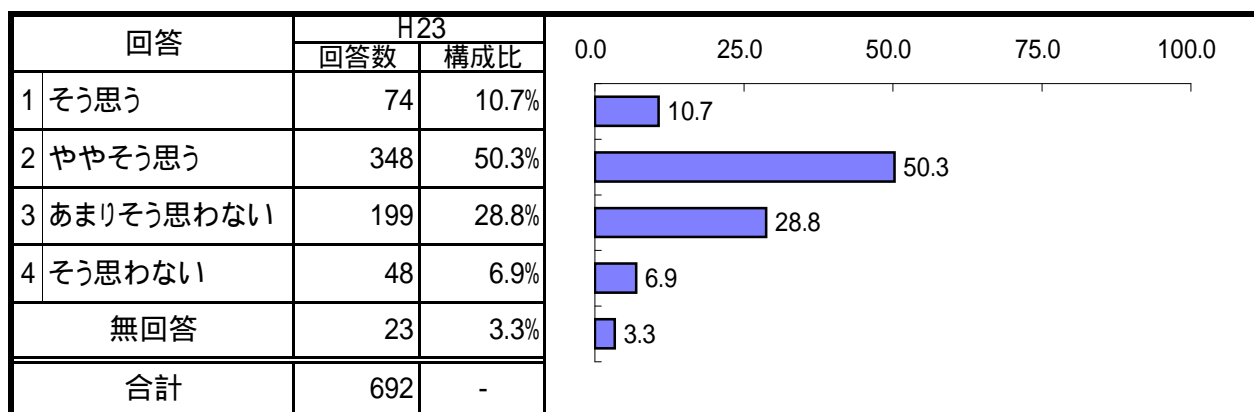


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 社会参加の機会が少ないから	18	7.2%
b 在宅の福祉サービスが利用しにくいから	25	10.0%
c 老人ホームなどの施設が不足しているから	107	42.6%
d 高齢者を地域で支える環境が整っていないから	83	33.1%
e その他	18	7.2%
有効回答数	251	-

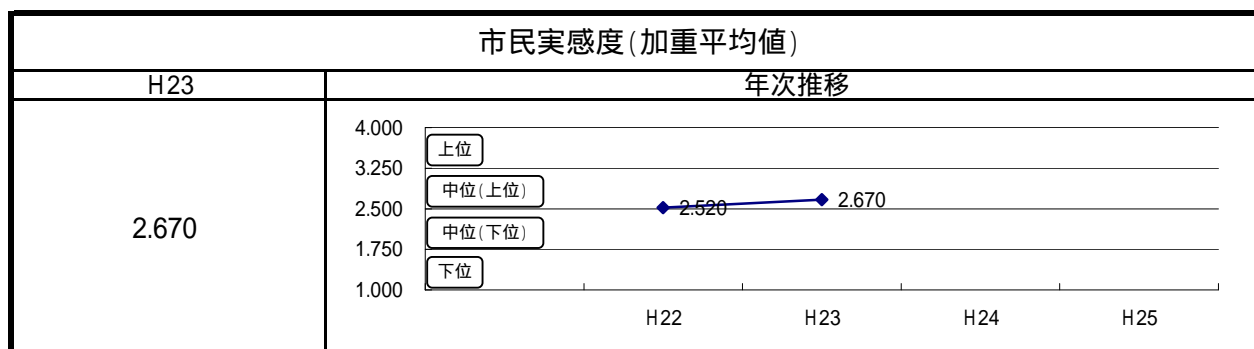


問14-B 障害のある人が地域で生き生きと暮らせる

- 「ややそう思う」が50.3%（348人）、つづいて「あまりそう思わない」が28.8%（199人）となっています。
- 市民実感度は、2.670となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人247人のうち、245人がその理由を回答しており、理由として「障害のある人を地域で支え合う意識が低いから」が最も多く、32.2%（79人）となっています。

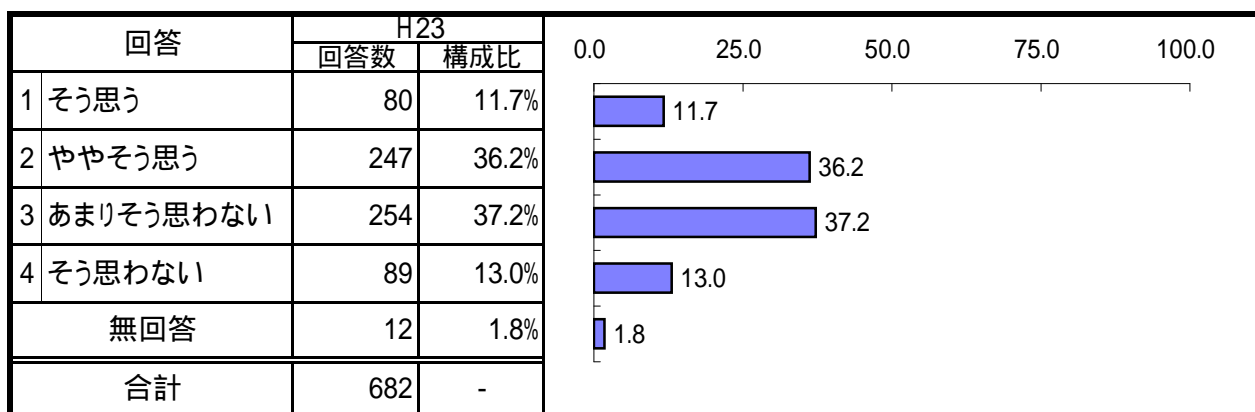


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 障害や障害のある人に対する理解が十分でないから	60	24.5%
b 障害のある人を地域で支え合う意識が低いから	79	32.2%
c 障害者福祉サービスが十分でないから	44	18.0%
d 障害のある人が働くことができる環境が整っていないから	40	16.3%
e その他	22	9.0%
有効回答数	245	-

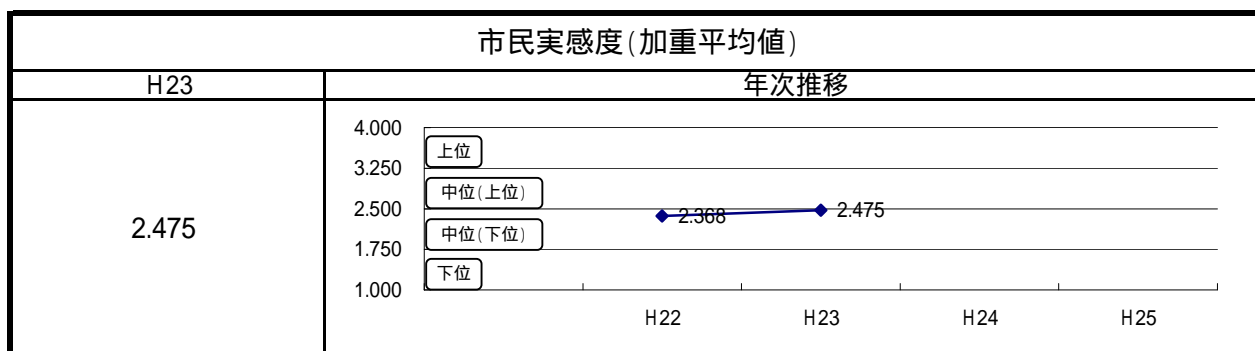


問15-A 社会保障制度の周知や適切な運用が行われている

- 「あまりそう思わない」が37.2%（254人）、つづいて「ややそう思う」が36.2%（247人）となっています。
- 市民実感度は、2.475となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人343人のうち、340人がその理由を回答しており、理由として「給付が増大し、制度が維持できるか不安だから」が最も多く、29.1%（99人）となっています。



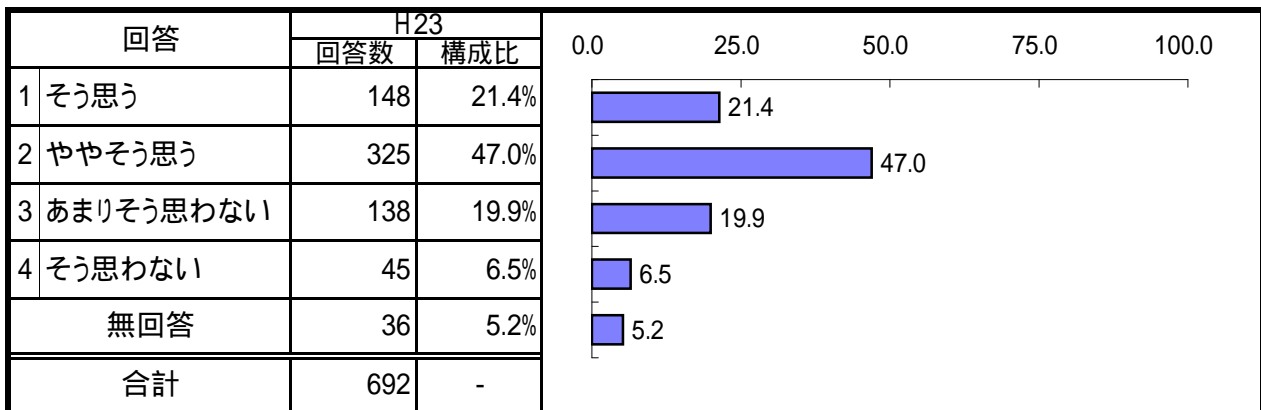
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 給付が増大し、制度が維持できるか不安だから	99	29.1%
b 給付と負担のバランスがとれていないから	83	24.4%
c 世代間の負担に不公平があるから	61	17.9%
d 制度がよく分からないから	76	22.4%
e その他	21	6.2%
有効回答数	340	-



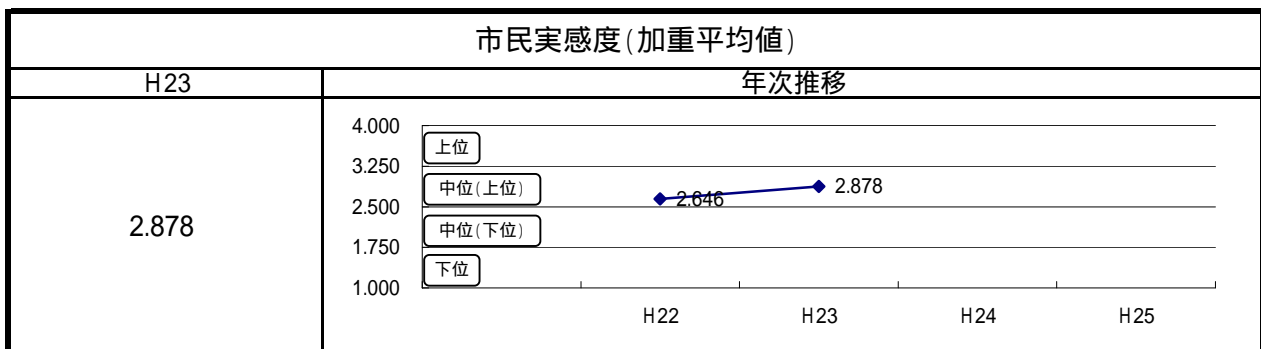


問15-B 安心して子どもを育てることができる

- 「ややそう思う」が47.0%（325人）、つづいて「そう思う」が21.4%（148人）となっています。
- 市民実感度は、2.878となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人183人のうち、180人がその理由を回答しており、理由として「出産や育児と仕事が両立できる職場環境が整っていないから」が最も多く、40.0%（72人）となっています。

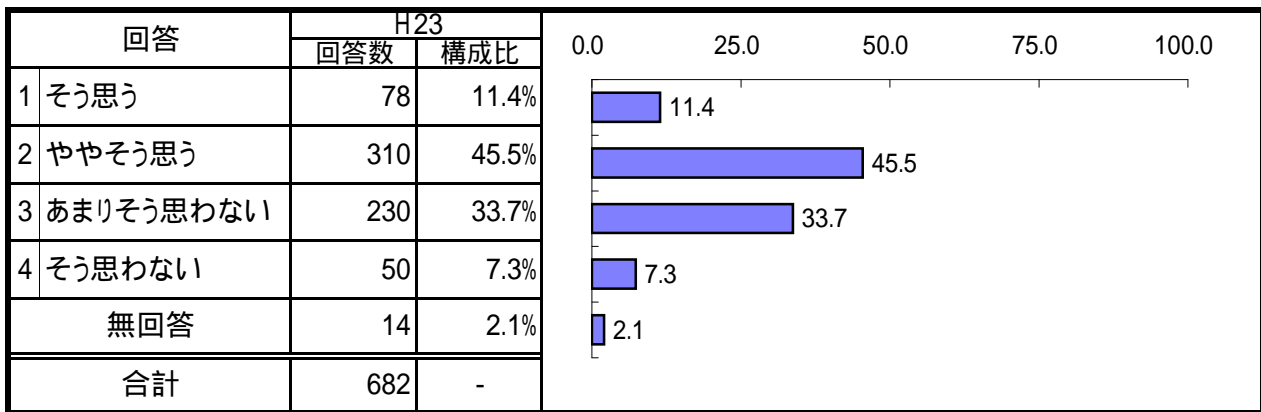


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 保育所の保育サービスが十分でないから	18	10.0%
b 児童保育センターの保育サービスが十分でないから	9	5.0%
c 出産や育児と仕事が両立できる職場環境が整っていないから	72	40.0%
d 子育てに関する不安をどこに相談したらよいか分からないから	6	3.3%
e 将来に対する様々な不安感があるから	56	31.1%
f その他	19	10.6%
有効回答数	180	-

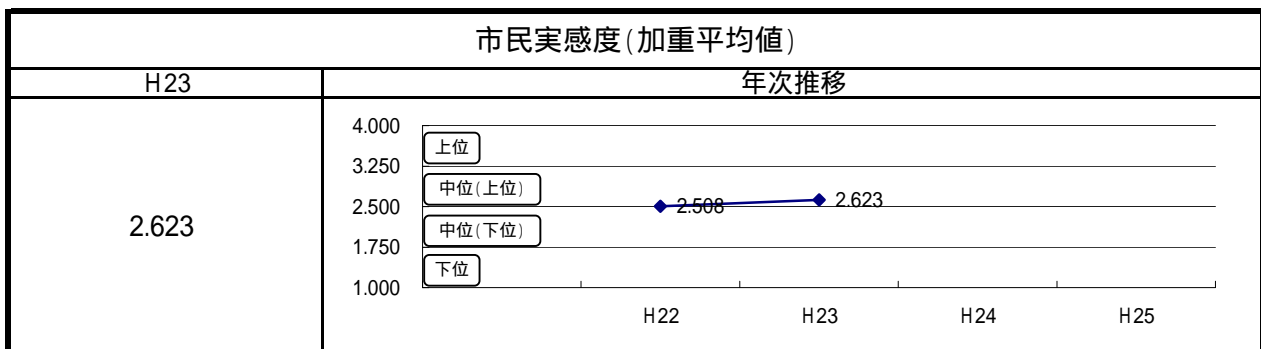


問16-A 青少年が健全に育つ環境が整っている

- 「ややそう思う」が45.5%（310人）、つづいて「あまりそう思わない」が33.7%（230人）となっています。
- 市民実感度は、2.623となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人280人のうち、272人がその理由を回答しており、理由として「家庭や地域における子どものしつけが不足しているから」が最も多く、34.6%（94人）となっています。



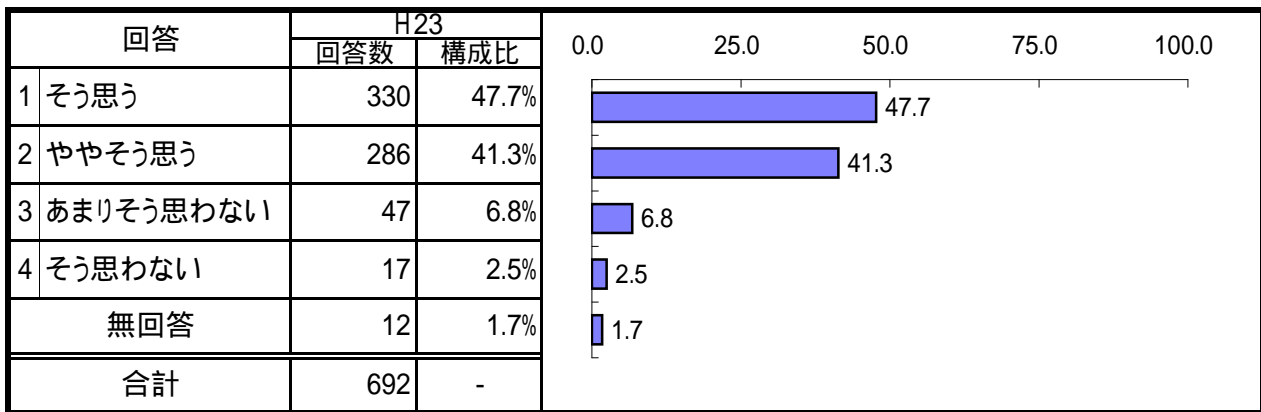
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 家庭や地域における子どものしつけが不足しているから	94	34.6%
b 家庭、地域、学校が連携した活動が不足しているから	46	16.9%
c 青少年の体験活動や社会参加する機会が不足しているから	34	12.5%
d 有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから	79	29.0%
e その他	19	7.0%
有効回答数	272	-



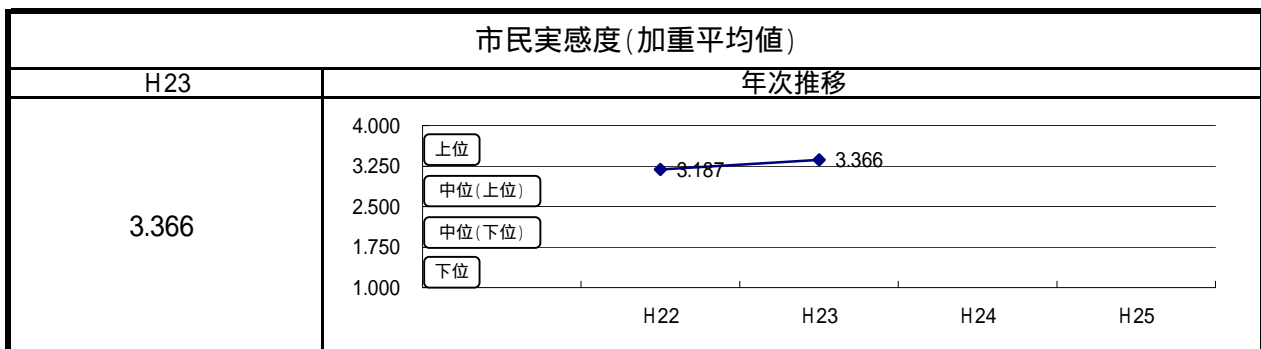


問16-B 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある

- ☞ 「そう思う」が47.7%（330人）、つづいて「ややそう思う」が41.3%（286人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、3.366となっており、上位に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人64人のうち、63人がその理由を回答しており、理由として「農業や農村に対する理解が促進されていないから」が最も多く、41.3%（26人）となっています。

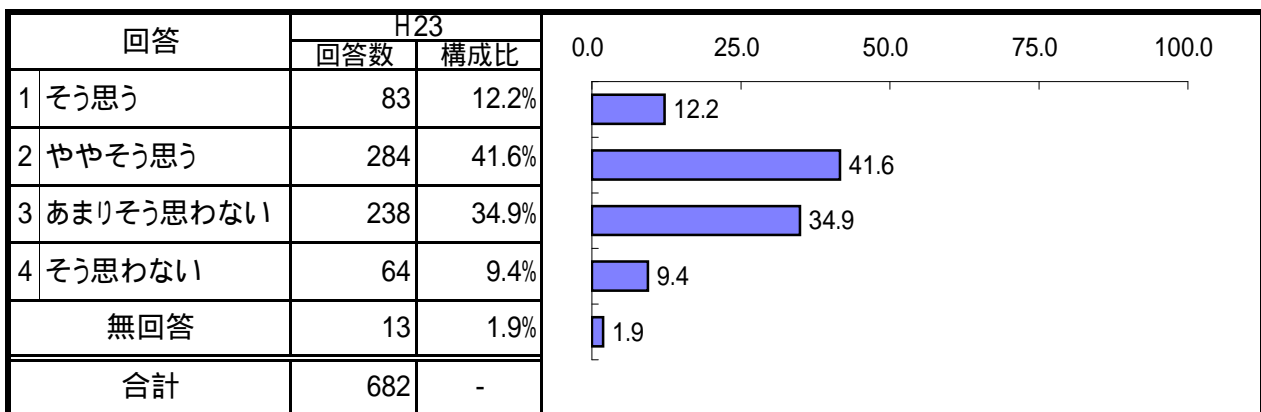


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りやすいから	18	28.6%
b 地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから	9	14.3%
c 農業や農村に対する理解が促進されていないから	26	41.3%
d その他	10	15.9%
有効回答数	63	-

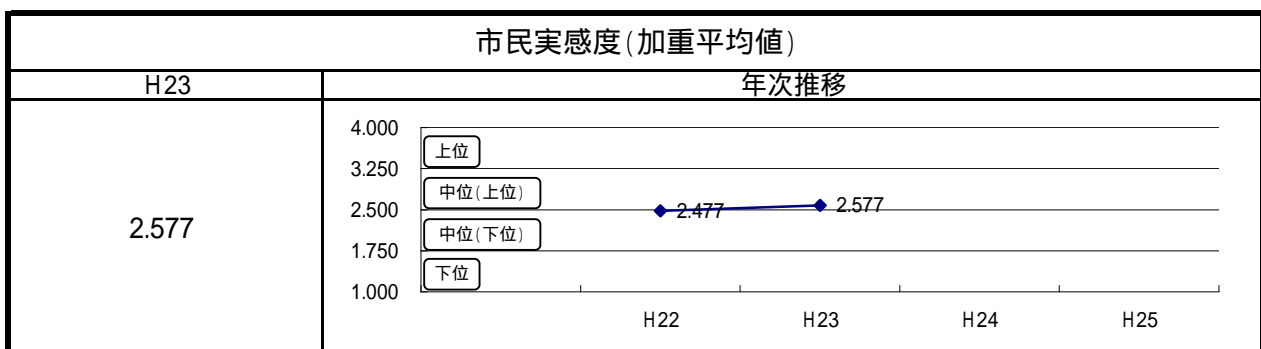


問17-A ものづくり産業に活気がある

- 「ややそう思う」が41.6%（284人）、つづいて「あまりそう思わない」が34.9%（238人）となっています。
- 市民実感度は、2.577となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人302人のうち、295人がその理由を回答しており、理由として「製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから」が最も多く、38.6%（114人）となっています。

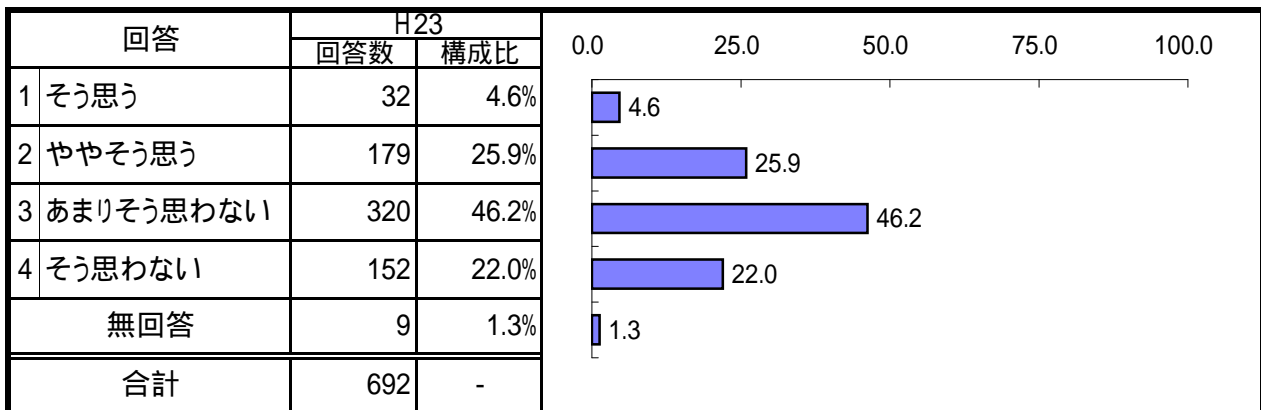


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 地元の資源を活かした新製品の開発が少ないから	71	24.1%
b 地元製品の市場拡大がすすんでいないから	82	27.8%
c 製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから	114	38.6%
d その他	28	9.5%
有効回答数	295	-

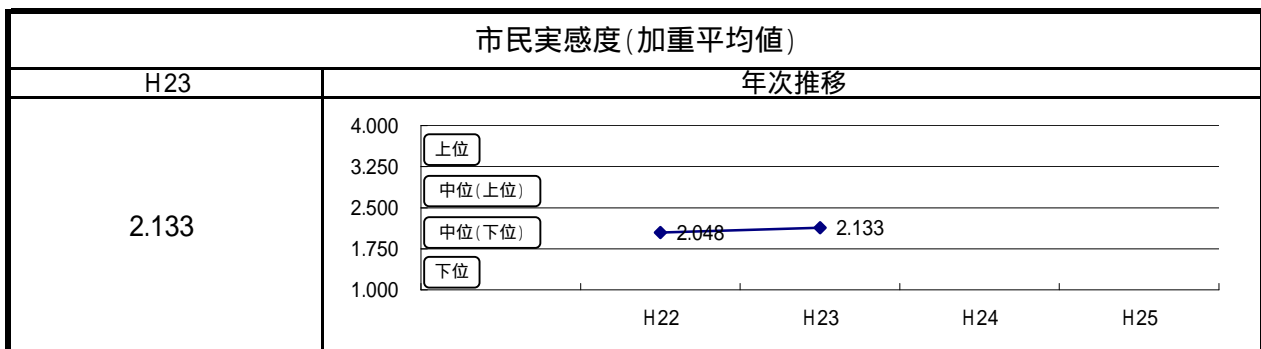


問17-B 商店や商店街に活気がある

- 「あまりそう思わない」が46.2%（320人）、つづいて「ややそう思う」25.9%（179人）となっています。
- 市民実感度は、2.133となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人472人のうち、466人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある商店街整備が行われていないから」が最も多く、38.0%（177人）となっています。

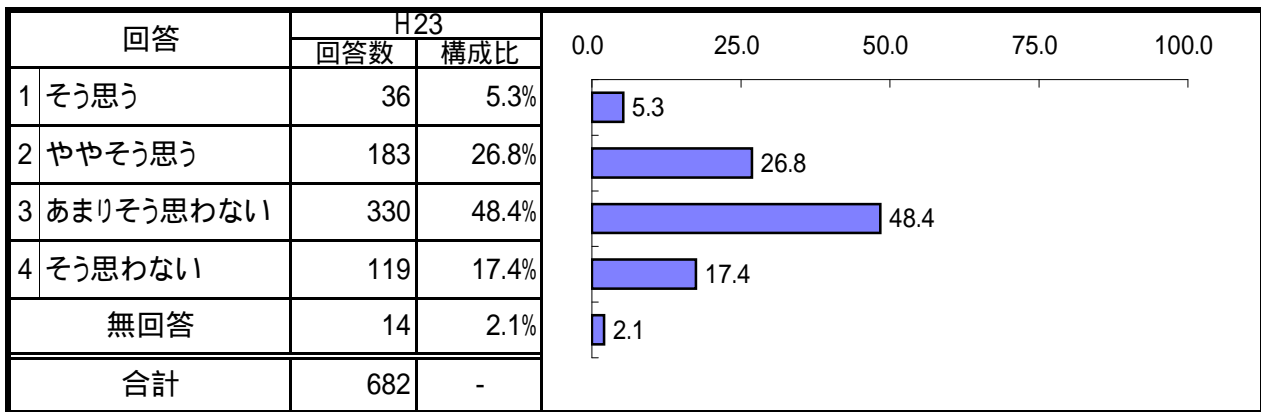


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 商店の商品やサービスに魅力がないから	70	15.0%
b 魅力ある商店街整備が行われていないから	177	38.0%
c 商店街のイベントに魅力がないから	33	7.1%
d 商店街で買い物をすることがないから	147	31.5%
e その他	39	8.4%
有効回答数	466	-

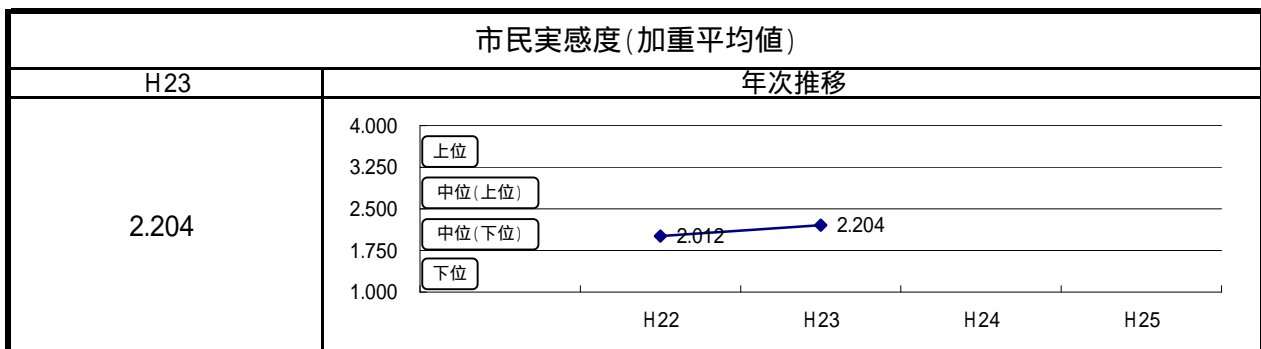


問18-A 地元の企業に活気がある

- 「あまりそう思わない」が48.4%（330人）、つづいて「ややそう思う」が26.8%（183人）となっています。
- 市民実感度は、2.204となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人449人のうち、436人がその理由を回答しており、理由として「地元企業の経営が悪化しているから」が最も多く、53.2%（232人）となっています。

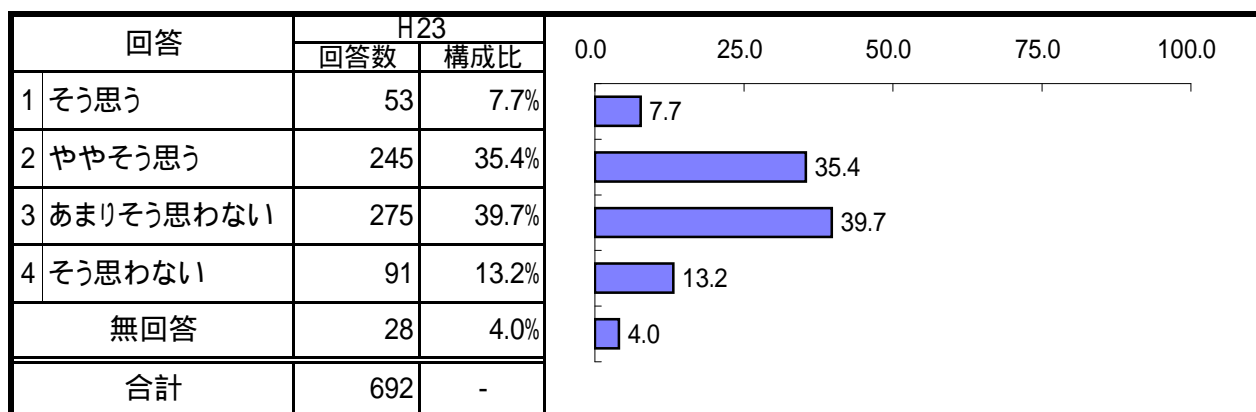


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 地元企業の経営が悪化しているから	232	53.2%
b 中小企業を支える人材が育成されていないから	78	17.9%
c 地元企業の創業・起業や新分野への進出が少ないから	100	22.9%
d その他	26	6.0%
有効回答数	436	-

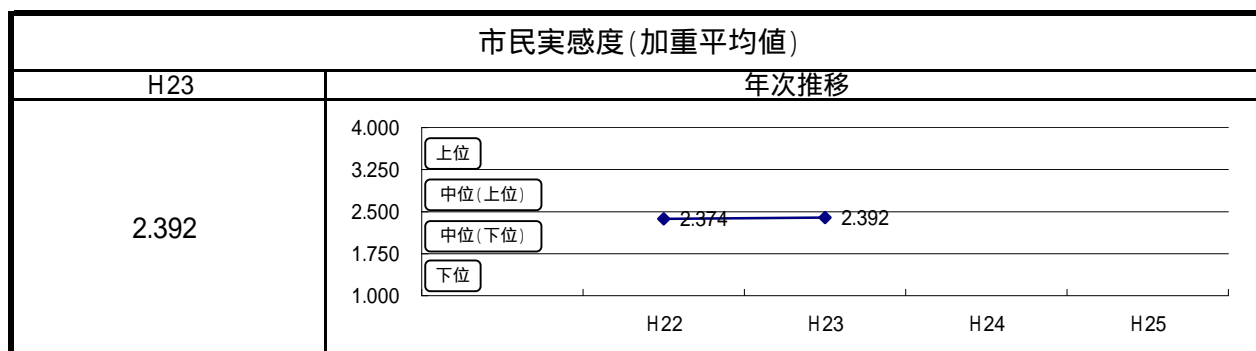


問18-B 企業が大学などと連携し、 新たな製品開発が行われている

- 「あまりそう思わない」が39.7%（275人）、つづいて「ややそう思う」が35.4%（245人）となっています。
- 市民実感度は、2.392となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人366人のうち、358人がその理由を回答しており、理由として「具体的な取り組み内容が分からないから」が最も多く、66.8%（239人）となっています。

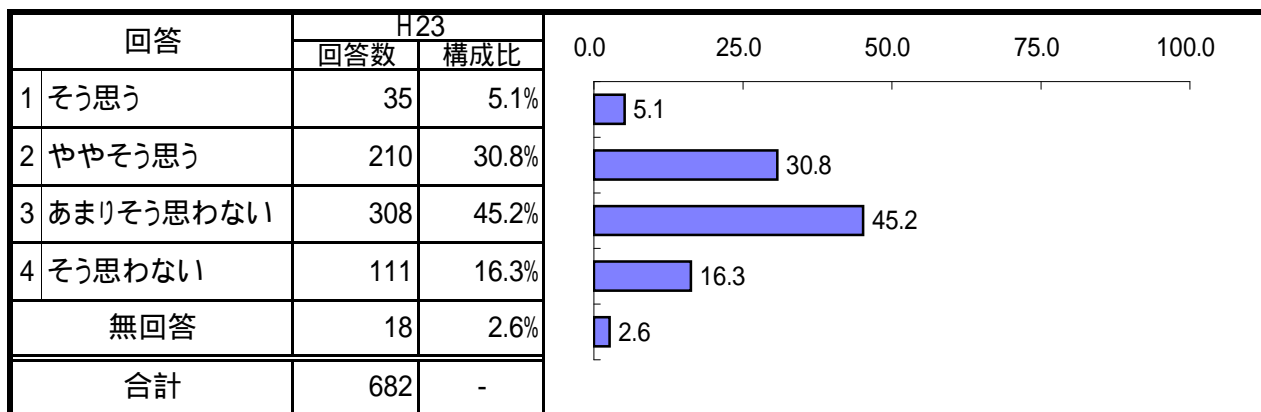


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 地元の農業者と商工業者等との連携がすすんでいないから	20	5.6%
b 地元の企業と大学の連携がすすんでいないから	21	5.9%
c 新たに開発された地元製品のPRが不足しているから	72	20.1%
d 具体的な取り組み内容が分からないから	239	66.8%
e その他	6	1.7%
有効回答数	358	-

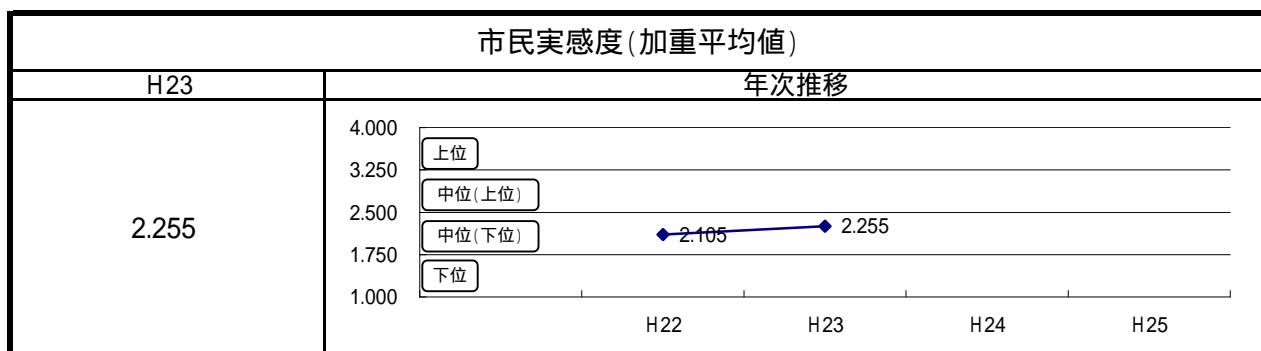


問19-A 意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる

- 「あまりそう思わない」が45.2%（308人）、つづいて「ややそう思う」が30.8%（210人）となっています。
- 市民実感度は、2.255となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人419人のうち、411人がその理由を回答しており、理由として「若い人の働く場が少ないから」が最も多く、38.7%（159人）となっています。

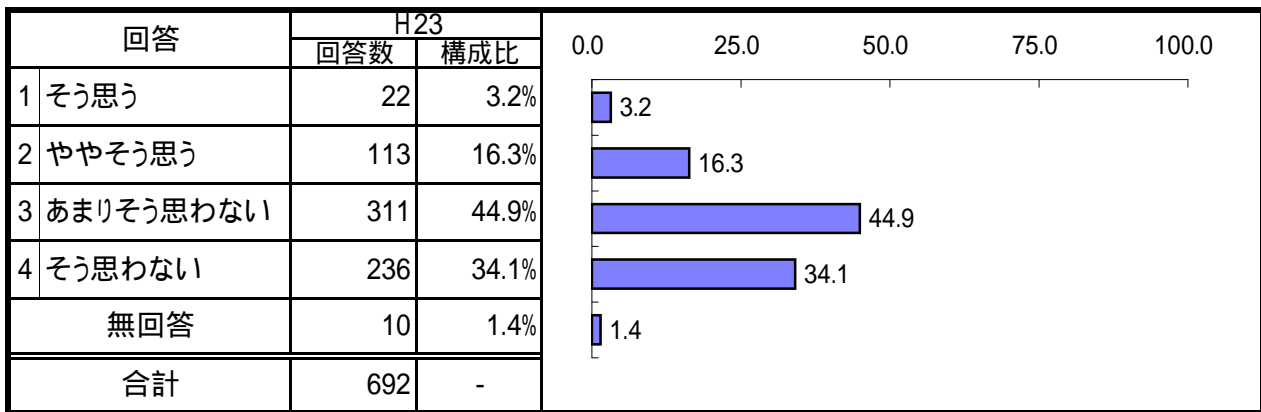


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 若い人の働く場が少ないから	159	38.7%
b 女性や高齢者の働く場が少ないから	108	26.3%
c 能力や経験を活かせる職場が少ないから	76	18.5%
d 会社の福利厚生が整っていないから	37	9.0%
e その他	31	7.5%
有効回答数	411	-

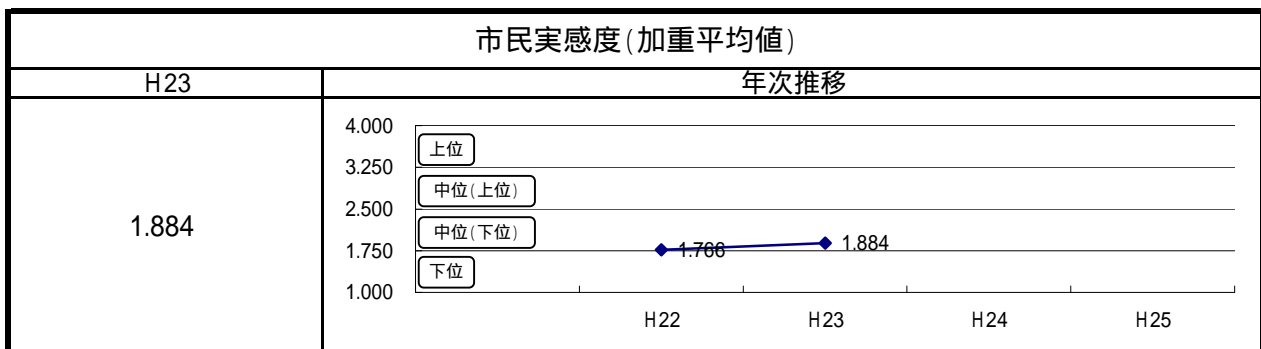


問19-B 中心市街地に魅力とにぎわいがある

- 「あまりそう思わない」が44.9% (311人)、つづいて「そう思わない」が34.1% (236人) となっています。
- 市民実感度は、1.884となっており、中位(下位)に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人547人のうち、538人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある店舗が少ないから」が最も多く、65.1% (350人) となっています。

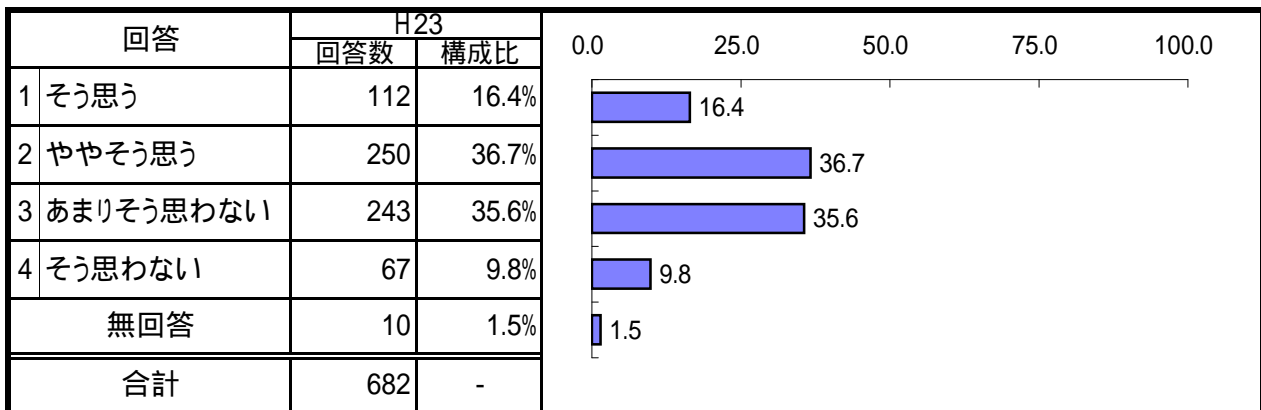


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 魅力ある店舗が少ないから	350	65.1%
b 中心市街地への交通の利便性が悪いから	92	17.1%
c 各種イベントに魅力がないから	42	7.8%
d その他	54	10.0%
有効回答数	538	-

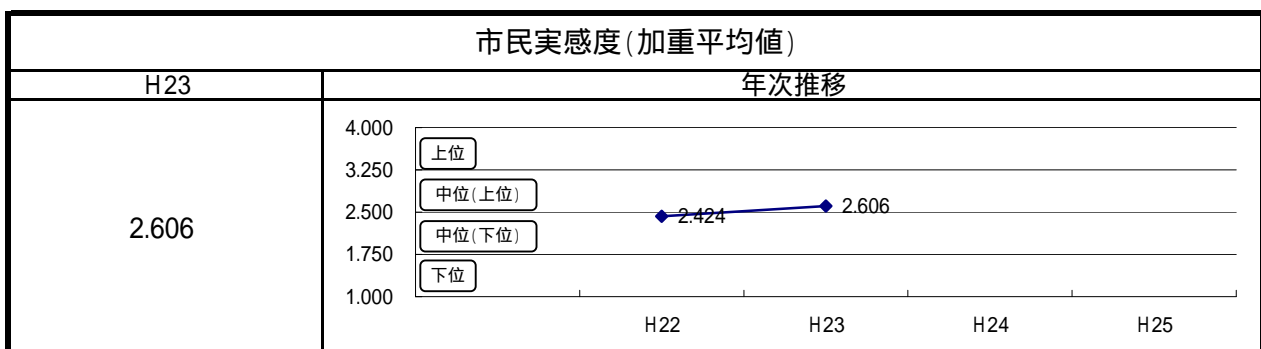


問20-A 自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている

- 「ややそう思う」が36.7%（250人）、つづいて「あまりそう思わない」が35.6%（243人）となっています。
- 市民実感度は、2.606となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人310人のうち、309人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある観光地が少ないから」が最も多く、41.4%（128人）となっています。

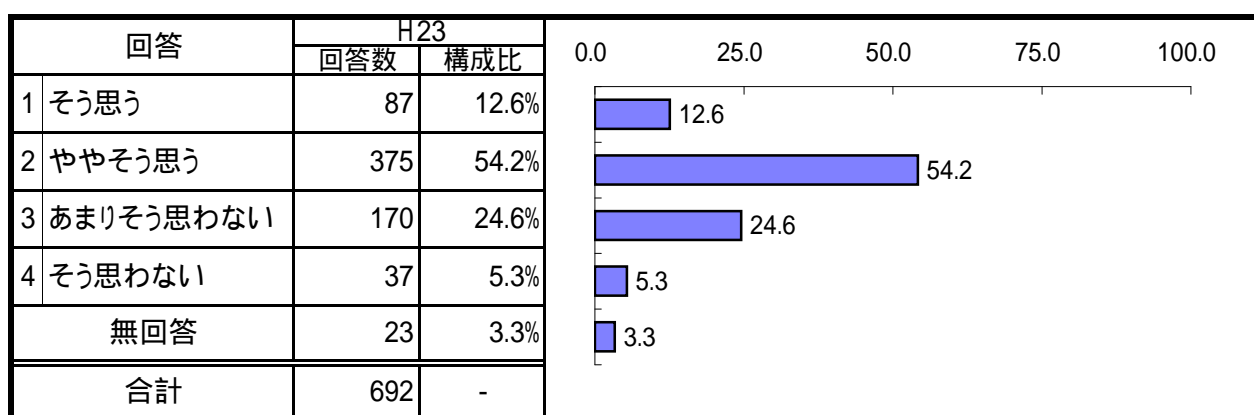


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 魅力ある観光地が少ないから	128	41.4%
b 観光イベントに魅力がないから	79	25.6%
c 観光情報の発信やPRが不足しているから	88	28.5%
d その他	14	4.5%
有効回答数	309	-

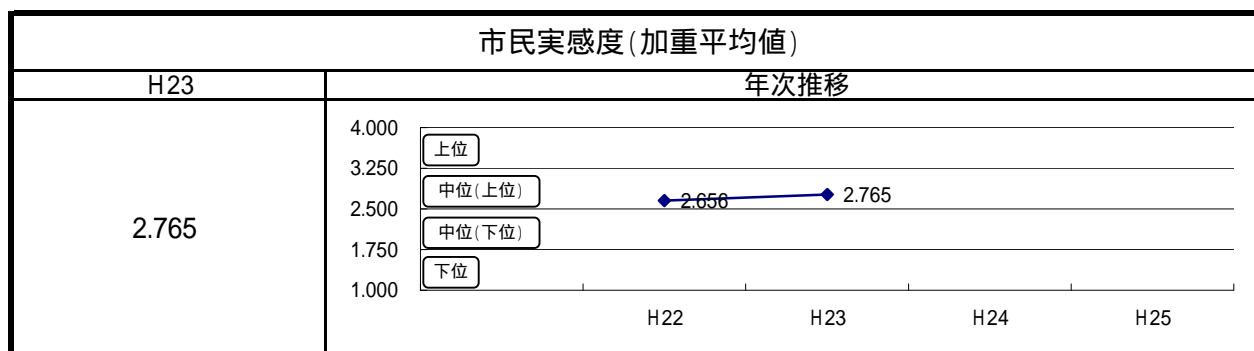


問20-B 自然環境が保全され、 環境への負荷を低減する取り組みが行われている

- 「ややそう思う」が54.2%（375人）、つづいて「あまりそう思わない」が24.6%（170人）となっています。
- 市民実感度は、2.765となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人207人のうち、206人がその理由を回答しており、理由として「環境保全に関する意識が低いから」が最も多く、38.8%（80人）となっています。

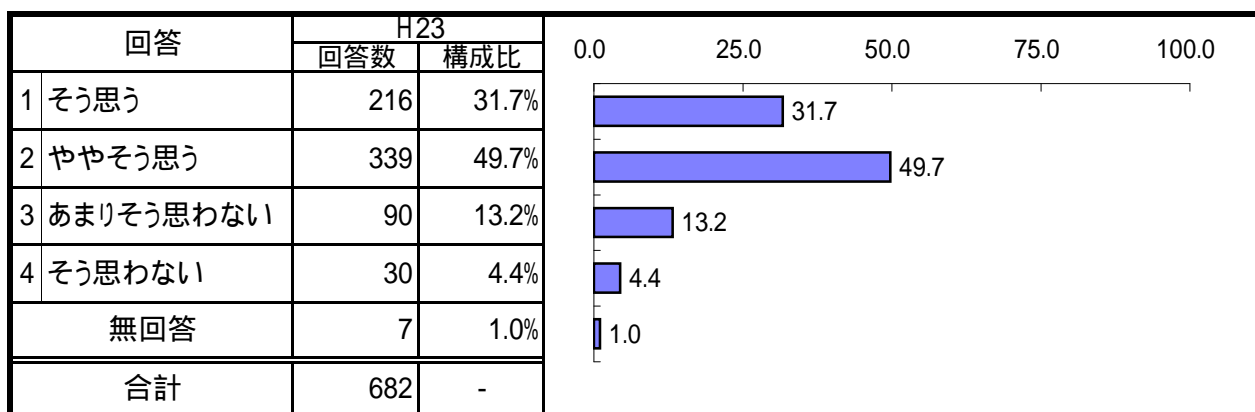


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 環境保全に関する意識が低いから	80	38.8%
b 新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから	62	30.1%
c 騒音や悪臭が気になるから	20	9.7%
d 市内の良好な自然環境が守られていないから	26	12.6%
e その他	18	8.7%
有効回答数	206	-

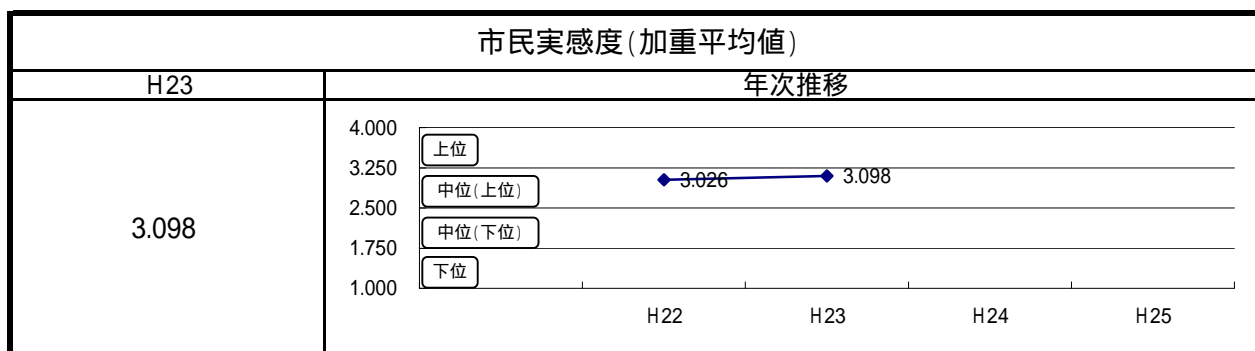


問21-A ごみの減量やリサイクルなど、 廃棄物の資源化や適正な処理が行われている

- 「ややそう思う」が49.7%（339人）、つづいて「そう思う」が31.7%（216人）となっています。
- 市民実感度は、3.098となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人120人のうち、118人がその理由を回答しており、理由として「ごみの分別や排出日が守られていないから」が最も多く、36.4%（43人）となっています。

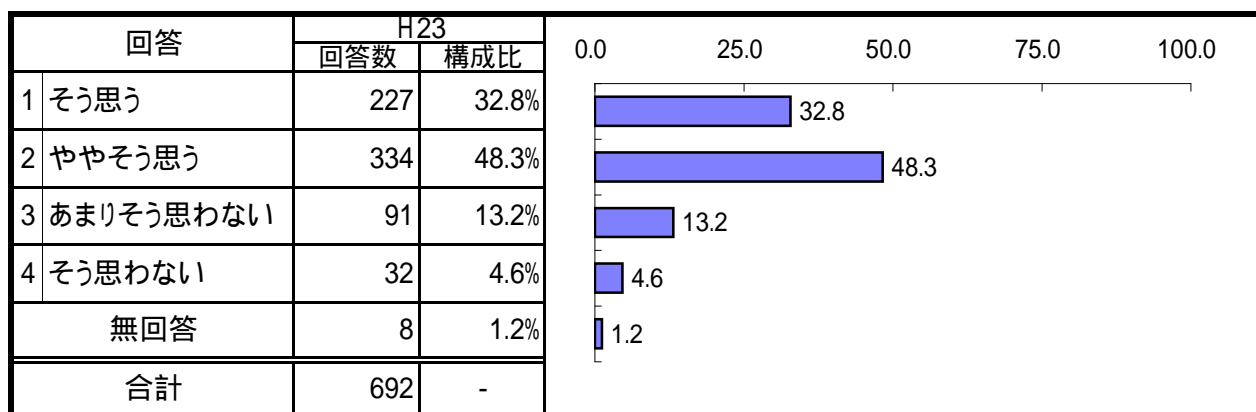


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a ごみの分別や排出日が守られていないから	43	36.4%
b 再使用や資源化に関する意識が低いから	34	28.8%
c 事業者のごみ減量や資源再生利用の意識が低いから	19	16.1%
d その他	22	18.6%
有効回答数	118	-

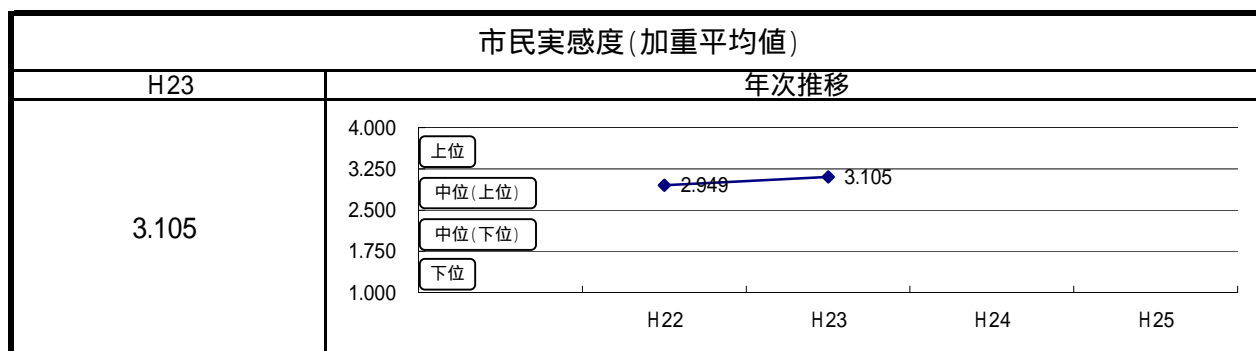


問21-B 公園、街路樹などが良好に管理され、 身近に緑や花に親しむことができる

- 「ややそう思う」が48.3%（334人）、つづいて「そう思う」が32.8%（227人）となっています。
- 市民実感度は、3.105となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人123人全員がその理由を回答しており、理由として「公園の管理が十分に行われていないから」が最も多く、46.3%（57人）となっています。

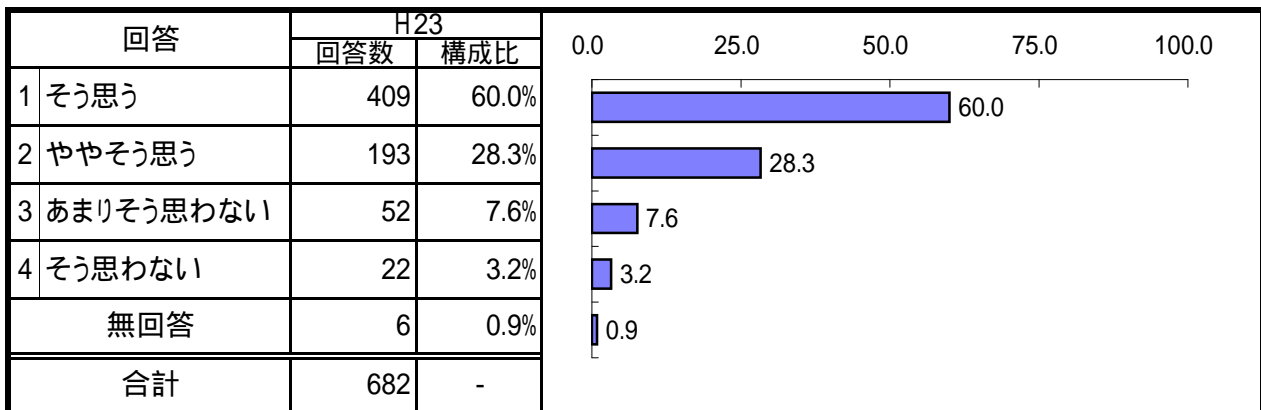


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 身近なところに公園が少ないから	15	12.2%
b 公園の管理が十分に行われていないから	57	46.3%
c 身近なところに緑が少ないから	18	14.6%
d 緑化に関する意識が低いから	14	11.4%
e その他	19	15.4%
有効回答数	123	-

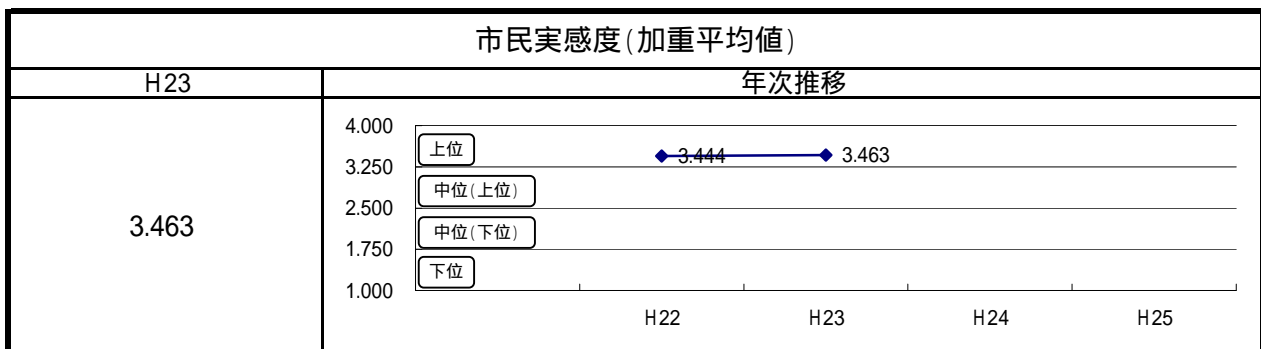


問22-A おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる

- 「そう思う」が60.0%（409人）、つづいて「ややそう思う」が28.3%（193人）となっています。
- 市民実感度は、3.463となっており、上位に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人74人全員がその理由を回答しており、理由として「水道水がおいしいと感じないから」が最も多く、62.2%（46人）となっています。



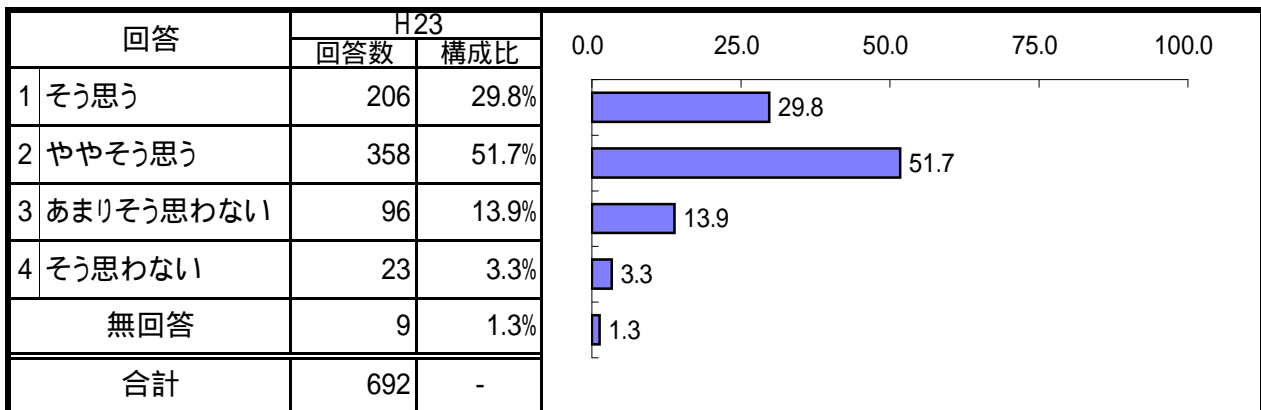
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 水道水がおいしいと感じないから	46	62.2%
b 断水や濁水などが発生したことがあるから	4	5.4%
c 災害時の不安があるから	16	21.6%
d その他	8	10.8%
有効回答数	74	-



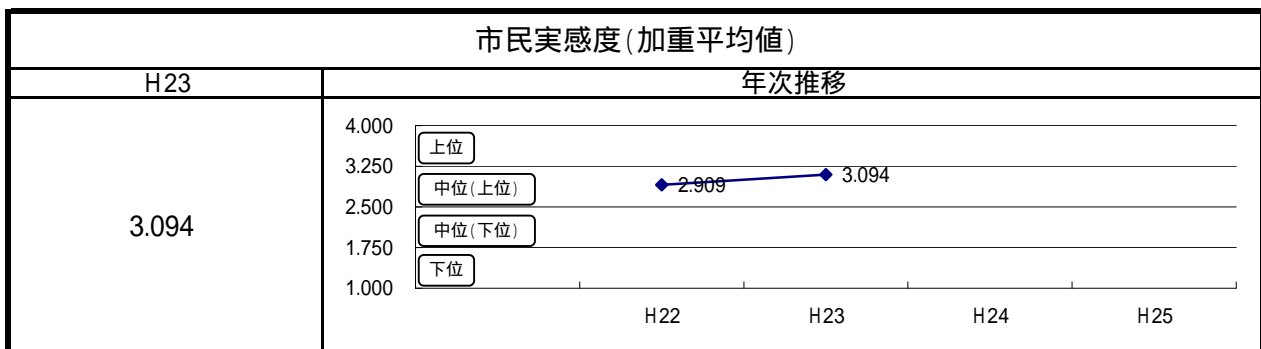


問22-B 生活廃水や雨水が適切に処理されている

- ☞ 「ややそう思う」が51.7%（358人）、つづいて「そう思う」が29.8%（206人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、3.094となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人119人のうち、117人がその理由を回答しており、理由として「雨水が適切に処理されていないから」が最も多く、42.7%（50人）となっています。



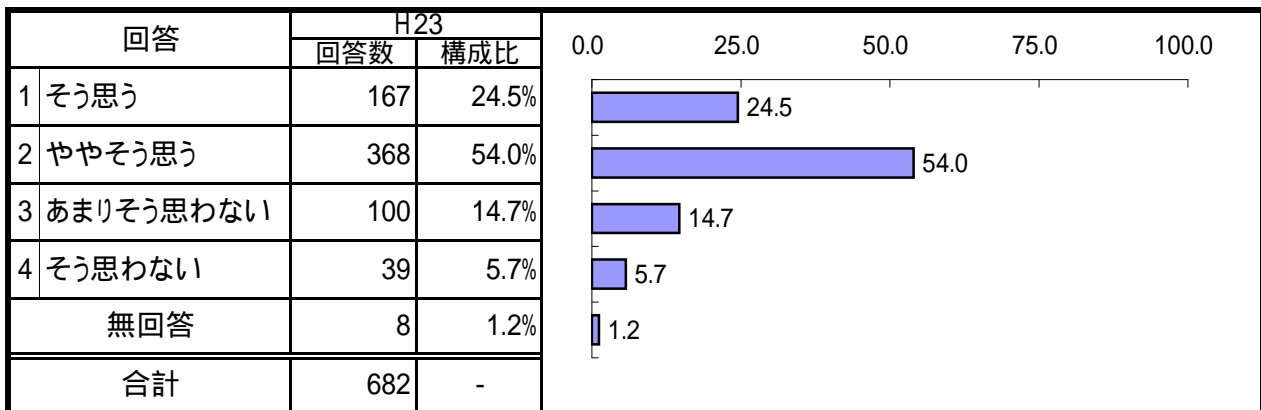
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 下水道が普及していないところがあるから	21	17.9%
b 雨水が適切に処理されていないから	50	42.7%
c 災害時の不安があるから	31	26.5%
d その他	15	12.8%
有効回答数	117	-



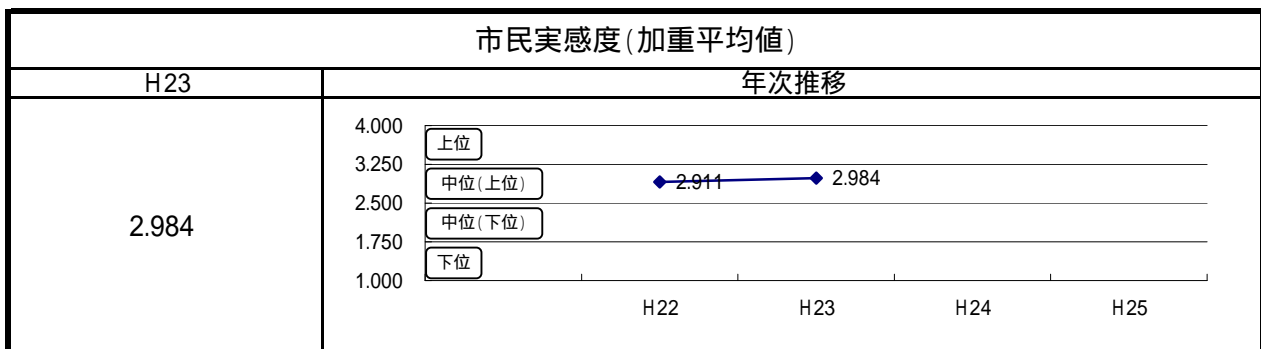


問23-A 快適で住みやすい居住空間が確保されている

- ☞ 「ややそう思う」が54.0%(368人)、つづいて「そう思う」が24.5%(167人)となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.984となっており、中位(上位)に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人139人のうち、137人がその理由を回答しており、理由として「住宅地の価格が高いから」が最も多く、35.0%(48人)となっています。

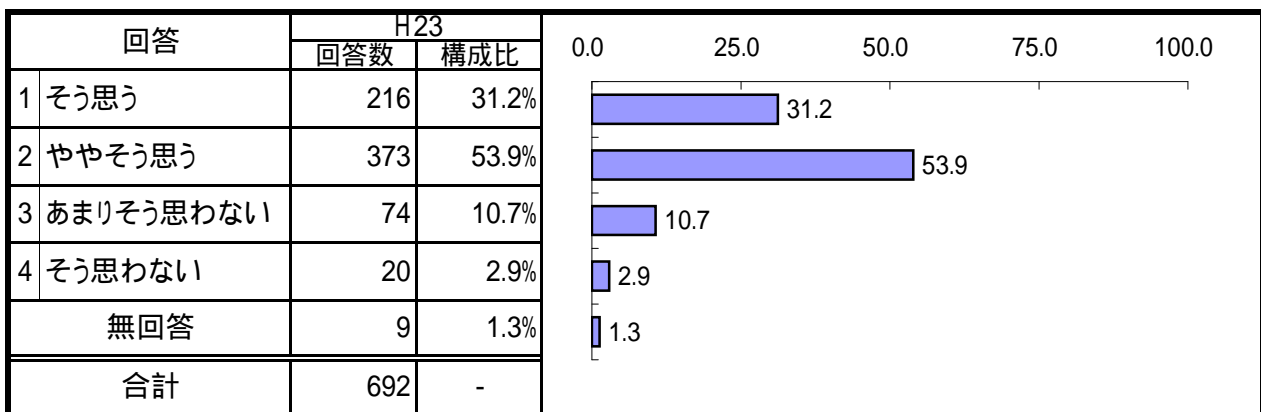


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 住宅地の価格が高いから	48	35.0%
b 住宅や住宅地に関する情報が少ないから	23	16.8%
c 公営住宅を希望しても入れないから	45	32.8%
d その他	21	15.3%
有効回答数	137	-

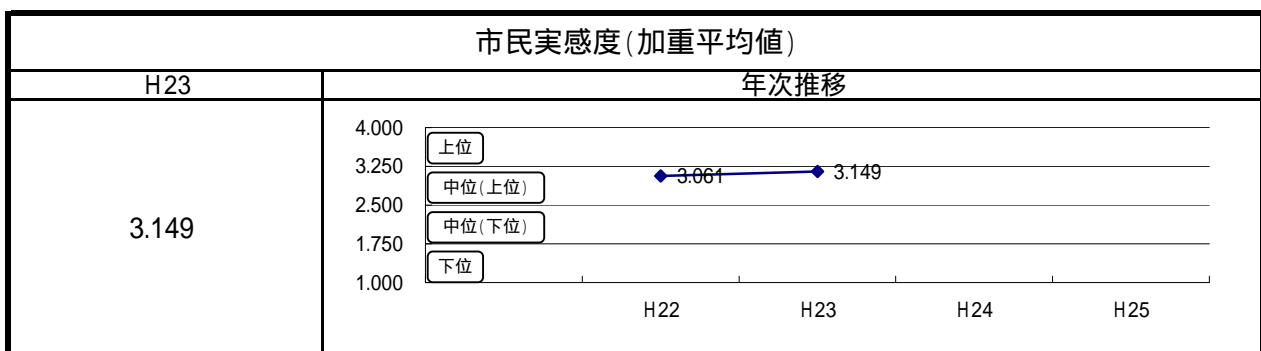


問23-B 都市部や農村部において、
帯広・十勝らしい景観が形成されている

- 「ややそう思う」が53.9%（373人）、つづいて「そう思う」が31.2%（216人）となっています。
- 市民実感度は、3.149となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人94人のうち、93人がその理由を回答しており、理由として「景観形成に関する意識が低いから」が最も多く、45.2%（42人）となっています。

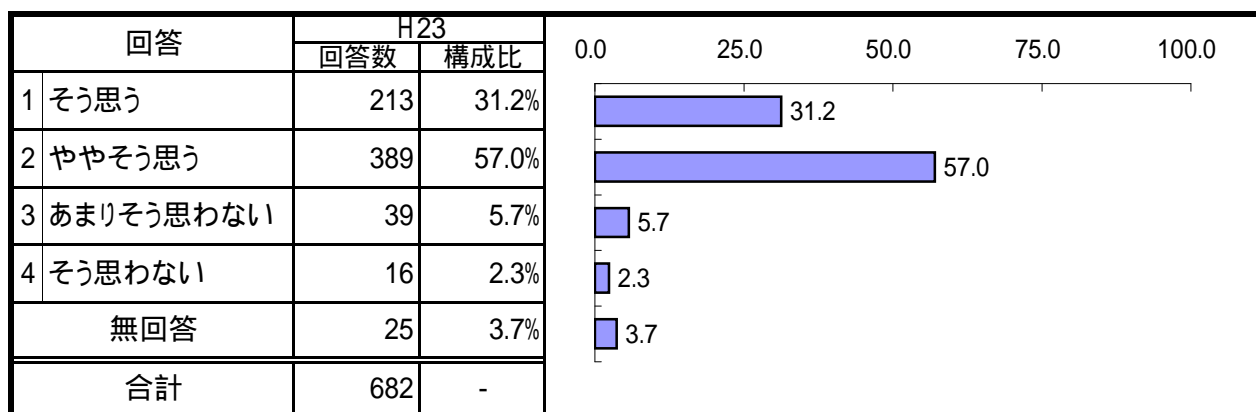


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 景観形成に関する意識が低いから	42	45.2%
b 都市部の景観を損ねているところがあるから	25	26.9%
c 農村部の景観を損ねているところがあるから	10	10.8%
d その他	16	17.2%
有効回答数	93	-

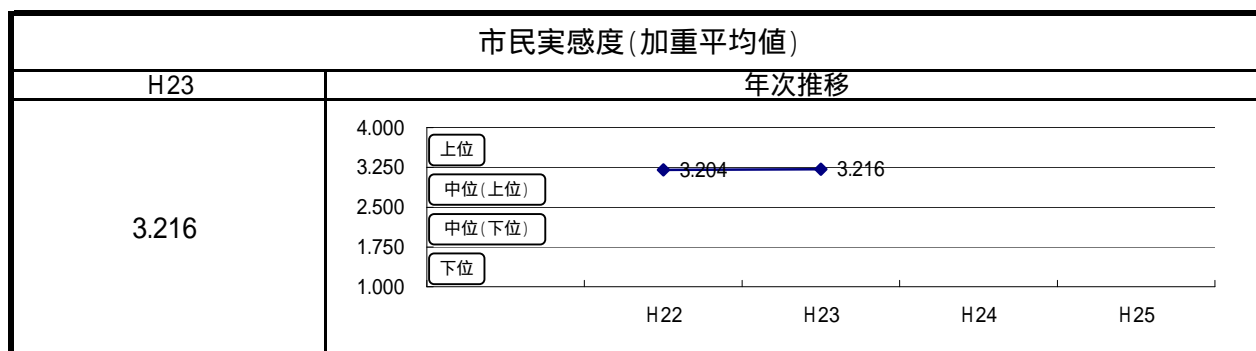


問24-A 墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている

- 「ややそう思う」が57.0%（389人）、つづいて「そう思う」が31.2%（213人）となっています。
- 市民実感度は、3.216となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人55人のうち、49人がその理由を回答しており、理由として「市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから」が最も多く、51.0%（25人）となっています。

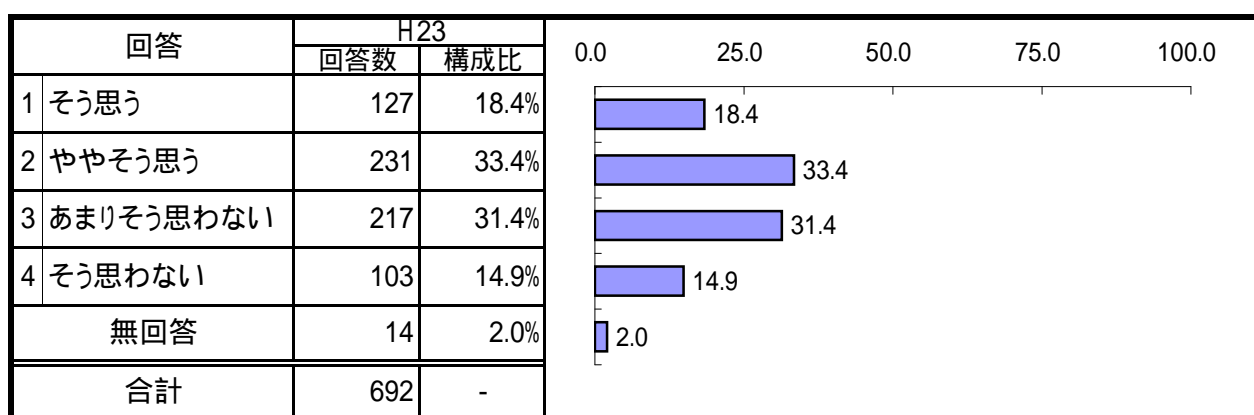


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから	25	51.0%
b 墓地の管理が十分でないから	7	14.3%
c 火葬場の管理が十分でないから	3	6.1%
d その他	14	28.6%
有効回答数	49	-

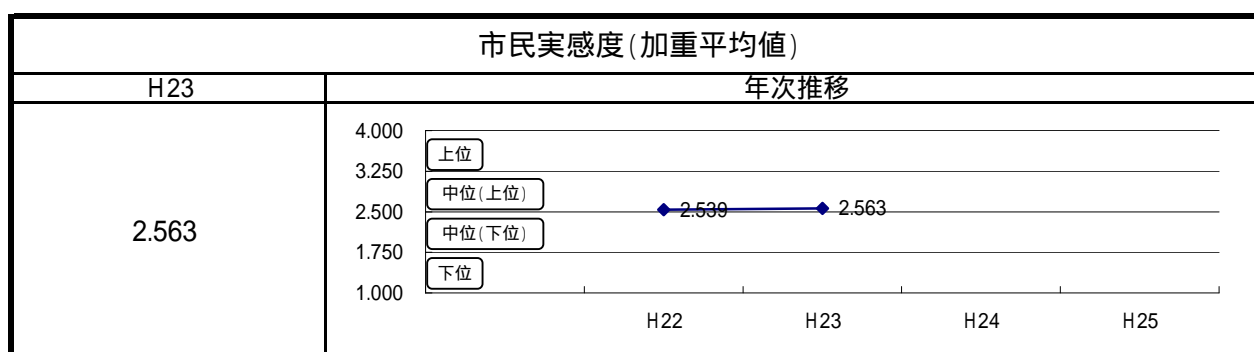


問24-B 幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる

- 「ややそう思う」が33.4%（231人）、つづいて「あまりそう思わない」が31.4%（217人）となっています。
- 市民実感度は、2.563となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人320人のうち、318人がその理由を回答しており、理由として「道路や歩道の除雪が十分でないから」が最も多く、61.0%（194人）となっています。

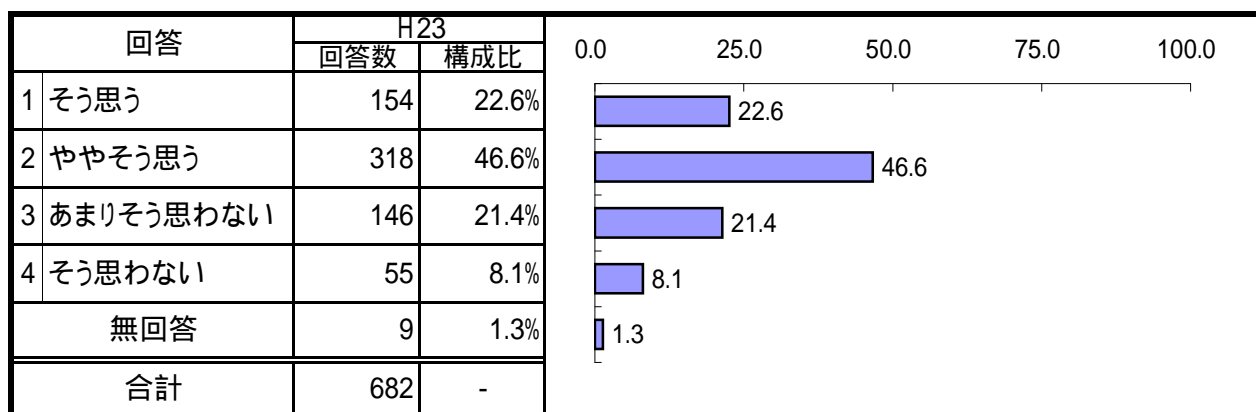


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 整備されていない道路があるから	59	18.6%
b 道路が適切に維持管理されていないから	45	14.2%
c 道路や歩道の除雪が十分でないから	194	61.0%
d その他	20	6.3%
有効回答数	318	-

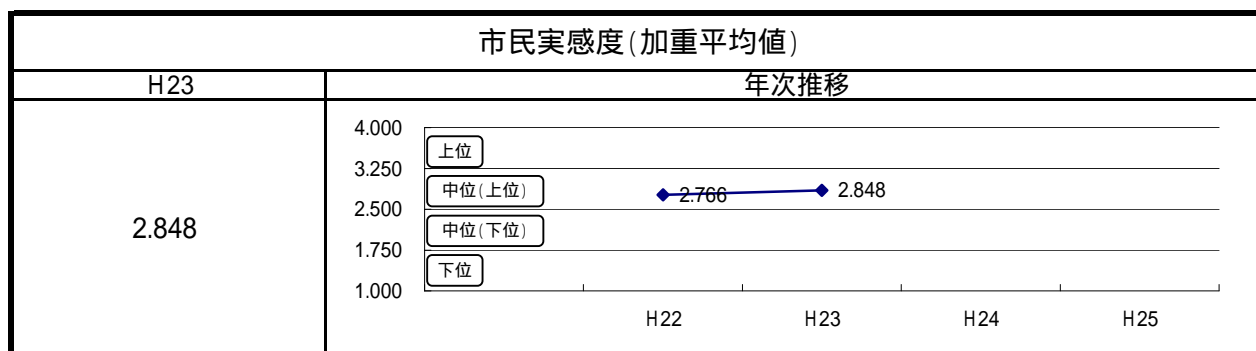


問25-A 空港、バス、高速道路など、 交通の利便性が確保されている

- 「ややそう思う」が46.6%（318人）、つづいて「そう思う」が22.6%（154人）となっています。
- 市民実感度は、2.848となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人201人のうち、199人がその理由を回答しており、理由として「バスの利便性が良くないから」が最も多く、58.8%（117人）となっています。

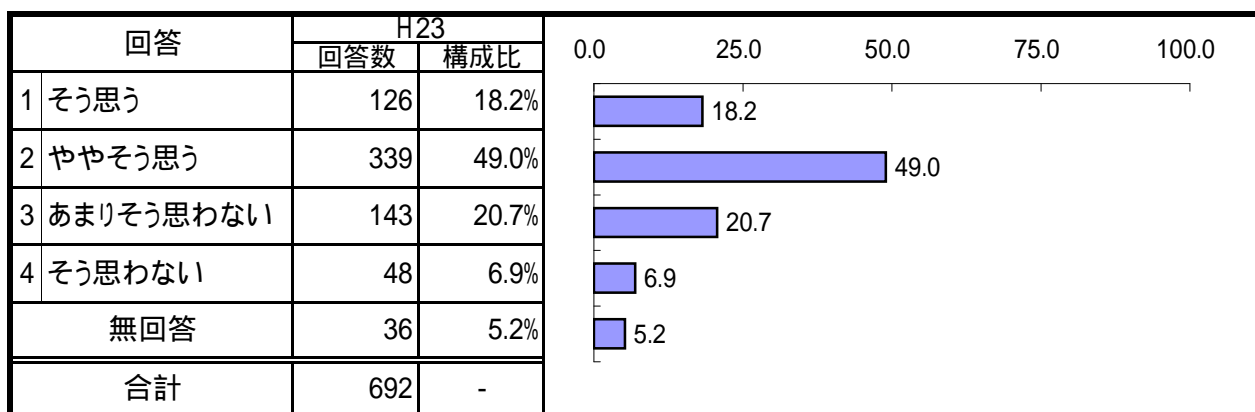


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 航空の利便性が良くないから	41	20.6%
b 鉄道の利便性が良くないから	9	4.5%
c バスの利便性が良くないから	117	58.8%
d 高速道路の利便性が良くないから	20	10.1%
e その他	12	6.0%
有効回答数	199	-

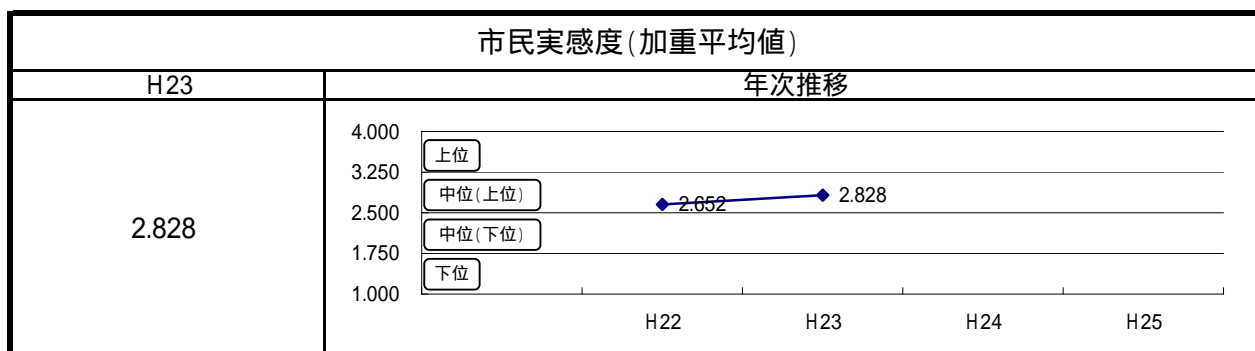


問25-B 高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている

- 「ややそう思う」が49.0%（339人）、つづいて「あまりそう思わない」が20.7%（143人）となっています。
- 市民実感度は、2.828となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人191人のうち、189人がその理由を回答しており、理由として「パソコンやインターネットの使い方が分からないから」が最も多く、49.2%（93人）となっています。



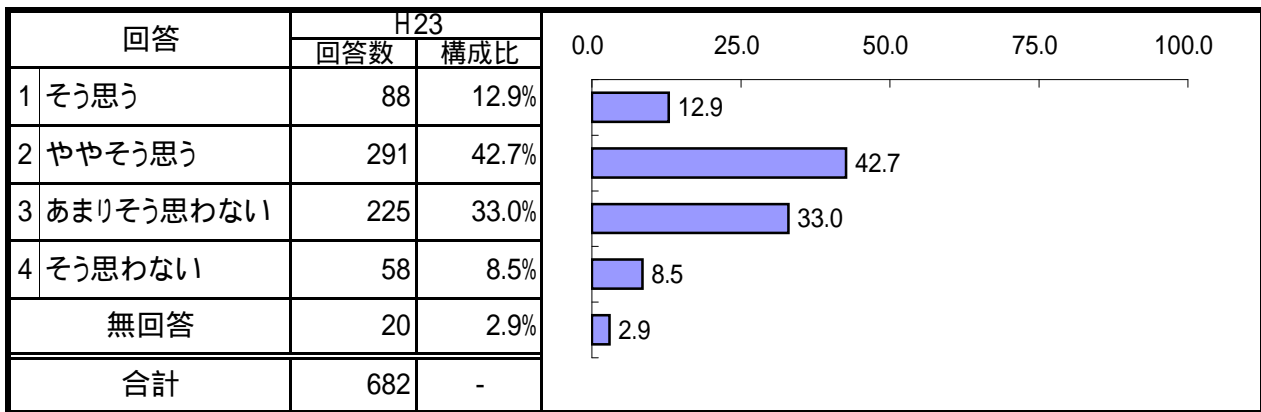
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 高速インターネットを利用できる環境が整っていないから	46	24.3%
b パソコンやインターネットの使い方が分からないから	93	49.2%
c 利用したい情報サービスが少ないから	37	19.6%
d その他	13	6.9%
有効回答数	189	-



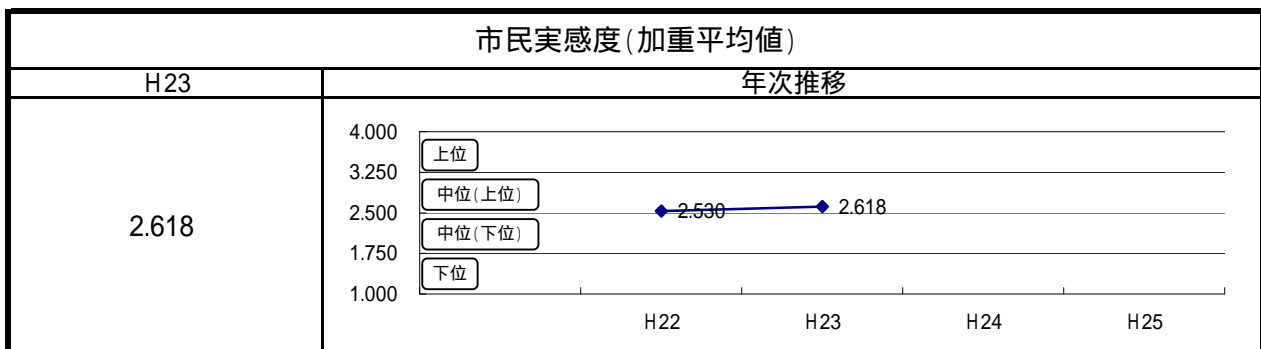


問26-A 小学校・中学校において充実した教育が行われている

- ☞ 「ややそう思う」が42.7%（291人）、つづいて「あまりそう思わない」が33.0%（225人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.618となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人283人のうち、279人がその理由を回答しており、理由として「子どもの道徳心が育っていないから」が最も多く、31.5%（88人）となっています。

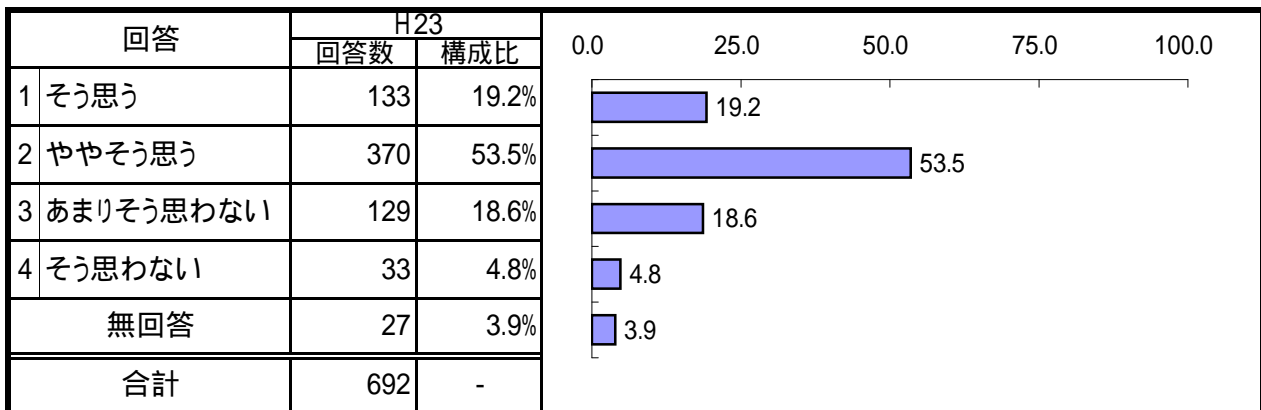


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 子どもの学力が低下しているから	75	26.9%
b 子どもの体力が低下しているから	16	5.7%
c 子どもの道徳心が育っていないから	88	31.5%
d 教師の指導力が不足しているから	76	27.2%
e その他	24	8.6%
有効回答数	279	-

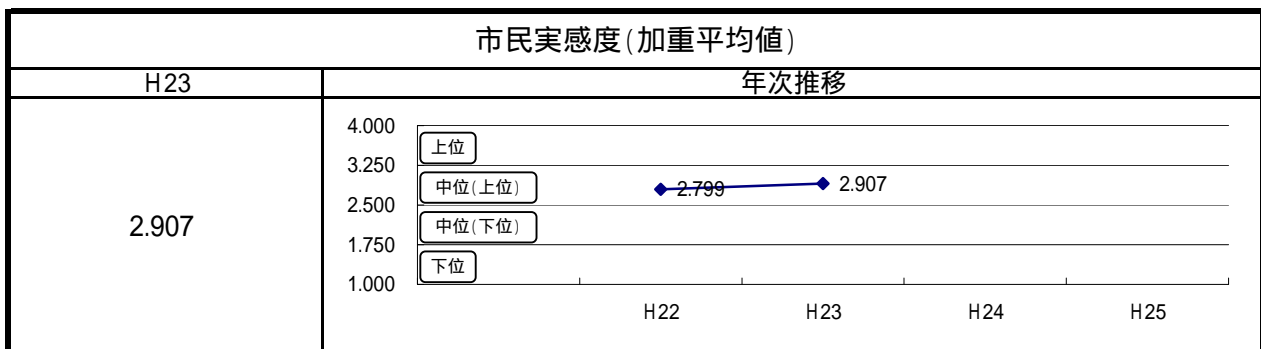


問26-B 子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている

- 「ややそう思う」が53.5%（370人）、つづいて「そう思う」が19.2%（133人）となっています。
- 市民実感度は、2.907となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人162人のうち、158人がその理由を回答しており、理由として「学校施設の改修や耐震化がすすんでいないから」が最も多く、34.8%（55人）となっています。

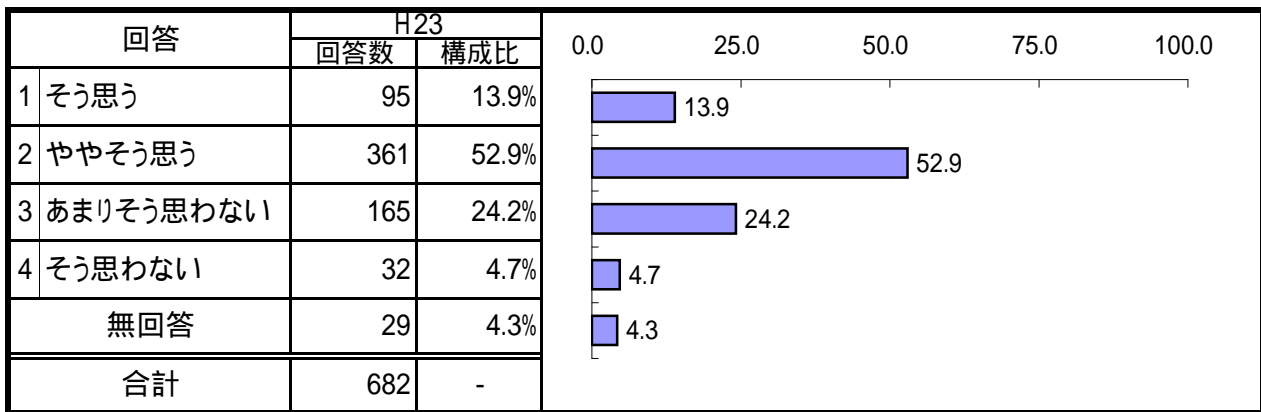


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 学校施設の改修や耐震化がすすんでいないから	55	34.8%
b 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから	33	20.9%
c 教育に関する情報が、親や両親に十分に提供されていないから	44	27.8%
d その他	26	16.5%
有効回答数	158	-

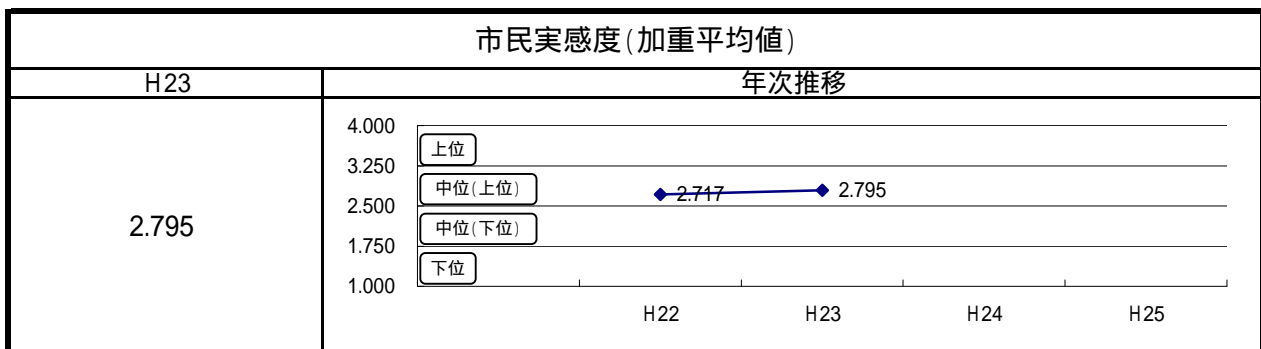


問27-A 高等学校において充実した教育が行われている

- 「ややそう思う」が52.9%（361人）、つづいて「あまりそう思わない」が24.2%（165人）となっています。
- 市民実感度は、2.795となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人197人のうち、193人がその理由を回答しており、理由として「社会性を育む教育が行われていないから」が最も多く、53.4%（103人）となっています。

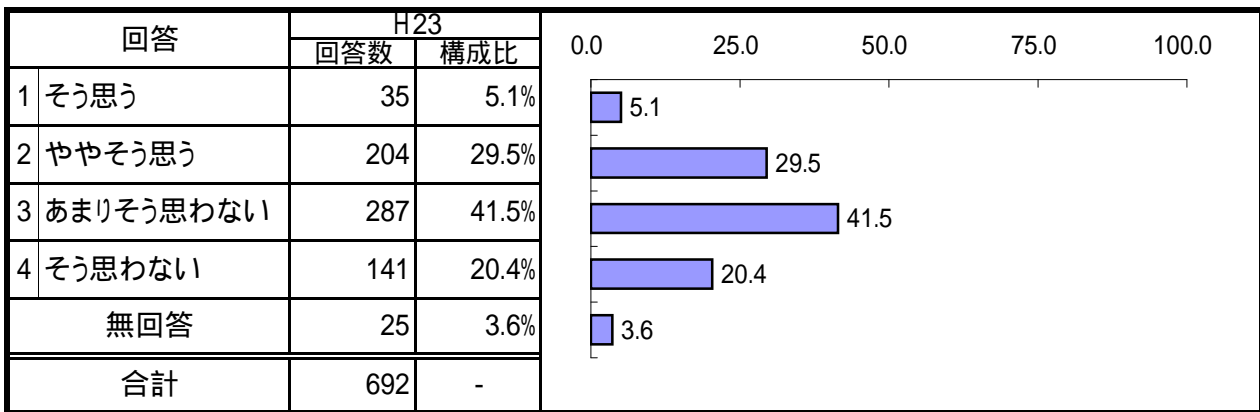


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 特色ある教育が行われていないから	36	18.7%
b 学習内容が身につけていないから	29	15.0%
c 社会性を育む教育が行われていないから	103	53.4%
d その他	25	13.0%
有効回答数	193	-

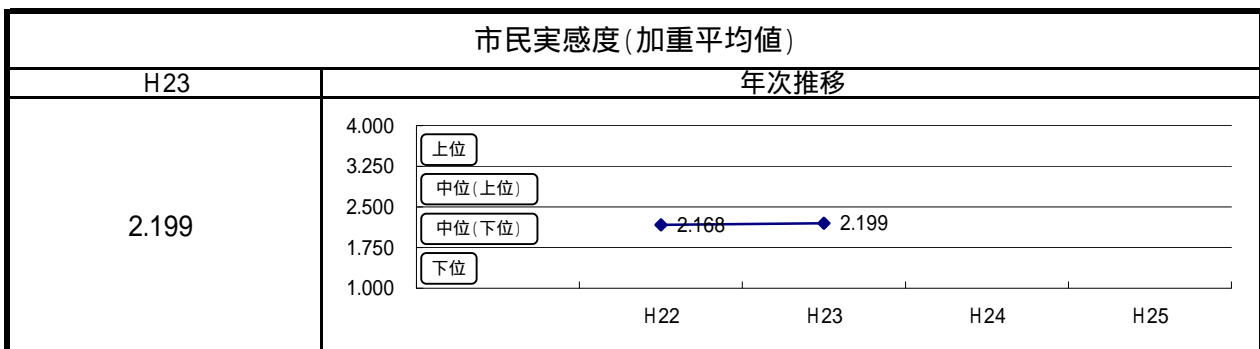


問27-B 大学や専修学校など、 高度な教育を受けることができる環境が整っている

- 「あまりそう思わない」が41.5%（287人）、つづいて「ややそう思う」が29.5%（204人）となっています。
- 市民実感度は、2.199となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人428人のうち、423人がその理由を回答しており、理由として「大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから」が最も多く、64.3%（272人）となっています。

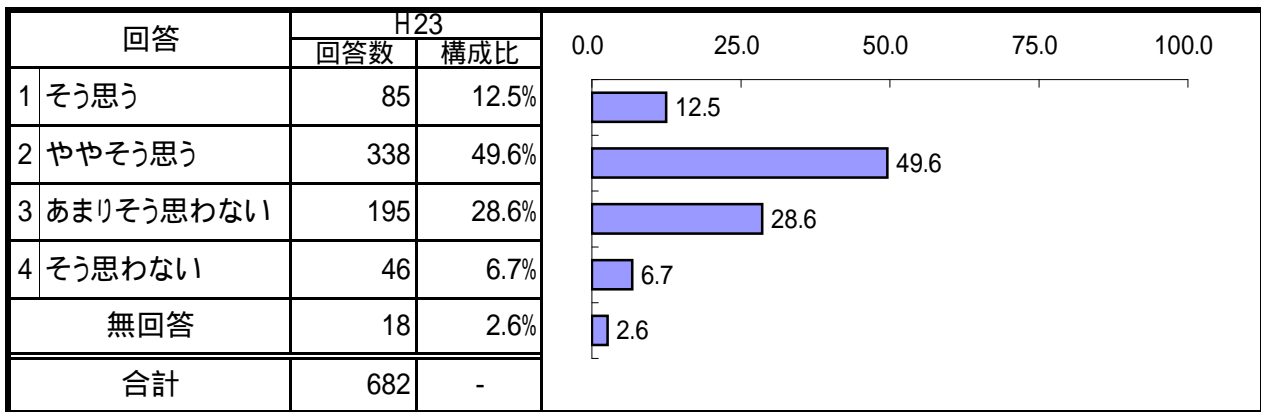


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから	272	64.3%
b 大学などを活用した市民の学習機会が充実していないから	38	9.0%
c 地元大学に学びたい学部がないから	102	24.1%
d その他	11	2.6%
有効回答数	423	-

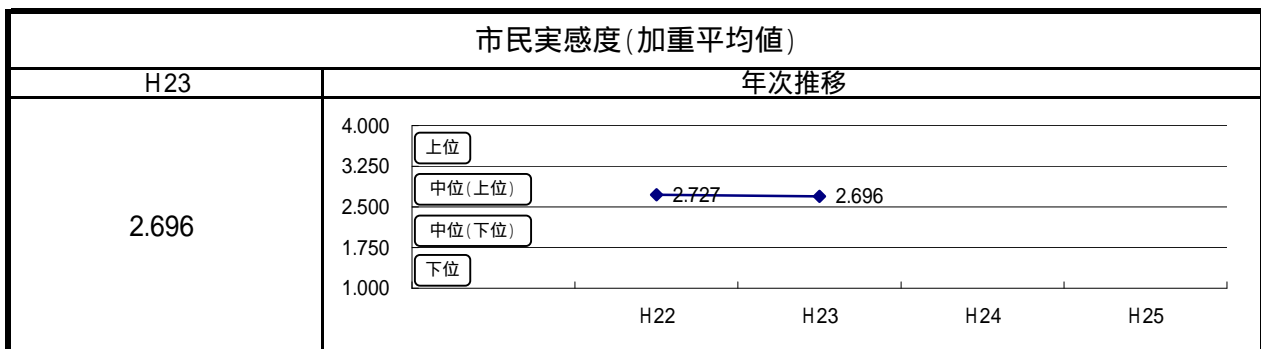


問28-A 生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている

- 「ややそう思う」が49.6%（338人）、つづいて「あまりそう思わない」が28.6%（195人）となっています。
- 市民実感度は、2.696となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人241人のうち、234人がその理由を回答しており、理由として「参加したいと思う講座が少ないから」が最も多く、30.3%（71人）となっています。

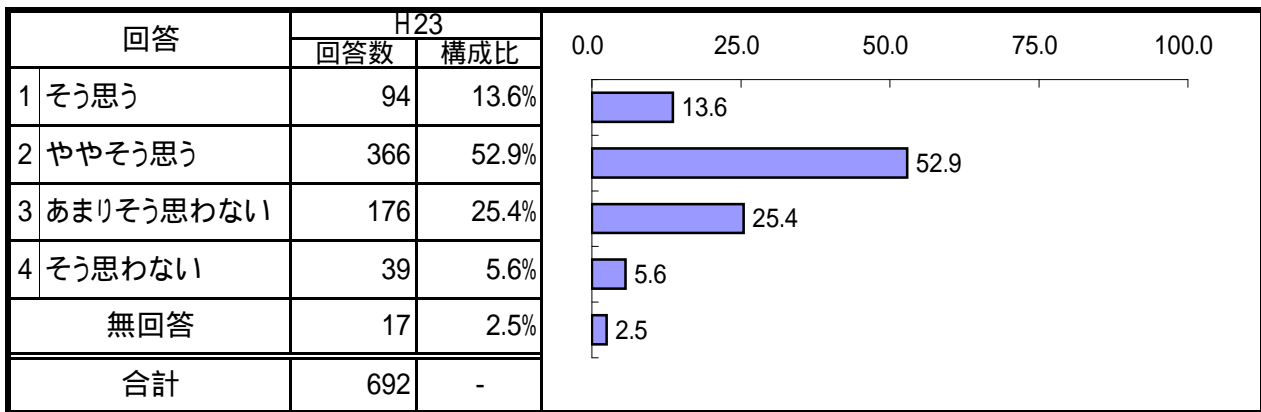


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 参加したいと思う講座が少ないから	71	30.3%
b 学習に関する情報が少ないから	65	27.8%
c 社会教育施設に魅力がないから	51	21.8%
d 学習成果を活かす機会が少ないから	34	14.5%
e その他	13	5.6%
有効回答数	234	-

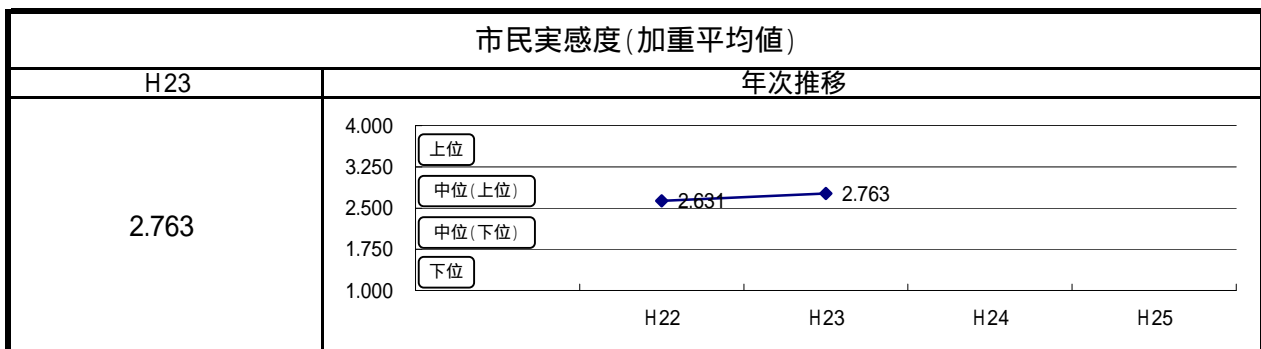


問28-B 芸術や文化に親しむことができる環境が整っている

- 「ややそう思う」が52.9%（366人）、つづいて「あまりそう思わない」が25.4%（176人）となっています。
- 市民実感度は、2.763となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人215人のうち、211人がその理由を回答しており、理由として「気軽に芸術・文化に接する機会が少ないから」が最も多く、50.7%（107人）となっています。

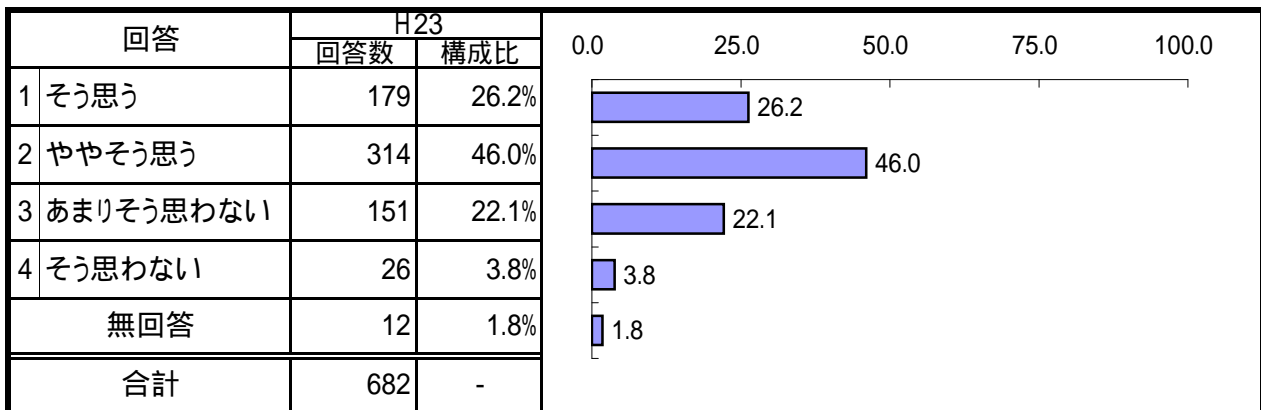


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 芸術・文化の発表や活動の場が少ないから	26	12.3%
b 気軽に芸術・文化に接する機会が少ないから	107	50.7%
c 一流の芸術・文化に接する機会が少ないから	57	27.0%
d 芸術・文化に関する指導者が少ないから	15	7.1%
e その他	6	2.8%
有効回答数	211	-

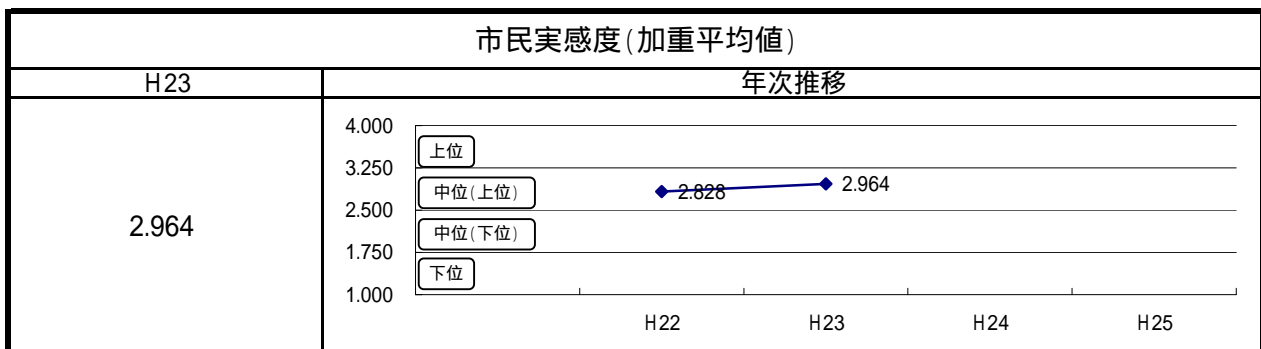


問29-A スポーツを楽しむことができる環境が整っている

- 「ややそう思う」が46.0%（314人）、つづいて「そう思う」が26.2%（179人）となっています。
- 市民実感度は、2.964となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人177人のうち、175人がその理由を回答しており、理由として「スポーツ施設が利用しにくいから」が最も多く、52.6%（92人）となっています。

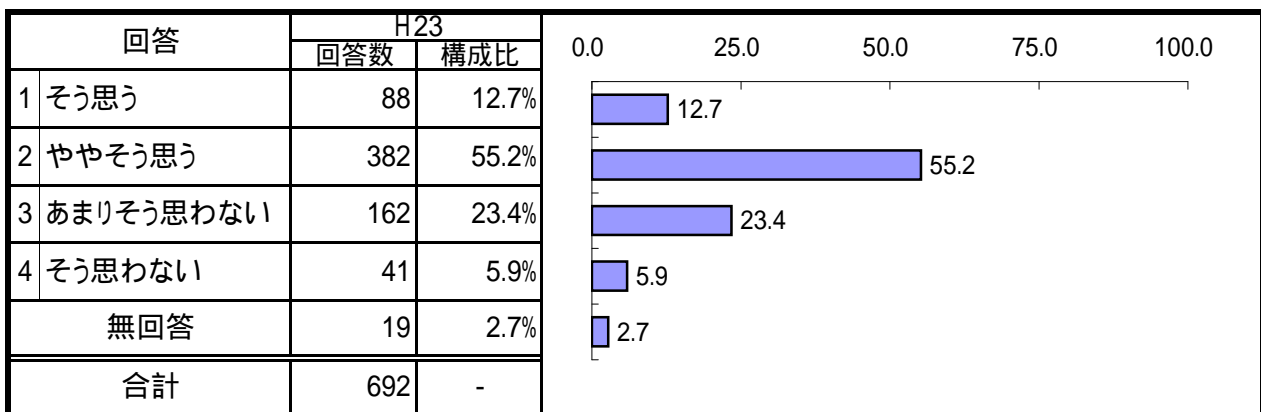


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a スポーツに親しむことができる機会が少ないから	45	25.7%
b スポーツ教室・講習会などに魅力がないから	13	7.4%
c スポーツ施設が利用しにくいから	92	52.6%
d 一流選手が出場する大会などが少ないから	14	8.0%
e その他	11	6.3%
有効回答数	175	-

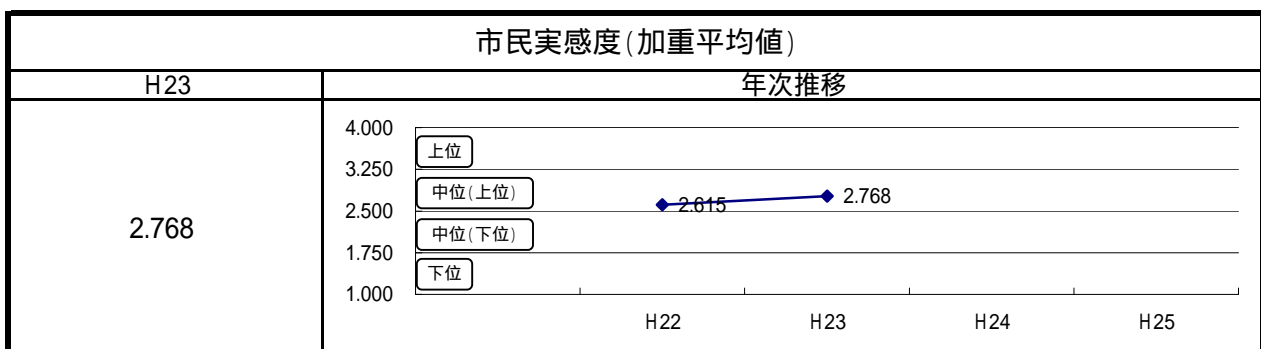


問29-B 平和で差別や虐待がなく、 市民一人ひとりが互いに人権を尊重している

- 「ややそう思う」が55.2%（382人）、つづいて「あまりそう思わない」が23.4%（162人）となっています。
- 市民実感度は、2.768となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人203人のうち、202人がその理由を回答しており、理由として「差別や偏見があるから」が最も多く、37.1%（75人）となっています。

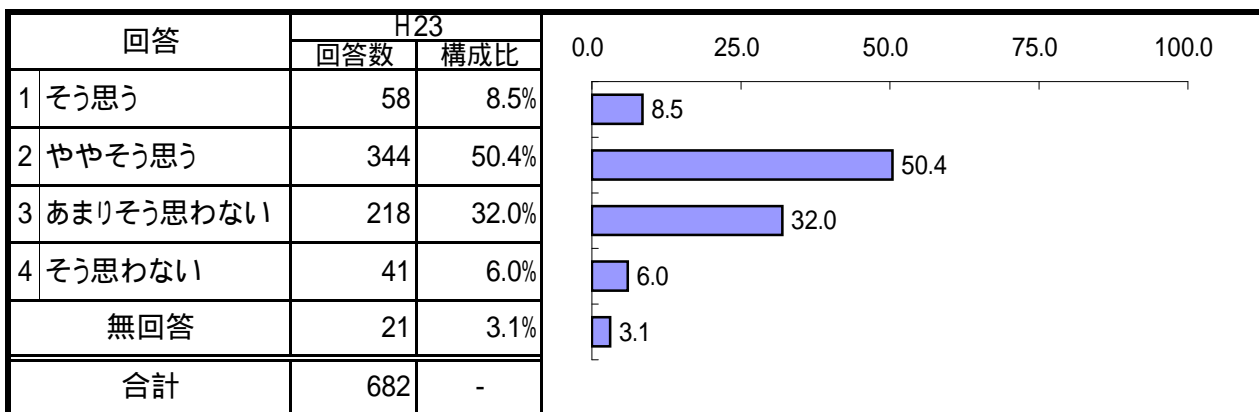


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 平和の大切さを知る機会が少ないから	49	24.3%
b 差別や偏見があるから	75	37.1%
c 子どもや高齢者の虐待、配偶者等への暴力事件が起きているから	58	28.7%
d その他	20	9.9%
有効回答数	202	-

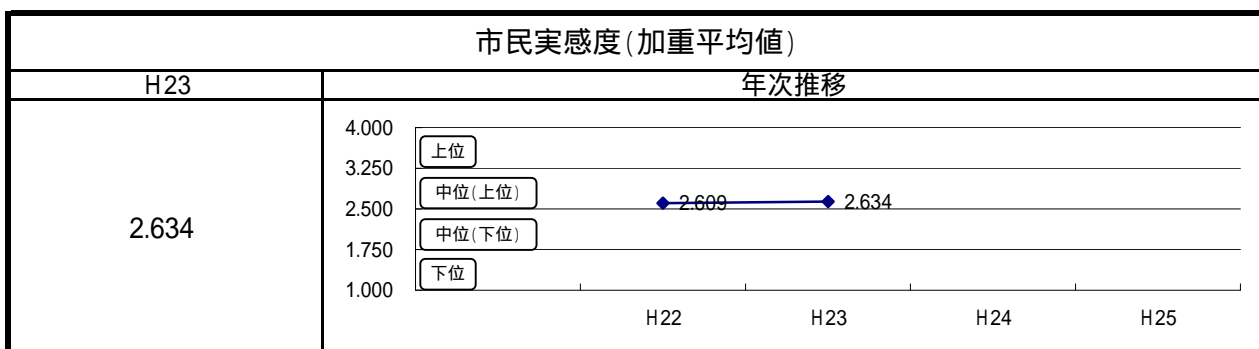


問30-A 男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる

- 「ややそう思う」が50.4%（344人）、つづいて「あまりそう思わない」が32.0%（218人）となっています。
- 市民実感度は、2.634となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人259人のうち、255人がその理由を回答しており、理由として「仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから」が最も多く、56.1%（143人）となっています。

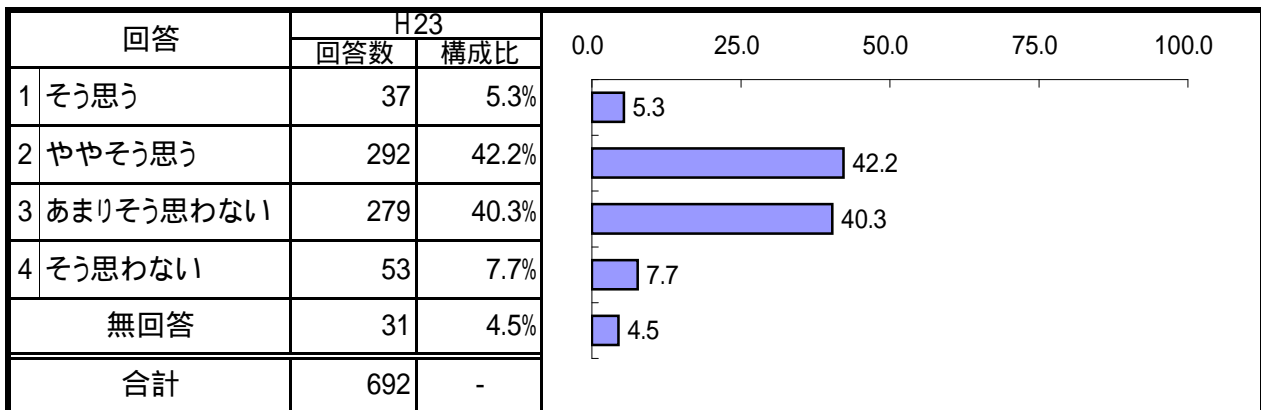


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 性別による固定的な役割分担意識や社会慣行が残っているから	71	27.8%
b 仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから	143	56.1%
c 女性の社会参画がすすんでいないから	32	12.5%
d その他	9	3.5%
有効回答数	255	-

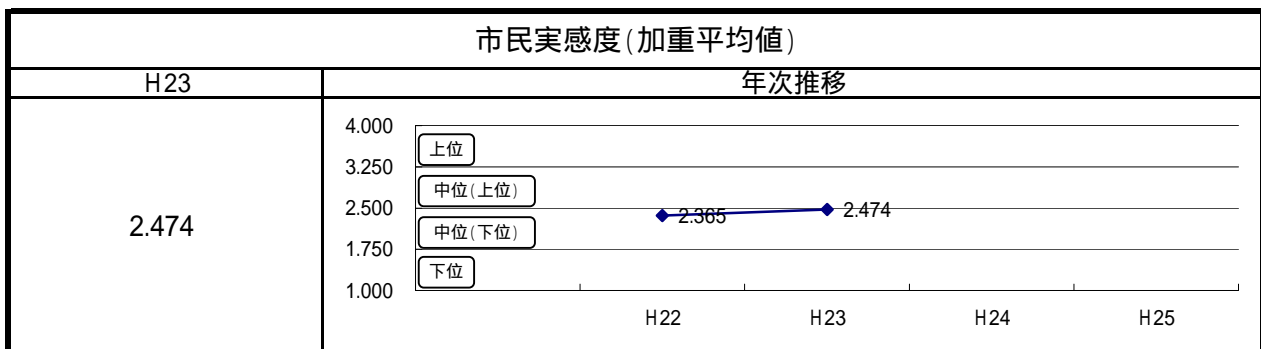


問30-B 誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（UD） によるまちづくりが行われている

- 「ややそう思う」が42.2%（292人）、つづいて「あまりそう思わない」が40.3%（279人）となっています。
- 市民実感度は、2.474となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人332人のうち、330人がその理由を回答しており、理由として「市民一人ひとりのUDに関する意識が低いから」が最も多く、44.2%（146人）となっています。

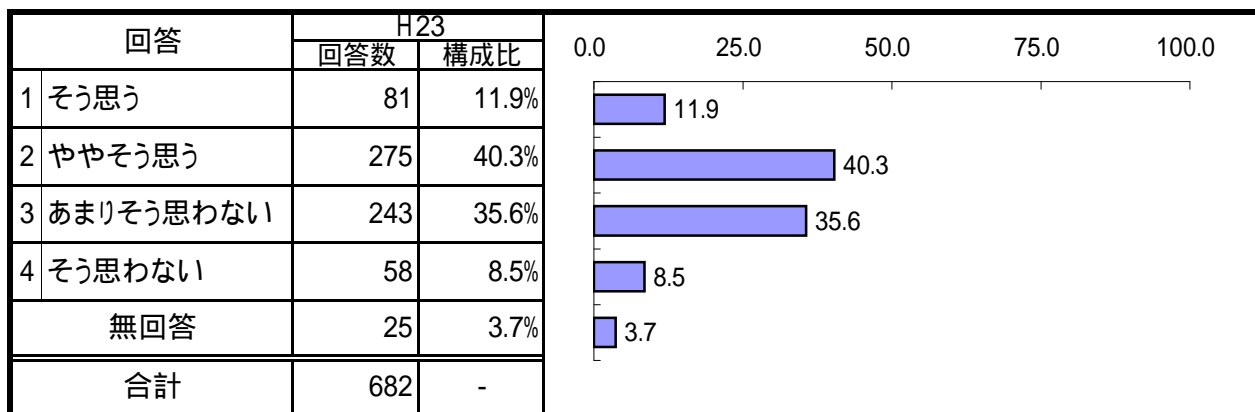


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 道路や公園、市役所などの公共施設のUD化がすすんでいないから	54	16.4%
b 住宅や店舗などの民間施設のUD化がすすんでいないから	76	23.0%
c 市民一人ひとりのUDに関する意識が低いから	146	44.2%
d 障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスの提供が行われていないから	42	12.7%
e その他	12	3.6%
有効回答数	330	-

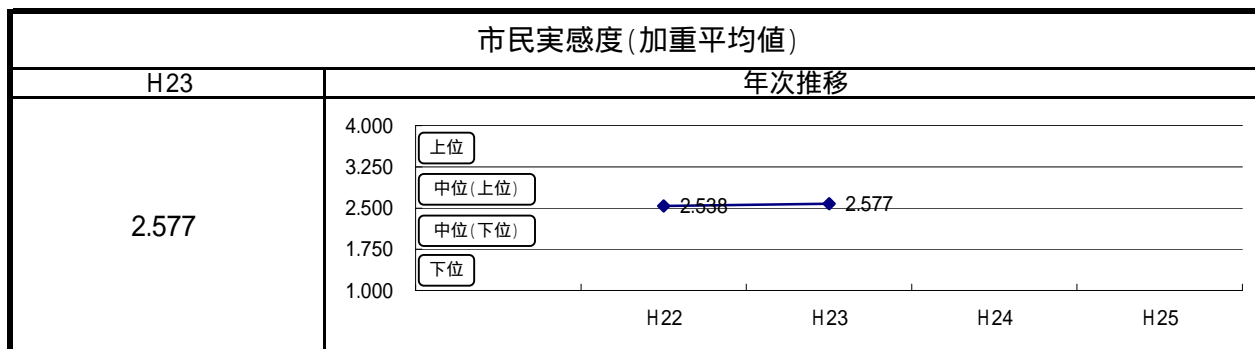


問31-A アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、 アイヌの人たちの誇りが尊重されている

- 「ややそう思う」が40.3%（275人）、つづいて「あまりそう思わない」が35.6%（243人）となっています。
- 市民実感度は、2.577となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人301人のうち、292人がその理由を回答しており、理由として「アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから」が最も多く、53.1%（155人）となっています。

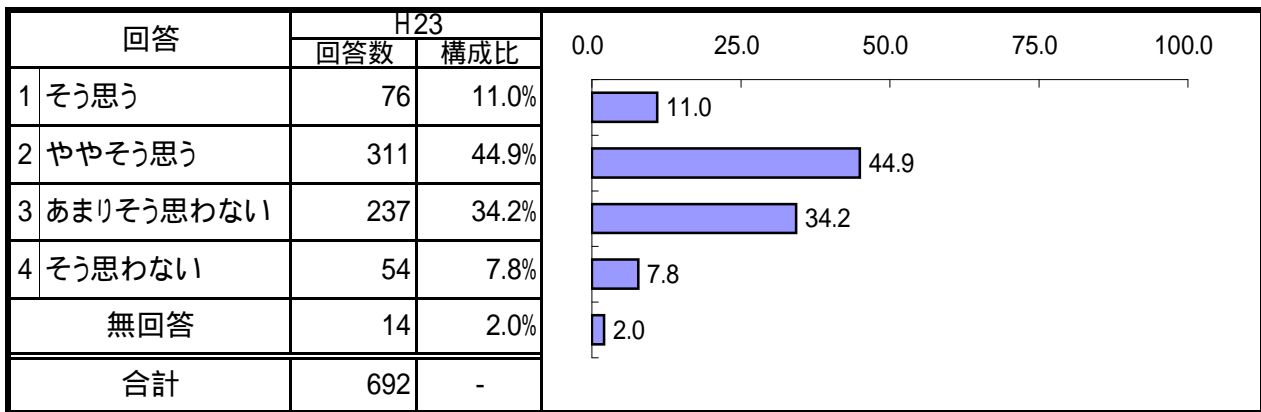


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a アイヌ民族の歴史や文化に関する市民理解がすすんでいないから	104	35.6%
b アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから	155	53.1%
c アイヌの人たちの生活や教育に対する支援が十分でないから	19	6.5%
d その他	14	4.8%
有効回答数	292	-

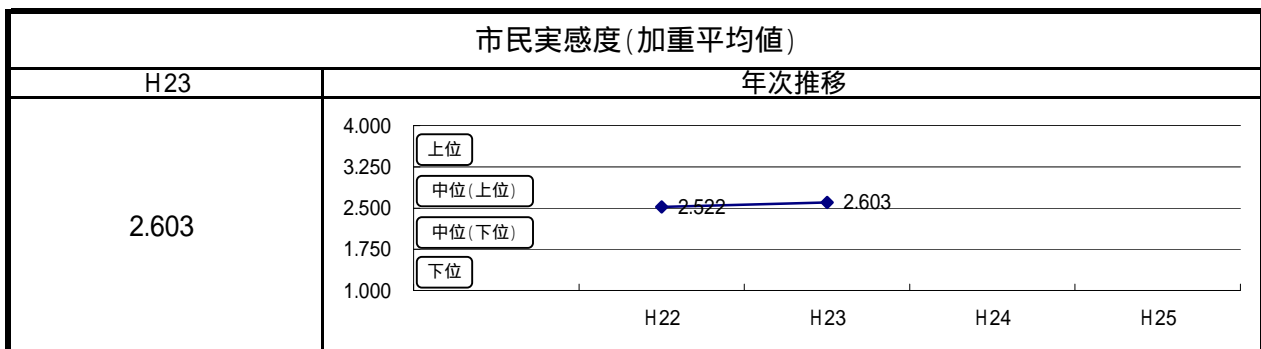


問31-B 町内会やNPO・ボランティアなどによる 地域活動が活発に行われている

- 「ややそう思う」が44.9%（311人）、つづいて「あまりそう思わない」が34.2%（237人）となっています。
- 市民実感度は、2.603となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人291人のうち、288人がその理由を回答しており、理由として「町内会への加入者が減少しているから」が最も多く、31.3%（90人）となっています。

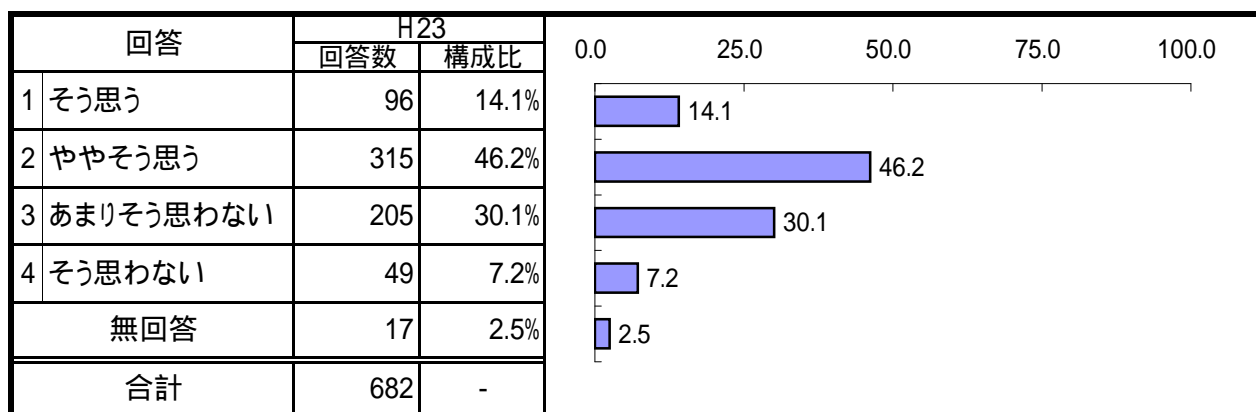


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 町内会への加入者が減少しているから	90	31.3%
b 地域活動の担い手が少ないから	87	30.2%
c コミュニティ施設が利用しにくいから	19	6.6%
d 気軽に地域活動に参加できる機会が少ないから	70	24.3%
e その他	22	7.6%
有効回答数	288	-

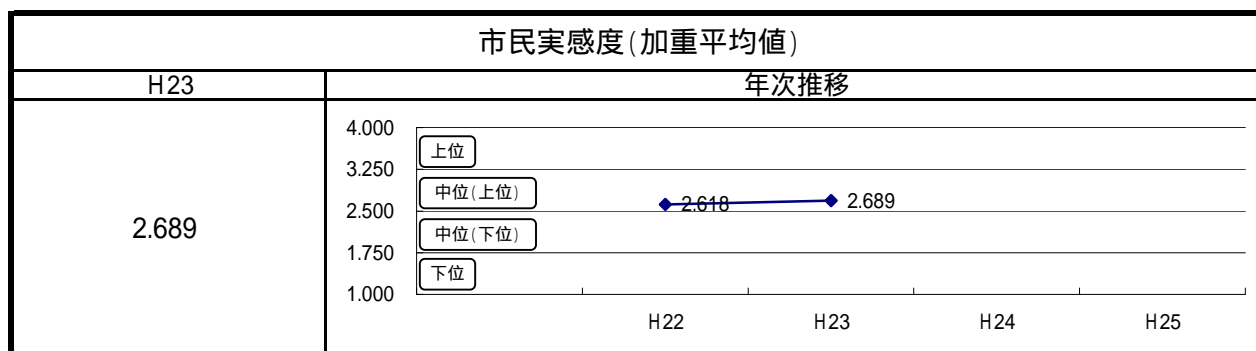


問32-A 国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている

- 「ややそう思う」が46.2%（315人）、つづいて「あまりそう思わない」が30.1%（205人）となっています。
- 市民実感度は、2.689となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人254人のうち、246人がその理由を回答しており、理由として「交流機会に関する情報を知らないから」が最も多く、45.9%（113人）となっています。

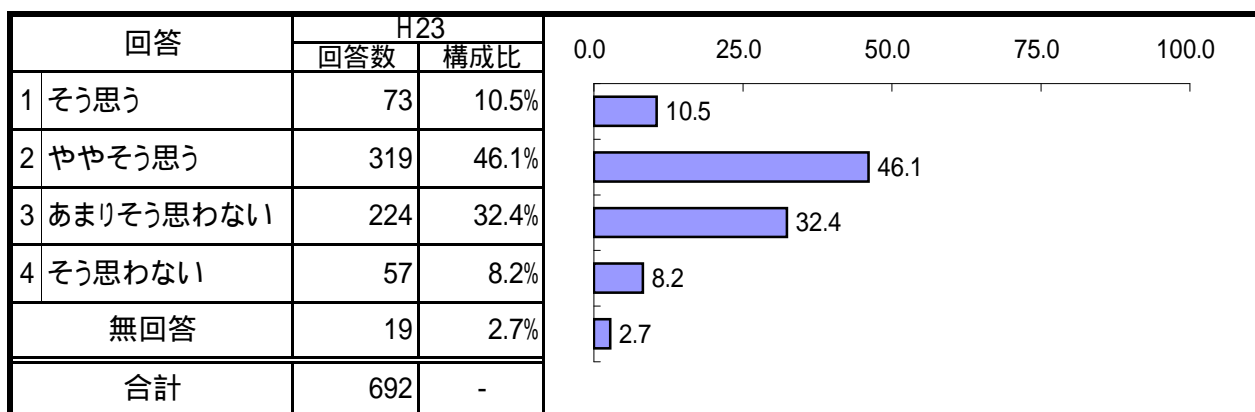


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 国内の各都市との交流が活発でないから	26	10.6%
b 国外の各都市との交流が活発でないから	9	3.7%
c 外国人と交流する機会が少ないから	90	36.6%
d 交流機会に関する情報を知らないから	113	45.9%
e その他	8	3.3%
有効回答数	246	-

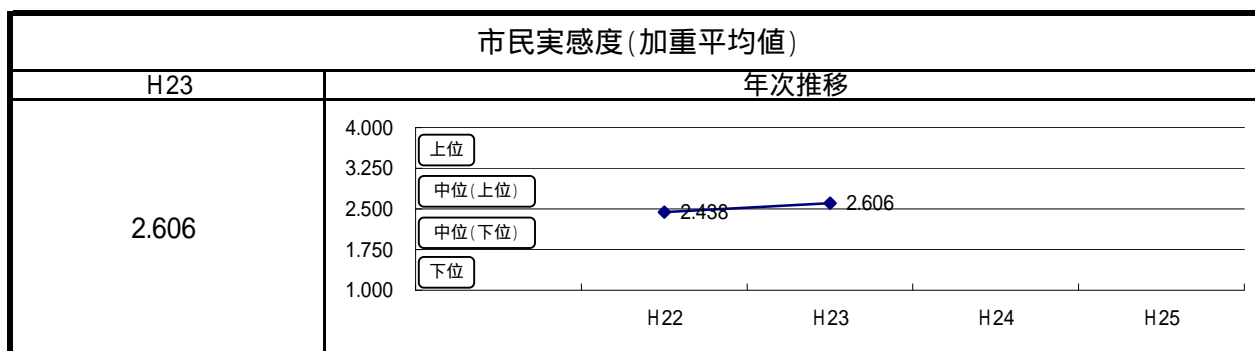


問32-B 市民と行政の協働による まちづくりがすすめられている

- 「ややそう思う」が46.1%（319人）、つづいて「あまりそう思わない」が32.4%（224人）となっています。
- 市民実感度は、2.606となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人281人のうち、279人がその理由を回答しており、理由として「行政情報が分かりやすく提供されていないから」と「議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから」が最も多く、いずれも28.7%（80人）となっています。

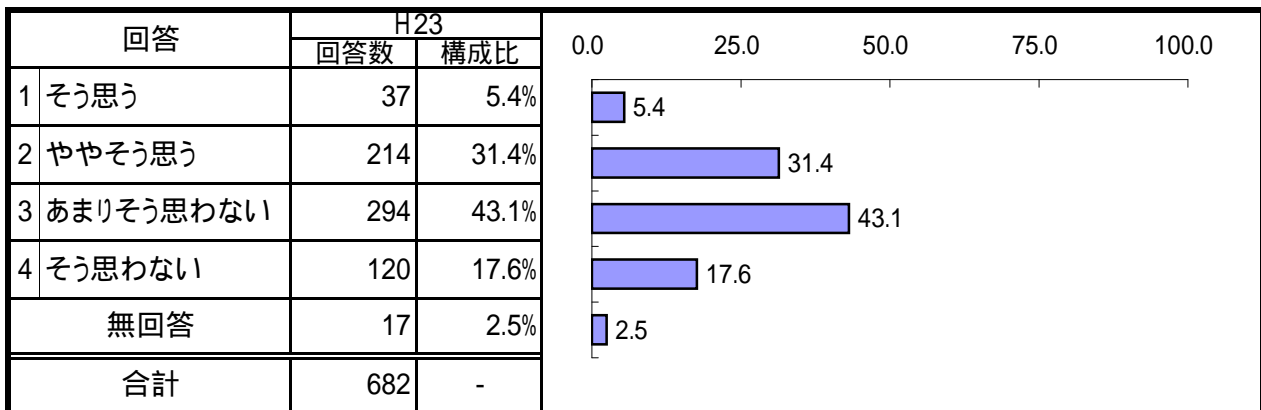


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 行政情報が分かりやすく提供されていないから	80	28.7%
b 市民意見が市政に反映されていないから	73	26.2%
c 市民のまちづくり活動への支援が十分でないから	33	11.8%
d 議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから	80	28.7%
e その他	13	4.7%
有効回答数	279	-

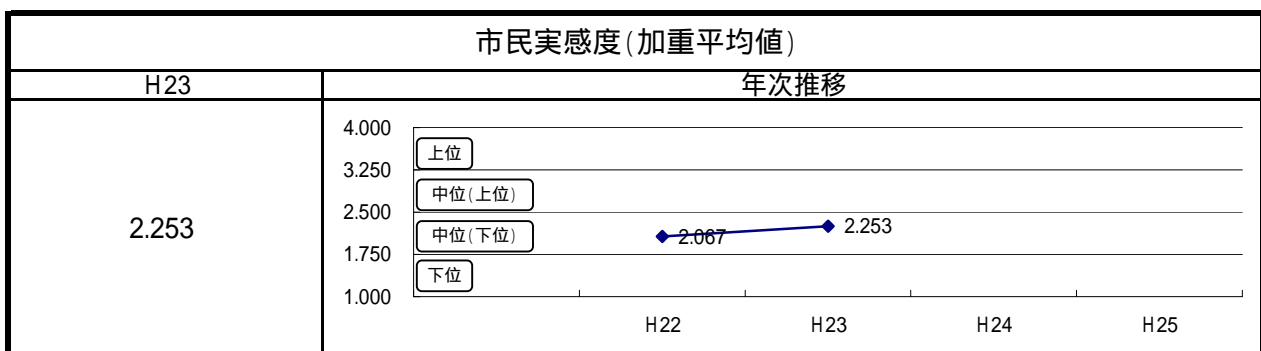


問33-A 健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている

- 「あまりそう思わない」が43.1%（294人）、つづいて「ややそう思う」が31.4%（214人）となっています。
- 市民実感度は、2.253となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人414人のうち、410人がその理由を回答しており、理由として「市の財政状況に不安があるから」が最も多く、42.0%（172人）となっています。

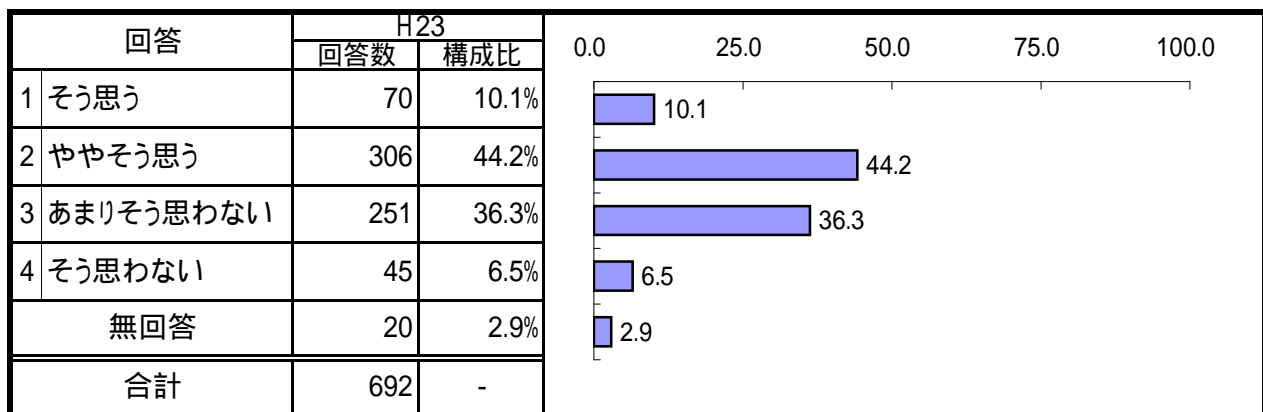


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 市の財政状況に不安があるから	172	42.0%
b 行政運営の効率化がすすんでいないから	64	15.6%
c 事業の効果やコストが分からないから	152	37.1%
d その他	22	5.4%
有効回答数	410	-

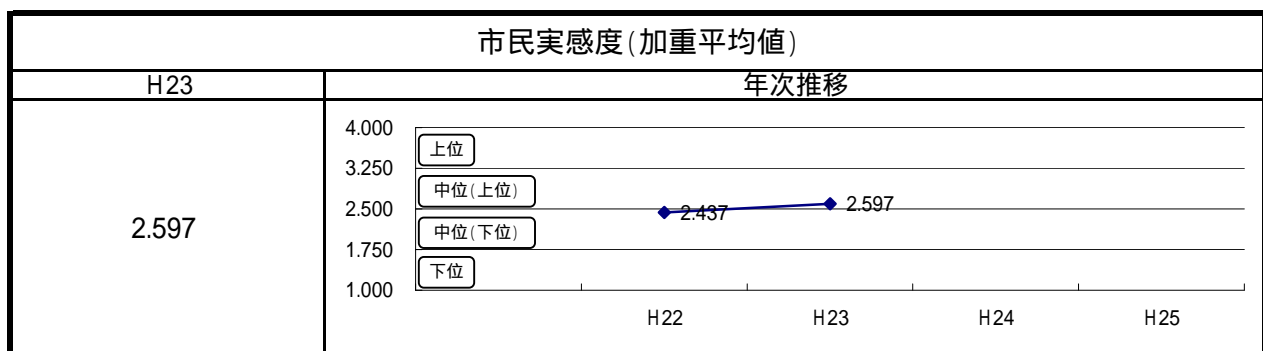


問33-B 十勝管内町村との広域事業や、 道内各都市と連携・交流が行われている

- 「ややそう思う」が44.2%（306人）、つづいて「あまりそう思わない」が36.3%（251人）となっています。
- 市民実感度は、2.597となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人296人のうち、295人がその理由を回答しており、理由として「具体的な市町村の連携・協力の事例がよく分からないから」が最も多く、67.8%（200人）となっています。

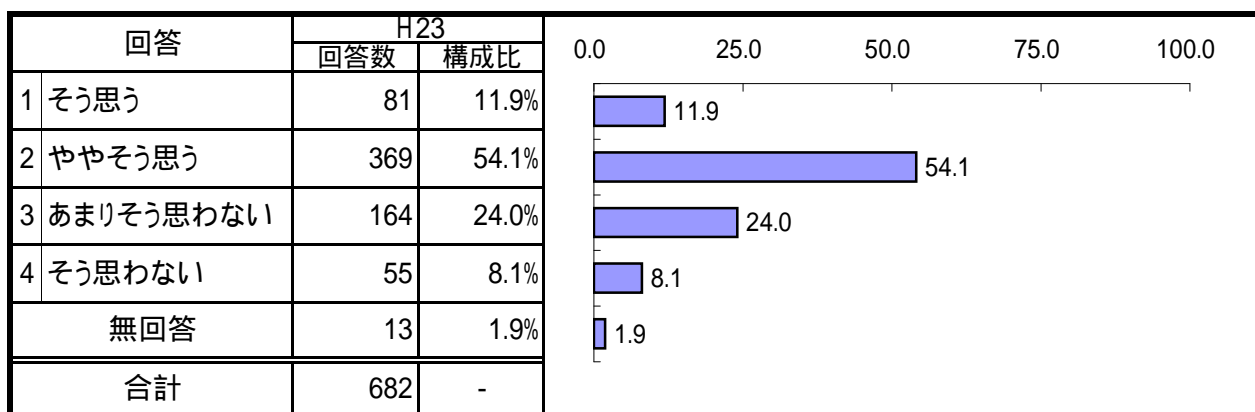


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 市域を越えて利用できる住民サービスが少ないから	49	16.6%
b 行政サービスにおいて、管内町村や各都市と共同で取り組む視点が欠けているから	41	13.9%
c 具体的な市町村の連携・協力の事例がよく分からないから	200	67.8%
d その他	5	1.7%
有効回答数	295	-

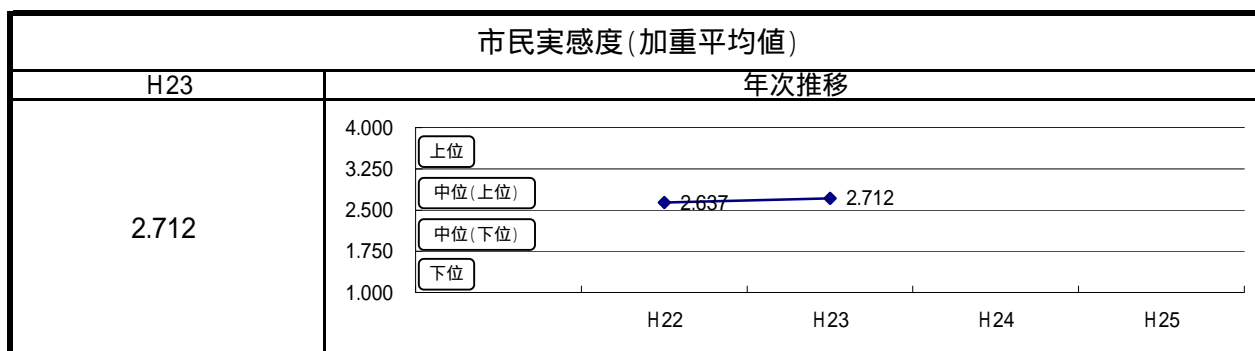


問34-A 市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている

- 「ややそう思う」が54.1%（369人）、つづいて「あまりそう思わない」が24.0%（164人）となっています。
- 市民実感度は、2.712となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人219人のうち、215人がその理由を回答しており、理由として「市役所における各種事務手続きが分かりにくいから」が最も多く、42.8%（92人）となっています。

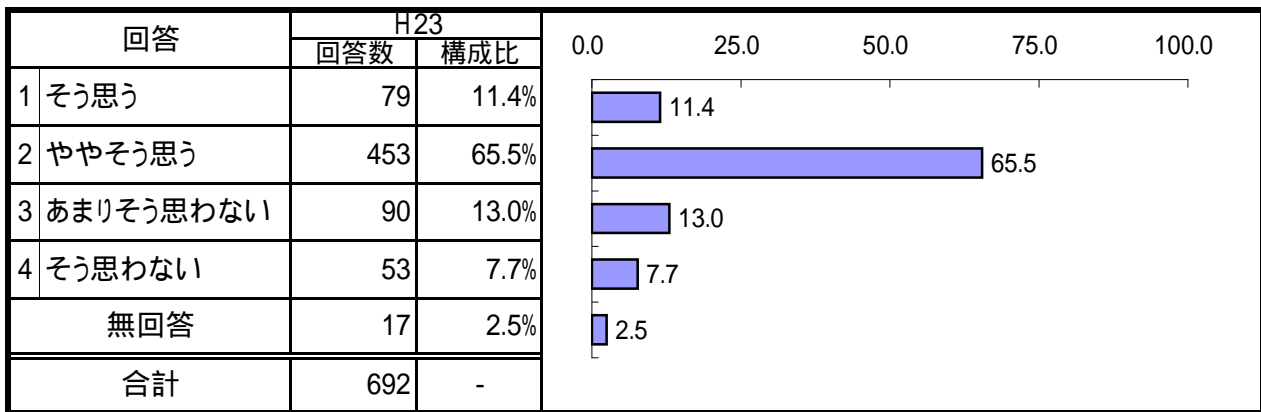


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 職員の対応が適切でないから	77	35.8%
b 市役所における各種事務手続きが分かりにくいから	92	42.8%
c コミュニティセンターやインターネットでできる行政手続きが少ないから	32	14.9%
d その他	14	6.5%
有効回答数	215	-

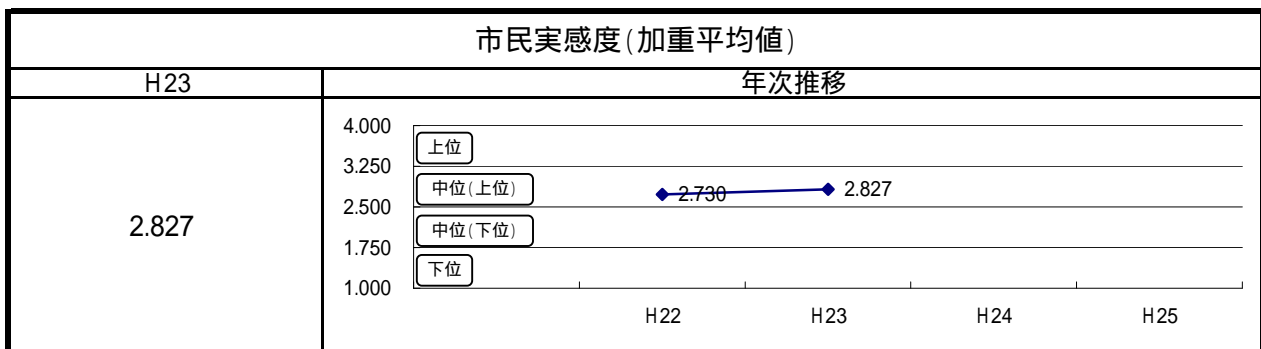


問34-B 市民に信頼される行政事務が行われている

- 「ややそう思う」が65.5%（453人）、つづいて「あまりそう思わない」が13.0%（90人）となっています。
- 市民実感度は、2.827となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人143人のうち、134人がその理由を回答しており、理由として「公共施設の管理が適切に行われていないから」が最も多く、31.3%（42人）となっています。



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H23	
	回答数	構成比
a 事務処理が適切に行われていないから	39	29.1%
b 公共施設の管理が適切に行われていないから	42	31.3%
c 個人情報の保護が十分でないから	23	17.2%
d その他	30	22.4%
有効回答数	134	-



6

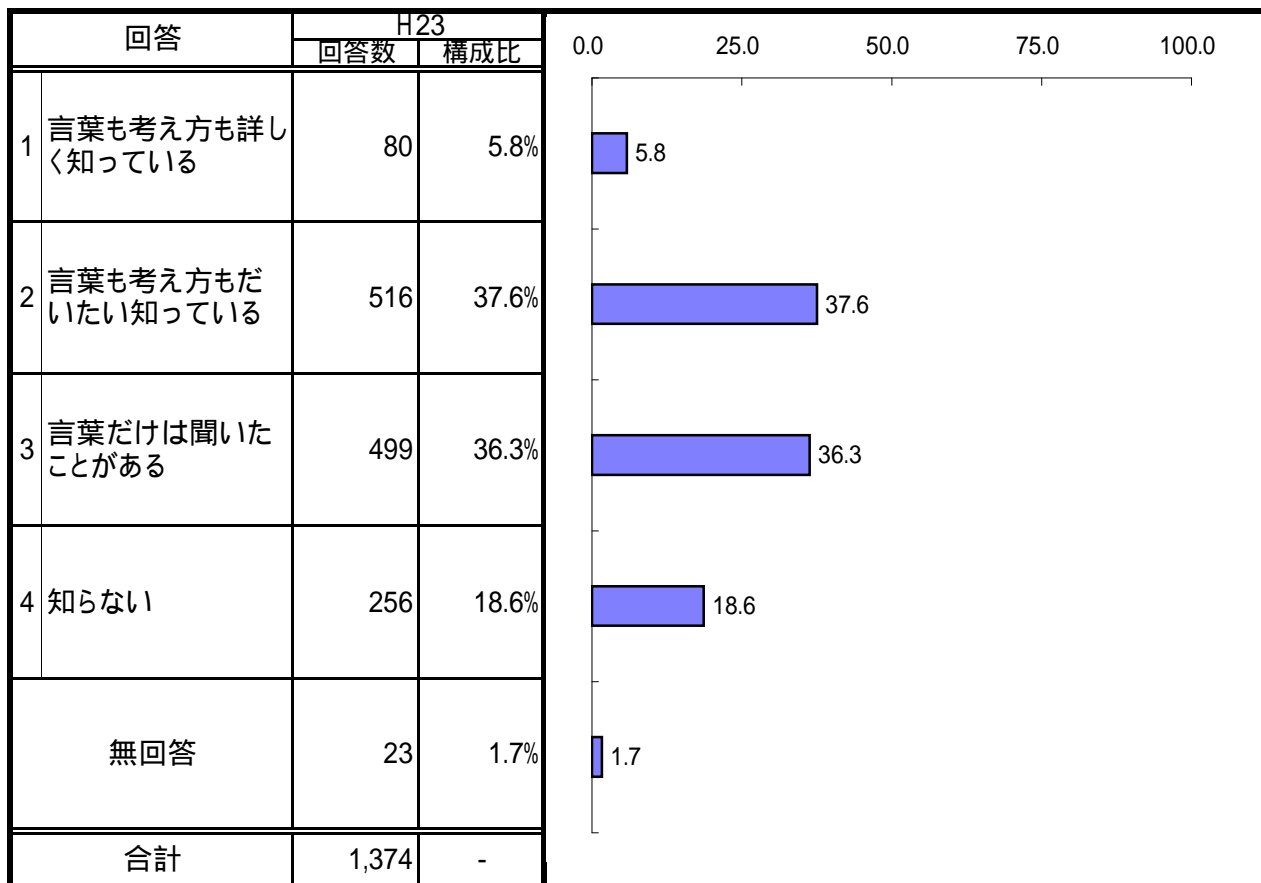
ユニバーサルデザインのまちづくりに関する市民実感

ユニバーサルデザイン(UD)

年齢、性別、身体的能力、障害の有無、国籍など、人の持つ様々な違いに関わらず、はじめから、できる限り多くの人にとって利用しやすいように、まち・もの・環境などをつくることです。社会の中の様々な障壁を取り除く「バリアフリー」も含まれます。

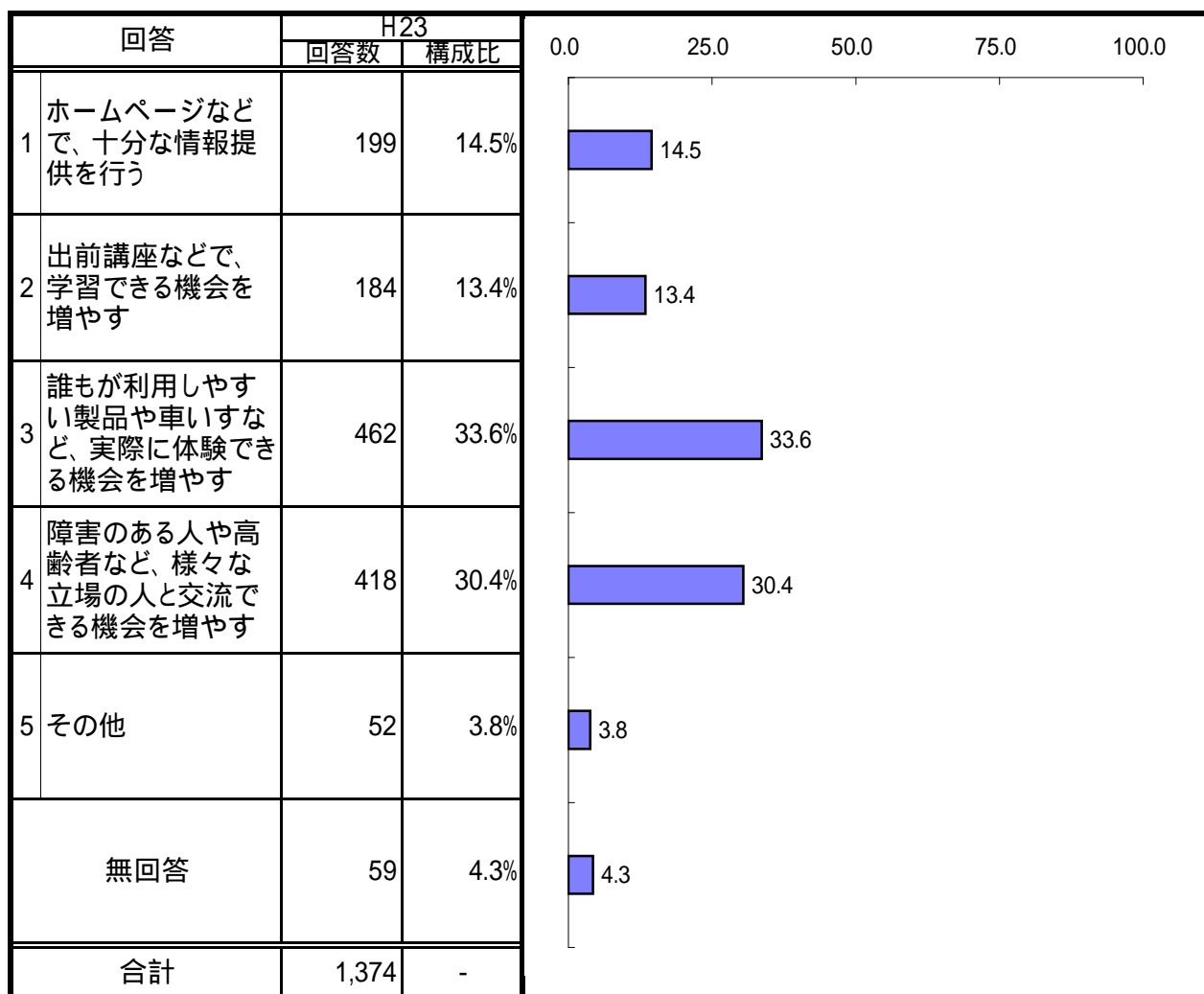
問35 UDという言葉や考え方について、どの程度知っていますか。

☞ 「言葉も考え方もだいたい知っている」が37.6% (516人)、つづいて「言葉だけは聞いたことがある」が36.3% (499人)となっています。



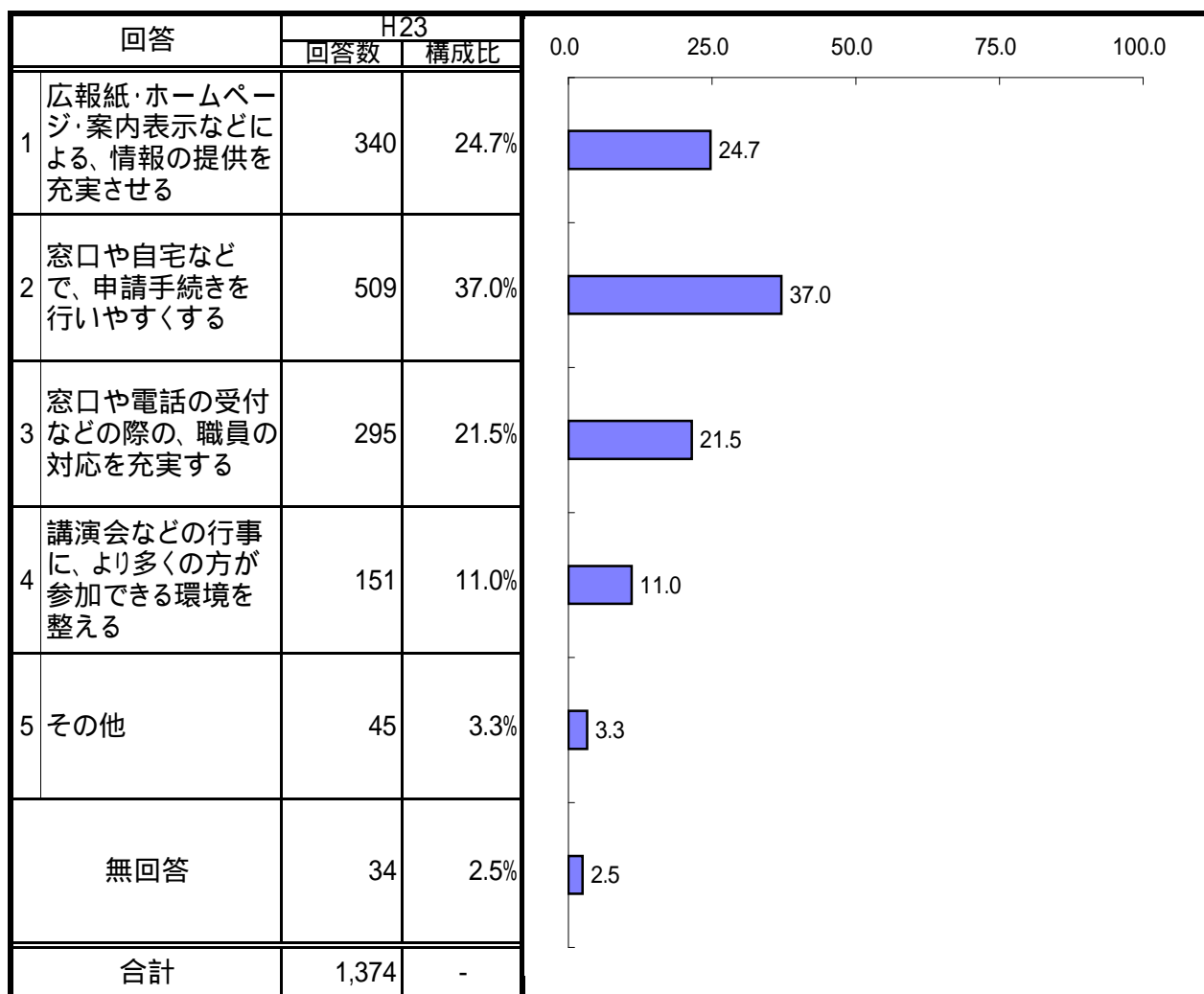
問36 市民一人ひとりのUDに関する意識を高めるためには、何が必要と思いますか。

☞ 「誰もが利用しやすい製品や車いすなど、実際に体験できる機会を増やす」が33.6%（462人）、つづいて「障害のある人や高齢者など、様々な立場の人と交流できる機会を増やす」が30.4%（418人）となっています。



問37 障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスが提供されるためには何が必要と思いますか。

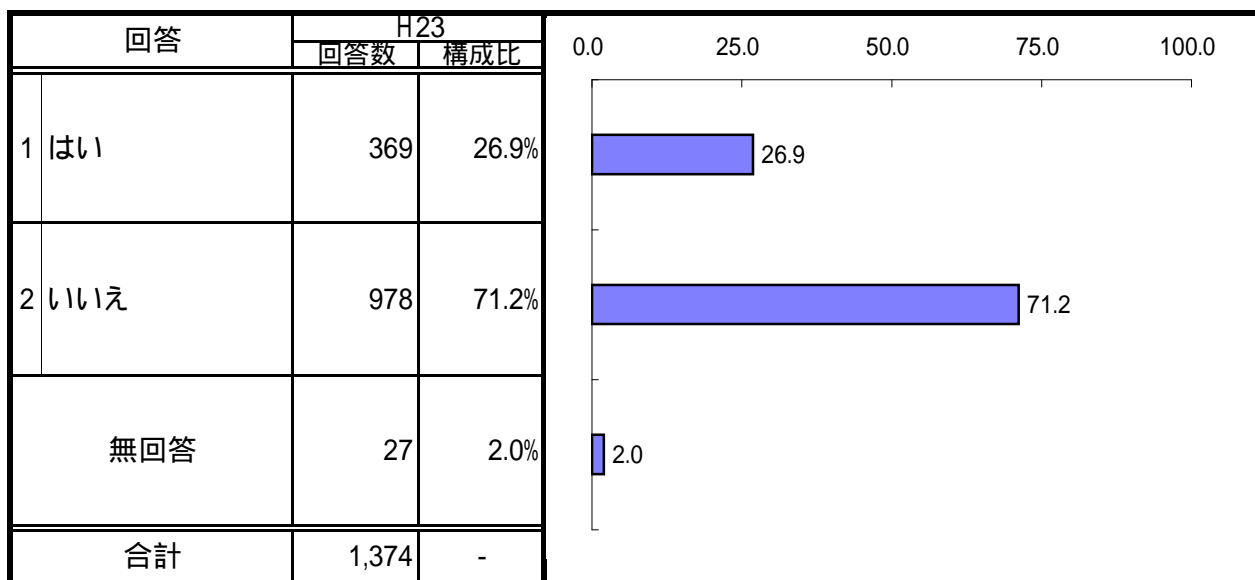
☞ 「窓口や自宅などで、申請手続きを行いやすくする」が37.0%（509人）、つづいて「広報紙・ホームページ・案内表示などによる、情報の提供を充実させる」が24.7%（340人）となっています。



問38 帯広市には、住宅や店舗などのUD化をすすめるための、各種支援制度 があることを知っていますか。

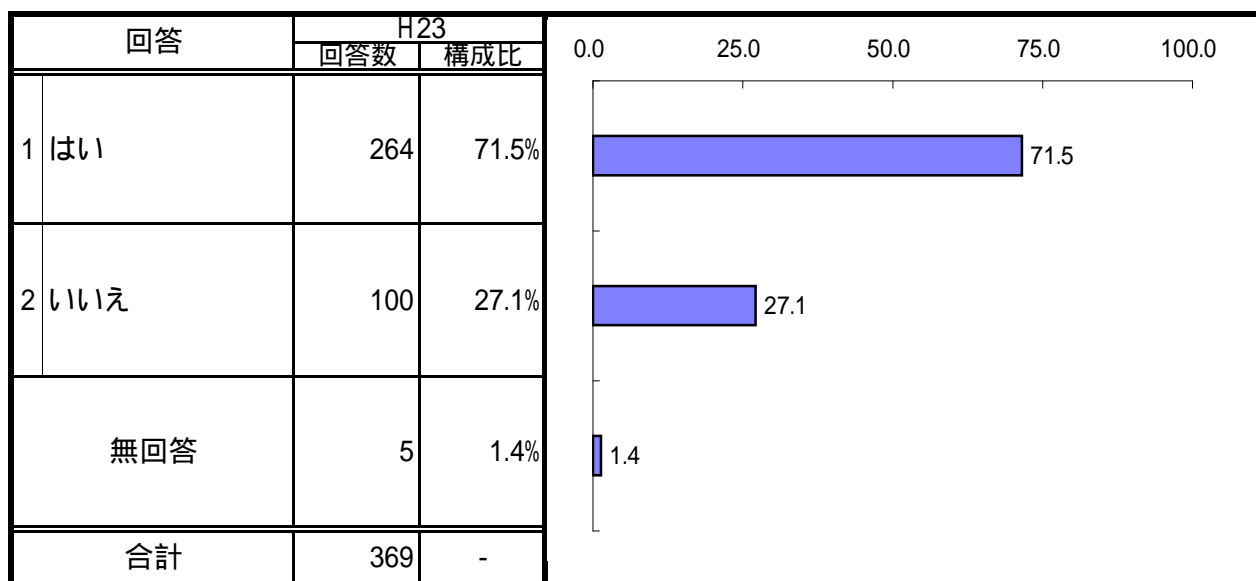
住宅や店舗などのUD化のための各種支援制度(例)
 ・住宅の増改築や改造に対する専門家による指導・助言
 ・住宅や中小企業者などの店舗の新築・増改築・改造に対する補助・貸付

「はい」が26.9% (369人)、「いいえ」が71.2% (978人)となっています。



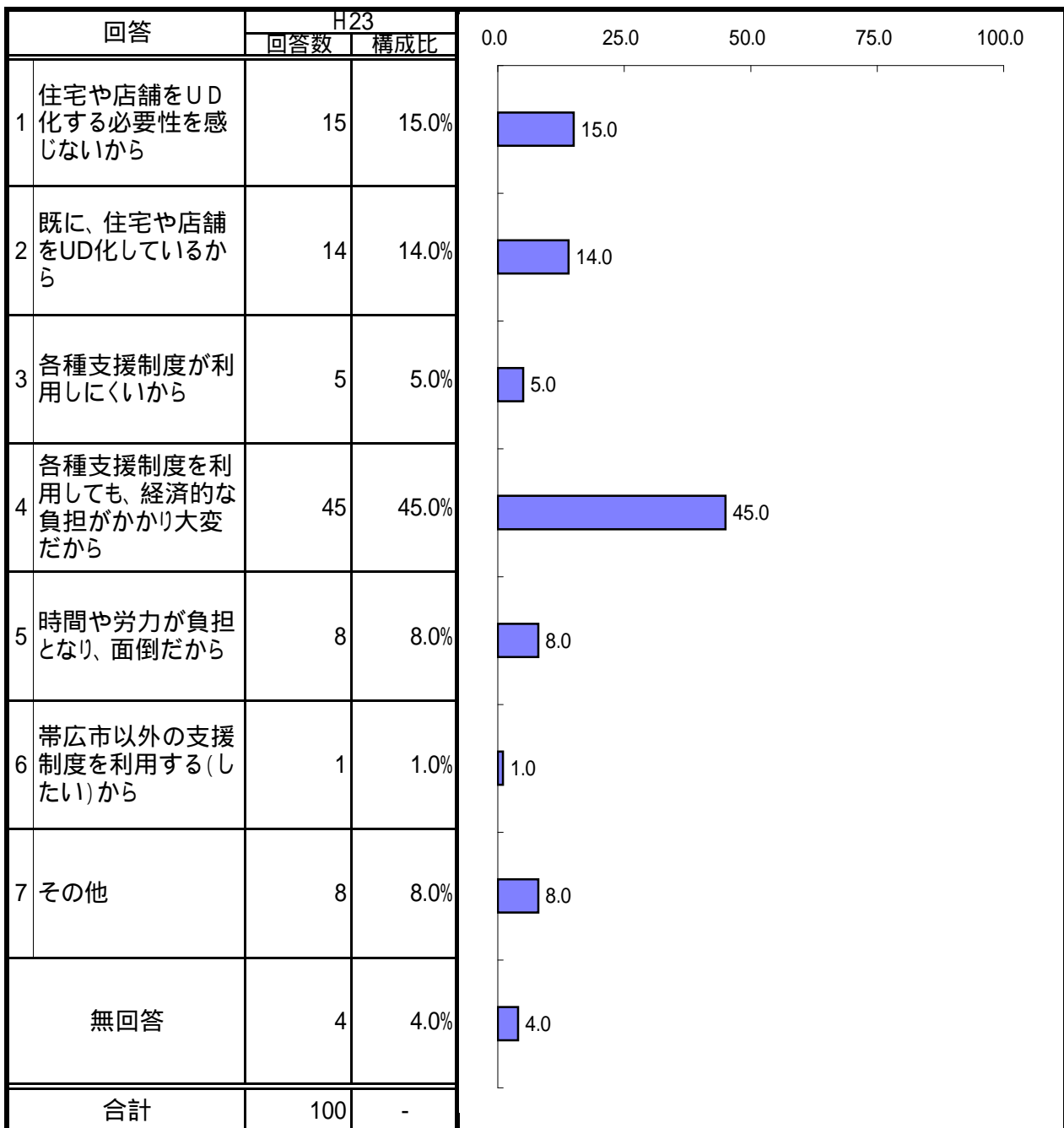
問39 設問38で「はい」と答えた方にお聞きします。帯広市の各種支援制度を今後利用してみたいと思いますか。

☞ 設問38で「UD化をすすめるための各種支援制度があることを知っている」と答えた方（369人）のうち、「はい」が71.5%（264人）、「いいえ」が27.1%（100人）となっています。



● 問40 設問39で「いいえ」と答えた方にお聞きします。
 帯広市の各種支援制度を今後利用してみたいと思わない理由は何ですか。

☞ 設問39で「帯広市の各種支援制度を今後利用してみたいと思わない」と答えた方（100人）のうち、「各種支援制度を利用しても、経済的な負担がかかり大変だから」が45.0%（45人）、つづいて「住宅や店舗をUD化する必要性を感じないから」が15.0%（15人）となっています。



参考資料) 市民まちづくりアンケート票

アンケートは、大きく次の3区分について実施しました。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・(問1～9)
- (2) 市民実感について・・・(問10～34)
- (3) ユニバーサルデザインのまちづくりについて・・・(問35～40)

市民実感の設問(問10～34)については、アンケートを2組(AとB)に分けて実施しました。

【A票 回収結果】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H23年度	1,500	1,500	682	45.5

【B票 回収結果】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H23年度	1,500	1,500	692	46.1

地 区

A 票

平成23年度 市民まちづくりアンケート

1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

問1～4について、あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

問1 あなたの性別は？

- A. 男 B. 女

問2 あなたの年齢は？（5月1日現在の年齢で記入してください。）

- A. 20歳代 B. 30歳代 C. 40歳代 D. 50歳代 E. 60歳代 F. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

- A. 会社員・店員 B. 商・工・サービス業等の自営業 C. 農・林・漁業 D. 公務員
E. 自由業 F. 主婦 G. 学生 H. 無職・退職 I. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

- A. 1年未満 B. 1年～5年未満 C. 5年～10年未満 D. 10年～20年未満
E. 20年以上

2. 【住みごこち】について、お聞きします。


問5～9について、あてはまるものに をつけてください。

問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）

- A. 住みやすい B. どちらかといえば住みやすい C. どちらともいえない
D. どちらかといえば住みにくい E. 住みにくい

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）

- A. 住み続けたい B. できれば他の市町村に移りたい C. どちらともいえない


問7へすすむ


問8・9へすすむ


問10へすすむ

問7 問6で「A.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A．広々としているから B．自然に恵まれているから C．気候が好きだから
D．家族の都合で E．人情が厚く、親切だから F．親戚や知人が多いから
G．教育上の理由から H．まちに魅力があるから I．仕事上の理由から
J．都市的な便利さがあるから K．生活費が安いから L．わからない
M．その他（

問8 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- A．帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） B．十勝管内の町村（帯広圏の3町以外）
C．札幌市 D．道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外）
E．首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県） F．中部圏（愛知県）
G．近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） H．他県（
I．その他（

問9 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A．仕事上の理由から B．家族の都合から C．気候がきらいだから
D．住宅地が少ないから E．宅地価格が高いから F．教育上の理由から
G．生活費が高いから H．まちに魅力が少ないから I．自然が少ないから
J．知人や親戚が少ないから K．人情が薄く、不親切だから
L．都市的な便利さが不足しているから M．わからない
N．その他（

3. 【市民実感】について、お聞きします。

問10～34について、あなたの実感（イメージでもかまいませんので）に最も近い選択肢を必ず1つ選んで番号に をつけてください。

3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に をつけてください。

「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問10. 地震や水害など、災害への備えが整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

災害用備蓄品の整備
 防災訓練の実施
 緊急貯水槽の設置
 耐震改修に対する補助・貸付
 自主防災組織の育成 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 防災に関する意識が低いから
- b. 行政の取り組みや周知が十分でないから
- c. 食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから
- d. 災害時に地域で助け合う仕組みが整っていないから
- e. 自宅や避難所の耐震性が不安だから

f. その他()

問11. 日常生活において、犯罪にあうことなく安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

公用車による防犯パトロールの実施
 防犯関係団体活動への支援
 防犯灯の設置支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 防犯に関する意識が低いから
- b. 暗がりや人目につきにくい場所があるから
- c. 不審者や空き巣などが発生しているから

d. その他()

問12．悪質な訪問販売や契約トラブルなどにあうことなく、安全に消費生活を送れる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

消費者講座・講演会の開催
消費者相談の実施
消費生活アドバイスセンターの運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．消費生活に関する情報提供が十分でないから
b．消費トラブルなどを相談できるところがないから
c．悪質な訪問販売などがあるから
d．その他()

問13．ケガや病気のとときに安心して医療を受けられる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

夜間急病センターの運営
在宅当番医体制の維持、夜間・休日の救急医療体制の確保
看護師・准看護師養成機関への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．近くに病院や診療所がないから
b．診療科目が不足しているから
c．高度な医療を受けることができないから
d．緊急時の医療機関の情報が十分でないから
e．その他()

問14．高齢者が地域で生き生きと暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

高齢者バス券の交付、敬老祝金の支給
介護予防事業の実施
ひとり暮らし高齢者の訪問活動の実施
介護老人福祉施設の整備、生活支援ハウスの運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．社会参加の機会が少ないから
b．在宅の福祉サービスが利用しにくいから
c．老人ホームなどの施設が不足しているから
d．高齢者を地域で支える環境が整っていないから
e．その他()

問15．社会保障制度の周知や適切な運用が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

国民健康保険料の負担軽減、特定健診の実施
 介護保険制度の周知
 生活保護を受けている人の就労支援
 国民年金の制度周知 など



社会保障制度
 国民健康保険、介護保険、生活保護、国民年金などの制度をさします。

3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．給付が増大し、制度が維持できるか不安だから
- b．給付と負担のバランスがとれていないから
- c．世代間の負担に不公平があるから
- d．制度がよく分からないから

e．その他()

問16．青少年が健全に育つ環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

青少年リーダーや青少年団体の育成
 青少年育成活動の実施
 放課後などに子どもが安心して過ごせる居場所づくり
 非行防止のための街頭巡回指導
 大人の集いなどの社会参加促進活動の実施
 児童会館における体験活動の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．家庭や地域における子どものしつけが不足しているから
- b．家庭、地域、学校が連携した活動が不足しているから
- c．青少年の体験活動や社会参加する機会が不足しているから
- d．有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから

e．その他()

問17．ものづくり産業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

十勝産業振興センターによる研究開発支援
 製品開発や販路開拓等への支援
 地場農産物の付加価値向上の取り組み
 地場産品の付加価値向上への支援
 知的財産の活用促進をはかるための相談会、セミナー等の実施
 企業立地の促進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．地元の資源を活かした新製品の開発が少ないから
- b．地元製品の市場拡大がすすんでいないから
- c．製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから

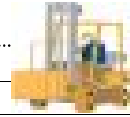
d．その他()

問18．地元の企業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

経営相談の実施
 中小企業の人材育成の支援
 起業・創業への支援
 雇用創出事業の実施
 中小企業振興融資の貸付、信用保証料の支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．地元企業の経営が悪化しているから
 b．中小企業を支える人材が育成されていないから
 c．地元企業の創業・起業や新分野への進出が少ないから
 d．その他()

問19．意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

求職者の就業支援相談の実施、合同企業説明会の開催
 季節労働者の雇用・生活相談の実施、生活資金の貸付
 シルバー人材センターへの支援
 とち勤労者共済センターへの支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．若い人の働く場が少ないから
 b．女性や高齢者の働く場が少ないから
 c．能力や経験を活かせる職場が少ないから
 d．会社の福利厚生が整っていないから
 e．その他()

問20．自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

帯広三大まつりへの支援
 コンベンション(会議や大会)の誘致・開催支援
 物産展の開催、とち物産センターへの支援
 とち観光情報センターの運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．魅力ある観光地が少ないから
 b．観光イベントに魅力がないから
 c．観光情報の発信やPRが不足しているから
 d．その他()

問21. ごみの減量やリサイクルなど、廃棄物の資源化や適正な処理が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

リサイクルまつりの開催
町内会等の資源集団回収の支援
生ごみ堆肥化容器・電動生ごみ処理機の購入支援
巡回パトロールの実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. ごみの分別や排出日が守られていないから
- b. 再使用や資源化に関する意識が低いから
- c. 事業者のごみ減量や資源再生利用の意識が低いから
- d. その他()

問22. おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

札内川等の水質調査
水道メータの更新、漏水調査
老朽化した配水管の更新
稲田浄水場等の改修や耐震化 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 水道水がおいしいと感じないから
- b. 断水や濁水などが発生したことがあるから
- c. 災害時の不安があるから
- d. その他()

問23. 快適で住みやすい居住空間が確保されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

稲田川西地区(清流の里)の宅地開発
民間事業者による小規模な開発行爲に対する支援
住まいに関する情報の提供
公営住宅の整備 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

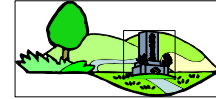
- a. 住宅地の価格が高いから
- b. 住宅や住宅地に関する情報が少ないから
- c. 公営住宅を希望しても入れないから
- d. その他()

問24．墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

中島霊園の整備
火葬場の管理・運営
既存墓地の管理・運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから
- b．墓地の管理が十分でないから
- c．火葬場の管理が十分でないから

d．その他()

問25．空港、バス、高速道路など、交通の利便性が確保されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

とちち帯広空港の施設整備、空港路線の充実
乗合方式のバス・タクシーの運行
道東自動車道、帯広・広尾自動車道の整備・利用促進
石勝線・根室線の高速化の促進
十勝港の整備・利用促進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．航空の利便性が良くないから
- b．鉄道の利便性が良くないから
- c．バスの利便性が良くないから
- d．高速道路の利便性が良くないから

e．その他()

問26．小学校・中学校において充実した教育が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各学校が取り組む特色ある教育活動の支援
郷土体験学習・自然体験学習などの実施
リーダーとなる教師の育成
地域特性を活かした教材の研究 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．子どもの学力が低下しているから
- b．子どもの体力が低下しているから
- c．子どもの道徳心が育っていないから
- d．教師の指導力が不足しているから

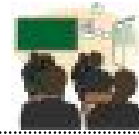
e．その他()

問27．高等学校において充実した教育が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

私立高等学校の教材整備等への支援
南商業高校での外部講師を活用した専門教育の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．特色ある教育が行われていないから
- b．学習内容が身につけていないから
- c．社会性を育む教育が行われていないから
- d．その他()

問28．生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各種講座の開催
自主的学習活動の支援、学習情報の提供
社会教育施設 での展示・貸出を通じた学習機会の提供
百年記念館や動物園など社会教育施設の改修 など

社会教育施設
百年記念館、動物園、図書館、とかちプラザなど



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．参加したいと思う講座が少ないから
- b．学習に関する情報が少ないから
- c．社会教育施設に魅力がないから
- d．学習成果を活かす機会が少ないから
- e．その他()

問29．スポーツを楽しむことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各種スポーツ教室・スポーツ大会の開催
スポーツ少年団への支援、指導者育成の支援
プロスポーツや全国・全道大会の誘致、開催支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

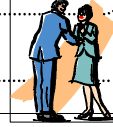
- a．スポーツに親しむことができる機会が少ないから
- b．スポーツ教室・講習会などに魅力がないから
- c．スポーツ施設が利用しにくいから
- d．一流選手が出場する大会などが少ないから
- e．その他()

問30．男女が互いに尊重し合い、個性や能力を發揮できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

男女共同参画セミナーの開催
 各種審議会等への女性の登用推進
 育児・介護休業制度の周知
 交際相手からの暴力(デートDV)防止ワークショップの開催
 配偶者等からの暴力被害者への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．性別による固定的な役割分担意識や社会慣行が残っているから
 b．仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから
 c．女性の社会参画がすすんでいないから
 d．その他()

問31．アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、アイヌの人たちの誇りが尊重されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

アイヌ民族に関する教材の作成・提供
 アイヌ文化についての展示会の開催
 アイヌ古式舞踊保持団体への支援
 アイヌの人たちの生活相談・教育相談の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．アイヌ民族の歴史や文化に関する市民理解がすすんでいないから
 b．アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから
 c．アイヌの人たちの生活や教育に対する支援が十分でないから
 d．その他()

問32．国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

大分市・徳島市・松崎町への子どもたちの派遣
 スワード市・朝陽市への高校生の派遣
 国際交流員による小・中学校訪問
 諸外国の文化紹介、国際交流イベントの実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．国内の各都市との交流が活発でないから
 b．国外の各都市との交流が活発でないから
 c．外国人と交流する機会が少ないから
 d．交流機会に関する情報を知らないから
 e．その他()

問33．健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

新たな自主財源確保の検討
市税等の収納率向上対策の実施
民間委託等の推進、指定管理者制度の活用
行財政改革の推進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．市の財政状況に不安があるから
- b．行政運営の効率化がすすんでいないから
- c．事業の効果やコストが分からないから
- d．その他()

問34．市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

接遇の向上や事務改善の推進
市民相談の実施
公共施設予約システム・電子申請システムの運用
コミュニティセンターでの証明書の一部発行 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．職員の対応が適切でないから
- b．市役所における各種事務手続きが分かりにくいから
- c．コミュニティセンターやインターネットでできる行政手続きが少ないから
- d．その他()

4. 【ユニバーサルデザインのまちづくり】について、お聞きします。

ユニバーサルデザイン(UD)
 年齢、性別、身体的能力、障害の有無、国籍など、人の持つ様々な違いに関わらず、はじめから、できる限り多くの人にとって利用しやすいように、まち・もの・環境などをつくることです。
 社会の中の様々な障壁を取り除く「バリアフリー」も含まれます。

問35. UDという言葉や考え方について、どの程度知っていますか。
 1つ選んで をつけてください。

1	言葉も考え方も詳しく知っている
2	言葉も考え方もだいたい知っている
3	言葉だけは聞いたことがある
4	知らない

問36. 市民一人ひとりのUDに関する意識を高めるためには、何が必要と
 思いますか。1つ選んで をつけてください。

1	ホームページなどで、十分な情報提供を行う
2	出前講座などで、学習できる機会を増やす
3	誰もが利用しやすい製品や車いすなど、実際に体験できる機会を増やす
4	障害のある人や高齢者など、様々な立場の人と交流できる機会を増やす
5	その他()

問37. 障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスが提供されるためには何が必要と
 思いますか。1つ選んで をつけてください。

1	広報紙・ホームページ・案内表示などによる、情報の提供を充実させる
2	窓口や自宅などで、申請手続きを行いやすくする
3	窓口や電話の受付などの際の、職員の対応を充実する
4	講演会などの行事に、より多くの方が参加できる環境を整える
5	その他()

問38. 帯広市には、住宅や店舗などのUD化をすすめるための、各種支援制度があることを知っていますか。

1	はい
2	いいえ

住宅や店舗などのUD化のための各種支援制度(例)

- ・住宅の増改築や改造に対する専門家による指導・助言
- ・住宅や中小企業者などの店舗の新築・増改築・改造に対する補助・貸付

問39. 設問38で「はい」と答えた方にお聞きします。帯広市の各種支援制度を今後利用してみたいと思いますか。

1	はい
2	いいえ

問40. 設問39で「いいえ」と答えた方にお聞きします。帯広市の各種支援制度を今後利用してみたいと思わない理由は何ですか。1つ選んで をしてください。

1	住宅や店舗をUD化する必要性を感じないから
2	既に、住宅や店舗をUD化しているから
3	各種支援制度が利用しにくいから
4	各種支援制度を利用しても、経済的な負担がかかり大変だから
5	時間や労力が負担となり、面倒だから
6	帯広市以外の支援制度を利用する(したい)から
7	その他()

地 区

B 票

平成23年度 市民まちづくりアンケート

1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

問1～4について、あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

問1 あなたの性別は？

- A. 男 B. 女

問2 あなたの年齢は？（5月1日現在の年齢で記入してください。）

- A. 20歳代 B. 30歳代 C. 40歳代 D. 50歳代 E. 60歳代 F. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

- A. 会社員・店員 B. 商・工・サービス業等の自営業 C. 農・林・漁業 D. 公務員
E. 自由業 F. 主婦 G. 学生 H. 無職・退職 I. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

- A. 1年未満 B. 1年～5年未満 C. 5年～10年未満 D. 10年～20年未満
E. 20年以上

2. 【住みごこち】について、お聞きします。

問5～9について、あてはまるものに をつけてください。

問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）

- A. 住みやすい B. どちらかといえば住みやすい C. どちらともいえない
D. どちらかといえば住みにくい E. 住みにくい

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）

- A. 住み続けたい B. できれば他の市町村に移りたい C. どちらともいえない


問7へすすむ


問8・9へすすむ


問10へすすむ

問7 問6で「A.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A．広々としているから B．自然に恵まれているから C．気候が好きだから
D．家族の都合で E．人情が厚く、親切だから F．親戚や知人が多いから
G．教育上の理由から H．まちに魅力があるから I．仕事上の理由から
J．都市的な便利さがあるから K．生活費が安いから L．わからない
M．その他（

問8 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- A．帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） B．十勝管内の町村（帯広圏の3町以外）
C．札幌市 D．道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外）
E．首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県） F．中部圏（愛知県）
G．近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） H．他県（
I．その他（

問9 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A．仕事上の理由から B．家族の都合から C．気候がきらいだから
D．住宅地が少ないから E．宅地価格が高いから F．教育上の理由から
G．生活費が高いから H．まちに魅力が少ないから I．自然が少ないから
J．知人や親戚が少ないから K．人情が薄く、不親切だから
L．都市的な便利さが不足しているから M．わからない
N．その他（

3. 【市民実感】について、お聞きします。

問10～34について、あなたの実感（イメージでもかまいませんので）に最も近い選択肢を必ず1つ選んで番号に をつけてください。

3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に をつけてください。

「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問10. 消火活動や救急活動が迅速に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

消火栓・防火水槽の整備
 AED(自動体外式除細動器)の設置促進
 応急手当普及講習の開催
 災害弱者世帯への防火訪問 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 消火や防火の取り組みが十分でないから
- b. 救急車や消防車の到着時間が遅いから
- c. 救急車による搬送や病院の受け入れがスムーズでないから
- d. 応急手当ができる市民が少ないから
- e. その他（ ）

問11. 日常生活において、交通事故にあうことなく安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

交通安全教室の開催
 交通安全街頭啓発
 歩道の整備 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 交通ルールを守らない歩行者がいるから
- b. ドライバーの運転マナーが悪いから
- c. 危ない道路や交差点があるから
- d. その他（ ）

問12．各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各種がん検診・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診の実施
健康相談などの保健指導の実施
麻しん・風しん・BCGなどの予防接種の実施
インフルエンザなどの任意の予防接種費用の助成 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．健康づくりに関する意識が低いから
- b．各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから
- c．予防接種が受けやすい環境が整っていないから
- d．気軽に健康相談できる場所がないから
- e．その他 ()

問13．地域の支え合いにより、安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

民生委員・児童委員の活動支援
ボランティアの養成・活動支援
地域福祉事業を担う社会福祉協議会の支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．地域住民の互いに支え合う意識が低いから
- b．不安や心配事を地域で相談できる場所がないから
- c．福祉ボランティアの活動が活発でないから
- d．その他 ()

問14．障害のある人が地域で生き生きと暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

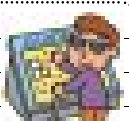
市が取り組んでいる主な仕事

「ノーマライゼーション」理念の推進
手話・要約筆記通訳者などの派遣
自動車改造・自動車運転免許取得への支援
訪問入浴など各種デイサービスの提供
障害者生活支援センターの運営 など

ノーマライゼーション
地域の中で、障害をもつ人ももたない人も、お年寄りも若い人も区別なく
ともに笑い、ともに語り、ともに歩いていくことのできる社会を作ること

3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．障害や障害のある人に対する理解が十分でないから
- b．障害のある人を地域で支え合う意識が低いから
- c．障害者福祉サービスが十分でないから
- d．障害のある人が働くことができる環境が整っていないから
- e．その他 ()



問15. 安心して子どもを生き育てることができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

妊婦・乳幼児健康診査の実施、訪問指導の実施
 特定不妊治療費の助成
 子育て支援センターでの育児相談の実施や遊び場の提供
 延長・休日・一時保育など保育サービスの実施
 児童保育センターでの保育サービスの実施
 幼稚園の教育環境の充実、保育料・入園料に対する支援
 乳幼児等医療費・ひとり親家庭等医療費の給付 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 保育所の保育サービスが十分でないから
- b. 児童保育センターの保育サービスが十分でないから
- c. 出産や育児と仕事が両立できる職場環境が整っていないから
- d. 子育てに関する不安をどこに相談したらよいか分からないから
- e. 将来に対する様々な不安感があるから
- f. その他 ()



問16. 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

クリーン農業技術等の普及
 農業生産基盤の整備促進
 農業後継者・新規就農者の支援
 地場農畜産物の消費拡大 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りにくいから
- b. 地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから
- c. 農業や農村に対する理解が促進されていないから
- d. その他 ()

問17. 商店や商店街に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

商店街が行うにぎわいづくりへの支援
 商店街が行う環境整備への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 商店の商品やサービスに魅力がないから
- b. 魅力ある商店街整備が行われていないから
- c. 商店街のイベントに魅力がないから
- d. 商店街で買い物をすることがないから
- e. その他 ()

問18．企業が大学などと連携し、新たな製品開発が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出支援
 地場農産物の付加価値向上の促進
 大学の研究開発への支援
 企業の新製品開発への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．地元の農業者と商工業者等との連携がすすんでいないから
- b．地元の企業と大学の連携がすすんでいないから
- c．新たに開発された地元製品のPRが不足しているから
- d．具体的な取り組み内容が分からないから
- e．その他 ()

問19．中心市街地に魅力とにぎわいがある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

歩行者天国・イルミネーションなどのにぎわい創出の支援
 市民活動交流センターなど都市機能の集積
 市営駐車場の管理運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．魅力ある店舗が少ないから
- b．中心市街地への交通の利便性が悪いから
- c．各種イベントに魅力がないから
- d．その他 ()

問20．自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

太陽光発電システム等の新エネルギー導入助成
 自然環境の保全
 公害の監視、立入検査や指導の実施
 環境教育学習の推進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．環境保全に関する意識が低いから
- b．新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから
- c．騒音や悪臭が気になるから
- d．市内の良好な自然環境が守られていないから
- e．その他 ()

問21．公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

公園・緑地の整備
 帯広の森の整備及び利活用
 公園の維持管理、街路樹の剪定、植樹柵の草刈
 緑化キャンペーン、花壇コンクール事業の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．身近なところに公園が少ないから
- b．公園の管理が十分に行われていないから
- c．身近なところに緑が少ないから
- d．緑化に関する意識が低いから
- e．その他 ()

問22．生活廃水や雨水が適切に処理されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

污水管・合併浄化槽・雨水管の整備
 帯広川下水終末処理場の改修や耐震化
 下水道接続の普及啓発 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

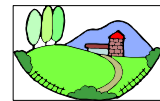
- a．下水道が普及していないところがあるから
- b．雨水が適切に処理されていないから
- c．災害時の不安があるから
- d．その他 ()

問23．都市部や農村部において、帯広・十勝らしい景観が形成されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

まちづくりデザイン賞などによる景観意識の啓発
 十勝大橋ライトアップなど帯広らしい景観の形成
 耕地防風林の整備支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

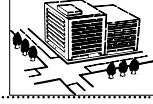
- a．景観形成に関する意識が低いから
- b．都市部の景観を損ねているところがあるから
- c．農村部の景観を損ねているところがあるから
- d．その他 ()

問24．幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

幹線道路・生活道路の整備
 特殊舗装道路の改良、道路側溝の整備
 自転車・歩行者道の整備
 道路除雪・凍結路面对策の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．整備されていない道路があるから
- b．道路が適切に維持管理されていないから
- c．道路や歩道の除雪が十分でないから
- d．その他 ()

問25．高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

民間事業者等と連携した情報通信基盤の整備促進
 地上デジタル放送移行に伴う周知 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．高速インターネットを利用できる環境が整っていないから
- b．パソコンやインターネットの使い方が分からないから
- c．利用したい情報サービスが少ないから
- d．その他 ()

問26．子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

学校施設の耐震化、大規模改修
 学校給食調理場の改築
 特別支援教育に関する助手・補助員・生活介助員の配置
 子どもの見守り活動の推進
 小中学校の適正配置 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．学校施設の改修や耐震化がすすんでいないから
- b．特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから
- c．教育に関する情報が、親や両親に十分に提供されていないから
- d．その他 ()

問27．大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

新たな大学設置の検討
帯広畜産大学の整備・拡充の促進
大学の研究・教育機能の活用 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから
- b．大学などを活用した市民の学習機会が充実していないから
- c．地元大学に学びたい学部がないから
- d．その他 ()

問28．芸術や文化に親しむことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

市民芸術祭の開催、市民文芸の発行
芸術・文化活動を支える人や団体への支援
北海道立美術館と連携した企画展の共催
子ども向けの芸術・文化鑑賞機会の提供 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．芸術・文化の発表や活動の場が少ないから
- b．気軽に芸術・文化に接する機会が少ないから
- c．一流の芸術・文化に接する機会が少ないから
- d．芸術・文化に関する指導者が少ないから
- e．その他 ()

問29．平和で差別や虐待がなく、市民一人ひとりが互いに人権を尊重している

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

核兵器廃絶平和展の開催、平和カレンダーの作成
高齢者・児童虐待防止の推進
配偶者等からの暴力被害者への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．平和の大切さを知る機会が少ないから
- b．差別や偏見があるから
- c．子どもや高齢者の虐待、配偶者等への暴力事件が起きているから
- d．その他 ()

問30．誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（UD）によるまちづくりが行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

UD教室・講座の開催
UDの考え方に基づいた公共施設の整備
UD住宅の建設・改造に対する助成 など



ユニバーサルデザイン(UD)
年齢、性別、身体的能力、障害の有無、国籍など、人の持つ様々な違いに関わらず、はじめから、できる限り多くの人にとって利用しやすいように、まち・もの・環境などをつくること。社会の中の様々な障害を取り除く「バリアフリー」も含まれます。

3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．道路や公園、市役所などの公共施設のUD化がすすんでいないから
- b．住宅や店舗などの民間施設のUD化がすすんでいないから
- c．市民一人ひとりのUDに関する意識が低いから
- d．障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスの提供が行われていないから
- e．その他 ()

問31．町内会やNPO・ボランティアなどによる地域活動が活発に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

町内会自治活動への助成
町内会への加入促進
ボランティア・NPO活動の支援
福祉センターの整備 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．町内会への加入者が減少しているから
- b．地域活動の担い手が少ないから
- c．コミュニティ施設が利用しにくいから
- d．気軽に地域活動に参加できる機会が少ないから
- e．その他 ()

問32．市民と行政の協働によるまちづくりがすすめられている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

広報紙の発行
市長への手紙の実施
計画策定等におけるパブリックコメントの実施
審議会委員等への女性・若者の登用や一般公募の推進
市民からの提案事業の支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．行政情報が分かりやすく提供されていないから
- b．市民意見が市政に反映されていないから
- c．市民のまちづくり活動への支援が十分でないから
- d．議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから
- e．その他 ()

4 . 【ユニバーサルデザインのまちづくり】について、お聞きします。

ユニバーサルデザイン(UD)
 年齢、性別、身体的能力、障害の有無、国籍など、人の持つ様々な違いに関わらず、はじめから、できる限り多くの人にとって利用しやすいように、まち・もの・環境などをつくることです。
 社会の中の様々な障壁を取り除く「バリアフリー」も含まれます。

問35 . UDという言葉や考え方について、どの程度知っていますか。
 1つ選んで をつけてください。

1	言葉も考え方も詳しく知っている
2	言葉も考え方もだいたい知っている
3	言葉だけは聞いたことがある
4	知らない

問36 . 市民一人ひとりのUDに関する意識を高めるためには、何が必要と思いますか。1つ選んで をつけてください。

1	ホームページなどで、十分な情報提供を行う
2	出前講座などで、学習できる機会を増やす
3	誰もが利用しやすい製品や車いすなど、実際に体験できる機会を増やす
4	障害のある人や高齢者など、様々な立場の人と交流できる機会を増やす
5	その他 ()

問37 . 障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスが提供されるためには何が必要と思いますか。1つ選んで をつけてください。

1	広報紙・ホームページ・案内表示などによる、情報の提供を充実させる
2	窓口や自宅などで、申請手続きを行いやすくする
3	窓口や電話の受付などの際の、職員の対応を充実する
4	講演会などの行事に、より多くの方が参加できる環境を整える
5	その他 ()

問38 . 帯広市には、住宅や店舗などのUD化をすすめるための、各種支援制度があることを知っていますか。

1	はい
2	いいえ

住宅や店舗などのUD化のための各種支援制度(例)

- ・住宅の増改築や改造に対する専門家による指導・助言
- ・住宅や中小企業者などの店舗の新築・増改築・改造に対する補助・貸付

問39 . 設問38で「はい」と答えた方にお聞きします。帯広市の各種支援制度を今後利用してみたいと思いますか。

1	はい
2	いいえ

問40 . 設問39で「いいえ」と答えた方にお聞きします。帯広市の各種支援制度を今後利用してみたいと思わない理由は何ですか。1つ選んで をしてください。

1	住宅や店舗をUD化する必要性を感じないから
2	既に、住宅や店舗をUD化しているから
3	各種支援制度が利用しにくいから
4	各種支援制度を利用しても、経済的な負担がかかり大変だから
5	時間や労力が負担となり、面倒だから
6	帯広市以外の支援制度を利用する(したい)から
7	その他()

平成23年度市民まちづくりアンケート

(集計結果)



平成23年8月

帯 広 市

政策推進部 企画課

〒 080-8670

帯広市西5条南7丁目1番地

TEL 0155-65-4105

FAX 0155-23-0151

E-Mail plan@city.obihiro.hokkaido.jp